

舞鶴高専年報

—2015年度の
教育・研究活動—



国立舞鶴工業高等専門学校

第13号 2016年4月

舞 鶴 高 専 年 報

— 2015年度の教育・研究活動—



国立舞鶴工業高等専門学校

第 13 号 2016 年 4 月

は じ め に

2015 年度、舞鶴工業高等専門学校は、創立 50 周年を迎えました。4 月には記念式典が開催され、創設以来の本校の発展を顧みるよい機会となりました。記念事業として実施された募金活動により寄せられた御厚志は、国の財政状況が厳しい中、今後、学生の教育研究支援のための貴重な財源として活用していく予定です。

地方創生が重要なキーワードとなっており、地域の課題解決のための拠点形成を目指す COC 事業は、3 年目を迎えてその重要性を増しています。さらに、新たに府内の複数の大学と連携して実施する COC+事業がスタートしました。始動した舞鶴市の地方創生総合戦略とも連携して、地方創生への実質的な貢献が期待されています。教育、研究、社会貢献の各分野の取組を加速しています。

本年度、専攻科が従来の 2 専攻から「総合システム工学専攻」1 専攻に改組され、複合領域への対応が強化されました。改組前は既に認定を受けていた学位の授与に係る特例の適用認定も再申請となりましたが、無事に適用認定を受けています。また、JABEE も認定継続審査の年でありましたが、本校の「総合システム工学」教育プログラムは、厳しい審査を経て、JABEE 技術者教育プログラムの認定を引続き受けることができました。

今年もキングモンクット工科大学の学生が、国際インターンシップで本校を訪れました。4 年生の海外研修旅行は、韓国での MERS 拡大の影響を受け、一部の学科の行き先が国内に変更されましたが、他学科は例年どおり海外の協定校や企業を訪問し国際的な見聞を広めました。英語版ホームページの充実も図られつつあり、グローバル化への対応の取組も続いています。

改修中は多くの学生に不便をかけることとなりましたが、学寮 2 号館・3 号館の耐震補強工事が終了し、学内施設の耐震化がほぼ完了して、安全・安心な施設環境を実現しています。女子学生の増加に伴い、今後は女子寮の拡充の検討も必要とされています。

国レベルでは、高専制度の今後の在り方が議論されており、本校を取り巻く環境や社会のニーズは多様性を増しています。舞鶴高専の活動内容も年々広がりを見せていますが、本年報が本校の活動内容の理解の一助となれば幸いです。

校 長

齋 藤 福 栄

総 目 次

はじめに	2
総目次	3
学校運営	
目次	5
運営報告	6
学科・部門別教員一覧	7 3
教職員数	8 8
学校行事日程	8 9
教育活動	
目次	9 1
学生数	9 2
入試状況	9 4
就職状況（本科）	9 5
就職状況（専攻科）	9 6
進学状況（本科）	9 7
進学状況（専攻科）	9 7
進路先一覧（本科）	9 8
進路先一覧（専攻科）	9 9
卒業研究題目	1 0 0
専攻科特別研究題目	1 0 3
インターンシップ受入先（本科）	1 0 4
インターンシップ受入先（専攻科）	1 0 5
課外活動成績	1 0 6
課外活動に対する教員の活動状況	1 0 8
研究活動	
目次	1 1 1
研究業績	1 1 2
外部研究費受入	1 3 8
学協会委員及び学会・研究会等の開催協力	1 4 2
教職員の活動状況	1 4 4
地域・社会活動	
目次	1 4 5
地域・社会業績	1 4 6
地域共同テクノセンター技術相談	1 5 8
地域委員	1 6 1
報道記事	
目次	1 6 3
報道記事一覧	1 6 4
編集後記	1 6 9

学 校 運 営

運営報告	6
教務委員会	6
学生委員会	1 2
学寮委員会	1 5
専攻科	1 9
人文科学部門	2 3
自然科学部門	2 5
機械工学科	2 7
電気情報工学科	2 9
電子制御工学科	3 1
建設システム工学科	3 3
図書館	3 5
情報科学センター	3 8
教育研究支援センター	4 0
地域共同テクノセンター	4 2
社会基盤メンテナンス教育センター（iMe c）	4 4
知的財産委員会	4 6
情報セキュリティ推進委員会	4 7
企画室	4 8
評価委員会	5 0
FD・ICT部会	5 1
広報委員会	5 3
教育プログラム(MDE)委員会	5 4
進路指導委員会	5 7
学生相談室	6 1
オープンキャンパス	6 2
国際交流センター	6 4
留学生部会	6 5
教育改善委員会	6 6
安全衛生委員会	6 7
創立 50 周年記念事業実行委員会	6 8
危機管理委員会 安否確認・緊急システム作業部会	7 2
学科・部門別教員一覧	7 3
教職員数	8 8
学校行事日程	8 9

教 務 委 員 会

教務主事 金森 満

1 平成27年度の教務委員会の基本方針及び役割分担

平成27年度の教務委員会の基本方針及び役割分担は、次の通り。

① 教務制度・教務環境の見直し・整備

- ICT（CALL, Moodle）を活用した教育
- アクティブラーニング（+学修単位化）の推進
- モデルコアカリキュラムへの対応
 - ・ 次年度に向けてコアカリキュラムの△・×の30%を○に変える
 - ・ モデルカリキュラムの導入
 - ・ ルーブリック評価の導入
 - ・ モデルコアカリキュラム導入の評価
 - ・ 技術者倫理・技術史教育の導入
- 学年暦の評価（就職活動時期の変更に伴う改正の評価）
- 「修了及び卒業認定規則第12条(2)」(必修・科目群必修)の周知徹底
- 科目再履修免除の周知徹底
- 追試験制度の検証及び見直し検討
- 教務関係規則の整備
 - ・ 転科に関する内規の見直し（学年暦との連動）

② 学習支援体制の構築検討（学科・部門及び学生相談室との連携）

- 特別支援教育（学習支援）
 - ・ 個別の実施
 - ・ 校内体制の構築
 - ・ 要支援学生等への補習等の実施の予算及び環境の整備
- 学力不振学生に対する指導の検討

③ 本校教育の個性や特色の再確認

- 海外研修旅行の効果的かつ安全な実施
- 英語教育の充実・強化
- 創造性を涵養する教育
- 地域関連授業（COC対応授業）の充実
- 京都工芸繊維大との共同授業（COC関連）の導入

④ 入試広報活動の充実（入試委員会からの付託事項）

- 学校案内，中学校訪問，プレオープンキャンパス，オープンキャンパス，入試説明会，女子中学生1日高専体験会等の充実，中学1・2年生対象の入試広報の検討
- 近畿地区及び全国統一広報活動への対応

⑤ その他

- 成績評価の適正実施
 - ・ 教科クラス平均点の基準（60点標準）を下回る科目への理由書の提出（定着化）
 - ・ 成績不良者を多数出している教科への対応検討
- 3年生「学習到達度試験」への対応

平成27年度教務委員会の役割分担

※はチーフ *はサブ

役 割	委 員 名
総括	金森
委員長代行	教務主事補
教務制度・教務規程・教務環境の見直し・整備	※金森 主事補（全員）
モデルコアカリキュラム対応	※金森 *三輪 主事補（三輪を除く）
シラバス	※西山 奥村（幸） 小林
定期試験・試験返却等到達度確認期間時間割編成， 授業時間割編成支援	※内海 *小松
学年暦	※川田 *尾上
英語教育の充実・強化，海外研修旅行	※金森 *荒川 松井
学習支援（特別支援教育を含む）	※小松 奥村（幸） 小林
授業方法・評価方法の見直し・改善	※金森 丹下 尾上
学習到達度試験	※小松 *宮崎（昭） 松井
インターンシップ，キャリア教育	※川田 丹下
入試広報	※金森 *西山 内海 小松
緊急連絡/安否確認システム作業部会	金森
その他教務上の問題	委員（随時）

2 平成27年度教務委員会の活動

1 の基本方針に従って，次の活動を実施した。

① 教務制度・教務環境の見直し・整備

- ICTを活用した教育を推進するため，高専機構が導入したラーニングマネジメントシステム「Blackboard」の管理担当者を高専機構本部に推薦するとともに，利用のための講習会を開催していただくよう情報科学センターへ要請した。また，平成28年2月12日（金）にOffice365の講習会を情報科学センターにおいて開催した。この講習会は第三ブロックの取組の一つで，鳥羽商船高専が主幹となり，スカイプを通して20名程度の教職員が受講した。3月2日（水）3日（木）情報科学センターにおいてWebシラバス講習会を実施した。

- アクティブラーニング（以下AL）推進のため、以下の取組を行った。
 - ・ 第三ブロックにAL推進研究会が立ち上げられ、本校からは小松教務主事補及び小林教務委員が推進担当者として第1回及び第2回のAL推進研究会（明石高専、岐阜高専）に出席した。この結果は、小松教務主事補が10月度の教員会議で報告し、全教員への水平展開を行った。
 - ・ AL推進のため、FD・ICT部会と共催で、下記の特別講演会を開催した。
 - 日 時 平成27年9月30日
 - 場 所 視聴覚教室
 - 特別講師 田口 真奈 氏（京都大学高等教育研究開発推進センター）
 - 演 題 アクティブラーニングを促す授業デザイン
 - ・ 高専機構が主催するALトレーナー研修に、小松教務主事補と小林教務委員が参加し、AL教授技法と授業設計、学習活動と評価、及び、AL研修のデザインについて研修を受けた。
 - ・ 平成28年3月1日、本校大会議室において第三ブロック・第4回AL推進研究会を以下の通り開催した。
 - 第一部 講演と授業公開
 - リーダーシップ教育におけるアクティブラーニング
 - 特別講師 津吹 達也氏（京都工芸繊維大学）
 - エンジニアリングデザインにおけるアクティブラーニング
 - 特別講師 仲川 力氏（本校・電子制御工学科）
 - 授業公開「4S 創造設計プロジェクト」
 - 第二部 グループワークと全体協議（第三ブロックAL推進担当者のみ）
 - ・ 学修単位の導入については、高度化再編ワーキングにおいて基本方針案を策定した。
- モデルコアカリキュラムへの対応のため、以下の取組を行った。
 - ・ 5月、モデルコアカリキュラムに対して、未対応のものには×を、対応が不十分なものには△を付すなど、対応状況が確認できる資料を作成し、対応状況を把握・評価した。これらの資料を各学科長・部門長へフィードバックし、モデルコアへのさらなる対応を依頼した。
 - ・ 6月、モデルコアカリキュラム改訂に関して、各学科・部門に対して意見聴取を行い、整理の上、高専機構本部へ提出した。11月、モデルコアカリキュラムの対応状況を確認・整理し、取り組み状況について高専機構本部に報告した。
 - ・ 平成28年度へ向けて対応を促進するため、12月に各学科長・部門長に関係資料を送り、×または△が付された科目の授業内容を改善するよう要請した。
- 就職活動時期の変更に伴い、本年度は前期末試験を夏季休業後に設定したが、この学年暦について意見聴取を行い、平成28年度も同様の形にすることに決定した。後期末に学力補充期間（仮称）を設定する案を作成したが、各学科・部門からのご意見を総合的に勘案したところ、さらなる検討が必要と判断し、平成28年度からの実施は見送ることになった。
- 4月2日に担任会議を開催し、修了及び卒業認定規則における必修または科目群必修科目の取扱について、学生便覧に基づいて担任の先生方に説明した。また、科目再履修については、「科目再履修免除制度」及び「科目再履修免除申請書」の資料を配付して説明を行った。
- 11月に平成25年度及び26年度における追試験合格状況を調査した。自然系、人文系、専門に分け、それぞれ必修、選択必修及び選択に分類して、各学年における合格率を調べた。必修及び科目群必修の合格率は50%前後とかなり低いことを確認した。これらの結果は、11月26日に添付メールで全教員へ配信し、学力補充に努めるよう要請した。
- 教務関係規則の整備として、以下の規則の改正を行った。
 - ・ 「転科に関する内規」の改正：「転科願」の提出期限が2月末となっているが、学事日程が2月中に完了する場合があります。転科希望者との面談に支障があるため、提出期限を1月末に改正した。

- ・成績評価値 Grade Point Average(GPA)に関する要項：卒業生から留学願書提出の際、GPA 評価証明書を発行してほしいとの要望があり、規則整備を行った。GPA 評価値を算出する方法を定めた「成績評価値 Grade Point Average(GPA)に関する要項」を制定し、これに関連して「学業成績の評価並びに学年の課程の修了及び卒業の認定に関する規則」及び「専攻科の単位修得に関する規程」の一部改正を行った。さらに、「証明書交付願」の様式の一部修正を行い、提出先へ添付するための GPA 評価方法説明書（英文）を作成した。8 月に第一号の GPA 成績証明書を発行した。
- ・「定期試験実施要領」の改正：現状に則して「時間割編成」を改正した。また、「試験の実施及び監督」を改正し、試験監督要領について詳細に定めた。さらに、これに基づいて「定期試験実施監督要領」を別に定め、時系列的に行う試験監督業務を明確にした。また、これらに基づいて「試験に臨む心得」を改正した。
- 電子制御工学科 4 年の授業科目「電子制御実験」を「機械工学実験」へ名称変更を行った。
- 専門共通選択科目において受講者を決定する際、学生の公平性を尊重し、出身学科に依存しないように受講者を決定することになった。

②学習支援体制の構築検討

- 4 回の特別支援教育連絡協議会を開催し、本校の特別支援教育に係る必要な協議及び具体的な特別支援活動を行った。
- 学力不振に対する指導の検討については、以下の取組を行った。
 - ・学力補充期間（仮称）の設定：年度末に学力補充期間を設ける案を策定し、各学科・部門のご意見を伺った。いただいたご意見を総合的に勘案し、成績不良の実態、追試験の合格率の調査を実施することとし、学力補充期間の運用は見送ることになった。
 - ・自殺対策のため、また、学力不振対策のため、成績不振学生の実態を調査した。後期中間時点における平均点 60 点未満の学生 76 名（自死した学生を加えると 77 名）について、1 年からの成績の推移をグラフ化し、成績不振に至るプロセスを明確にした。また、過去 3 年間の成績不振学生数を学科別に調べた。その結果、前期中間試験と後期中間試験において、成績不振学生が多いことが明確となった。また、前期中間試験における科目ごとの不合格者数の割合を調べ、不合格者数の多い科目を特定した。
 - ・成績不振学生面談票を作成し、各担任に記載を依頼した。本年度は試行とし、後期中間時点における成績不振学生と面談の上、成績不振に至った理由について聴取し、面談票に記載して 3 月 11 日までに提出するよう依頼した。
- 自殺対策の検討として、「通常の学生」、「リスク学生」及び「ハイリスク学生」に対する対応策を、グループワークにより出し合った。

③本校教育の個性や特色

- 研修旅行について以下の取組を行った。
 - ・11 月 11 日（火）～14 日（土）に、機械＝ベトナム、電気情報＝北海道、電子制御＝台湾、建設システム＝ベトナムへの研修旅行を実施した。内容は、例年通り、協定大学等の学生との交流、日系企業等への訪問、観光等であった。電気情報は、韓国を訪問する予定であったが、マーズの感染拡大の懸念があったため、国内の北海道に変更した。
 - ・海外渡航引率用マニュアル「研修旅行中の緊急時の対応について」を作成し、本マニュアルに基づいて引率するよう引率教員に依頼した。緊急時の対応のため待機教員 2 名を配備した。
 - ・10 月 22 日に「研修旅行説明会」を開催し、諸注意を与えるとともに、清水看護師より事前及び当日の健康管理について諸注意を与えた。

- ・ 研修旅行費の超過分は、これまで学校で負担していたが、本年度からは負担せず、保護者から追加徴収を行うこととした。また、研修旅行の徴収及び積立金の管理は、後援会において行うことになった。
- 英語教育の充実・強化について以下の活動を行った。
 - ・ 10月13日（火）に「英語デー」を実施し、TOEIC（3年以上）及びACE（1～2年）の試験を実施した。
 - ・ TOEIC試験の実施要領を見直し、平成28年度からは、本科4年生と専攻科1年生は全員受験することとし、他の学生は希望者のみ受験できるものとした。経費については、その性質上、本科4年生と専攻科1年生は後援会費で、他の学生は後援会費及び受験者負担で実施することとなった。
- 京都工芸繊維大学との共同授業（COC事業）として、寮生会役員、指導寮生合わせて38名が6月20日（土）に京都工芸繊維大学の「リーダーシップ」の授業を受けた。8月18日（火）に、共同教育「地域学」授業の打ち合わせを本校において行った。10月13日（火）、10月20日（火）に、本校の授業科目「地域学Ⅱ」（牧野講師）を京都工芸繊維大学の学生に授業した。
- インターンシップの流れを修正し、本年度から担任が受け入れの打診をするように変更した。7月14日（火）にインターンシップ説明会を開催した。インターンシップ実施後、報告書の提出及び報告会を実施し、インターンシップ参加者86名（再認定者を除く）に対する単位認定を行った。その内訳は、機械＝30名、電気情報＝15名、電子制御＝11名、建設システム30名である。
- 11月9日（月）に、到達度試験に対応した物理模擬試験を実施した。また、1月14日（木）に、平成27年度国立高等専門学校学習到達度試験（数学・物理）を実施した。

④入試広報活動の充実

- 超少子化と財務状況の厳しさの中で戦略的、効果的に本科入学志願者の確保及び増加をはかるため、入試広報ワーキンググループが中心となって、入試広報に関する企画を行った。プレオープンキャンパス、オープンキャンパス、中学校訪問、入試説明会（中学校進路担当教員・塾講師対象）、入試説明会（中学生・保護者対象）、女子中学生1日高専体験会等の入試広報に尽力した。高専祭においては、進学相談に加えて、10月31日（土）に、高専祭実行委員会、学生会及び平地克也副校長の協力を得て、高専祭キャンパスウォークを実施した。

⑤その他

- 4月、担任の協力により、全学生の自習時間の調査を実施した。
- 4月27日（月）（4年生対象）及び4月28日（火）（5年生対象）に、JABEE説明会を実施した。
- 5月28日（木）～29日（金）に、全国国立高等専門学校教務主事会議が開催され、金森教務主事、内海教務主事補が出席した。
- 学寮の改修工事に係る部屋替えに配慮し、7月24日（金）の特別授業を時間割の空きコマ及び放課後の空き時間帯へ移動する措置をとった。
- 8月10日（月）、長岡技術科学大学を中心とするeHELPに関する第1回eラーニング高等教育連携会議が東京で開催され、金森教務主事が出席した。
- 8月26日（水）～28日（金）東北大学川内キャンパスにおいて全国高専教育フォーラムが開催され、教務主事補を代表として、西山教務主事補が出席した。
- 機構本部の学生情報統合の取り組みについて、9月8日（火）に学生情報統合部会が開催され、金森教務主事及び住友教務係員が出席した。
- 二度にわたり、気象警報発令に伴う休校の代替措置を検討した。
- 9月下旬、前期末試験中の不正行為について指導を行った。

- 9月16日(水) 17日(木), 鈴鹿高専において「社会ニーズを踏まえたロボット人材の育成プロジェクト」会議が開催され, 金森教務主事(事業責任者)及び川田教員(副責任者)が出席した。12月3日(木) 4日(金)に中間報告会が開催され, 平地副校長及び川田教員が出席した。3月14日(月) 15日(火)に同プロジェクトの学生交流会が鈴鹿高専で開催され, 本校学生2名が参加した(引率は川田教員)。3月24日(木) 25日(金)に最終報告会が開催され, 齋藤校長, 金森教務主事, 川田教員が出席した。
- 11月19日(木) 鈴鹿高専において「第3ブロック Web シラバス講習会」が開催され, 教務主事補を代表して内海教務主事補が出席した。
- 9月, 第三ブロックの取組として, 共有教材化のアンケート調査があり, Moodle にアップロードされている教材について回答した。
- 12月9日(水) 10日(木) 東京において教材開発セミナーが開催され, 教務委員会を代表して小林教員が出席した。
- 9月6日(日) 国立高専6校(釧路, 木更津, 舞鶴, 津山, 弓削, 広島)の合同進学説明会が学術情報センターにおいて開催され, 金森教務主事と西山教務主事補が学校紹介と進学説明を行った。
- 10月3日(土) 近畿地区国立4高専合同入試説明会に金森教務主事, 松梨学生課長, 富田教務係長が出席し, 学校説明及び入試説明を行った。

以 上

学生委員会

学生主事 谷川 博哉

平成27年度の学生委員会、並びにその指導のもとでの学生会・クラブの活動等について報告する。

1. 新入生支援・指導

- 4月 9日(木) 10日(金) 新入生合宿研修
- 4月13日(月) クラブ紹介
- 4月26日(日) 学生会・寮生会共催新入生歓迎会
- 5月25日(月) 第1回パートナーシップ
- 12月22日(火) 第2回パートナーシップ

2. 交通安全指導・環境美化・禁煙指導

- 4月 7日(火) 車両駐車場仮登録
- 4月 8日(水)～6月19日(金) 第1回駐車指導
- 4月13日(月)～6月30日(火) 第1回禁煙指導
- 4月20日(月) 交通安全講習会(2, 3, 4年生及び専攻科生)
- 4月22日(水) 交通安全講習会(5年生)
- 6月10日(木) 第1回環境美化清掃
- 9月25日(金) 第2回環境美化清掃
- 10月 2日(金)～12月16日(水) 第2回駐車指導
- 10月 2日(金)～12月16日(水) 第2回禁煙指導
- 12月 7日(月)～ 積雪時の駐車指導
- 12月10日(木) 第3回環境美化清掃
- 3月 4日(金) 第4回環境美化清掃

3. 課外活動

<学生会>

- 5月 7日(木) 学生総会
- 5月14日(木) スポーツフェスタ
- 6月13日(土) 松尾寺駅周辺第1回ボランティア清掃
- 6月 4日(土) 5日(日) 引き揚げ記念館ボランティア
- 8月27日(木) 28日(金) 近畿地区高専学生交流会
- 10月 3日(土) 松尾寺駅周辺第2回ボランティア清掃
- 10月10日(土) 秋の音楽祭 in 松尾寺駅
- 10月12日(月) 舞鶴赤れんがハーフマラソン2015 ボランティア
- 10月14日(水) 球技大会
- 10月24日(土) 高専祭市中パレード
- 10月31日(土) 11月1日(日) 高専祭一般公開日
- 11月17日(火) 学生総会

<クラブ活動>

- 5月 8日(金) 近畿地区高専体育大会実行委員会及び近畿地区体育連盟理事会
5月16日(土) 福井高専との交歓試合
6月15日(水) 近畿地区高専体育大会抽選会
7月11日(土) 12日(日) 近畿地区高専体育大会(剣道:舞鶴市東体育館,
テニス:東舞鶴公園テニスコート)
7月24日(金) 近畿地区高専弓道大会
7月26日(日)～8月31日(月) 夏期合宿
8月 8日(土) 9日(日) オープンキャンパス クラブ展示等
10月11日(日) 12日(月) 全国高専プログラミングコンテスト全国大会
10月18日(日) 高専ロボコン2015 近畿地区大会
11月14日(土) 15日(日) 全国高専デザインコンペティション
11月14日(土) 15日(日) 近畿地区高専英語プレゼンテーションコンテスト
1月23日(土) 24日(日) 全国高専英語プレゼンテーションコンテスト
3月 8日(火)～3月22日(火) 春期合宿

4. 講演会

- 6月29日(月) 薬物乱用防止講演会(3年生)
11月 4日(水) HIV等感染予防講演会(2年生)
1月25日(月) 教養講演会「輝かそう、命」(3年生)
2月 8日(月) いじめ防止講演会(1年生)

5. その他

- 6月10日(火) 第1回中丹高等学校補導連絡協議会(大江高校)
7月 6日(月) 防災訓練
7月21日(火) 校長フリートーキング
9月29日(火) 近畿地区学生補導・人権教育連絡会
10月 8日(木) 卓越した学生に対する授業料免除
10月13日(火) 第2回中丹高等学校補導連絡協議会(東舞鶴高校)
11月19日(木) マラソン大会(雨天中止)
1月26日(火) 青葉会館業者(売店・食堂)フリートーキング

平成27年度の学生委員会では各委員が次の通り役割を分担した。(*=責任者)

	役 割	分 担	内 容
	主事代行	*山田 主事補	主事不在時に主事の代行をする。
行事関係	高専祭	全委員	高専祭の準備・実施に当たっての支援と指導を行う。
	新入生合宿研修	*山田 及び全委員	新入生合宿研修の準備と実施に当たる。
	マラソン大会	*芦澤, 田村, 小野, 中川	マラソン大会の準備と実施に当たる。
	講演会	*児玉, 谷川	講演会等の立案・準備・実施に当たる。
	環境美化	*山田, 畑, 清原, 渡部	環境美化清掃の立案・準備・実施に当たる。
	パートナーシップ	*岡田, 豊田	パートナーシップの実施の中心となる。
	危機管理・防災訓練	*石川, 片山, 清原	危機管理・防災訓練に関する企画・立案を行う。
学生指導関係	いじめ防止, アルバイト指導	*谷川 及び全委員	いじめ防止, アルバイト指導。
	交通安全指導	*芦澤, 背戸柳, 主事補	交通安全指導の中心となり, 当該指導に必要な企画を行う。
	禁煙・禁酒指導	*加登, 豊田, 渡部, 主事補	禁煙・禁酒指導の中心となり, 当該指導に必要な企画を行う。
	女子学生指導	*岡田, 畑	女子更衣室等女子固有の問題について指導を行う。
	修学支援・特別支援教育	*田村, 小野, 篠原	修学支援・特別支援教育に関わる問題に当たる。
その他	学生会, ボランティア活動	*谷川, 背戸柳, 中川	学生会活動・ボランティア活動の支援を行い, その活性化をはかる。
	クラブ活動	*石川, 町田	クラブ活動の支援を行い, その活性化をはかる。
	広報WG	*篠原	広報WGと学生委員会との連絡, 調整を行う。
	対外協議	*谷川 及び主事補	対外機関・組織との協議や折衝に当たる。

学寮委員会

寮務主事 仲川 力

平成 27 年度の学寮運営の理念および基本方針を以下に示します。

(1) 平成 27 年度 学寮運営の理念

「全人教育（自主性と協調性）」

寮生活を通して 1 年生，2 年生（低学年）は基本的な生活習慣を身に付け，人格陶冶と規則遵守の態度を養う。3 年生以上（高学年）は寮生活の経験に基づき友情，相互寛容など人間関係について正しい理解と自主，自律の精神を養う。

(2) 平成 27 年度 学寮運営の基本方針

① 勉学と課外活動の拠点としての学寮

- ・欠課・欠席届提出の励行（2 週間以内）
- ・低学年の 23 時完全消灯（ブレーカーダウン）
- ・パソコンゲームの抑制（自習・就寝時間内の禁止）
- ・点呼の厳格実施

② 安全，安心，清潔な学寮

- ・避難訓練の実施，原子力防災の啓蒙，防犯講習会実施
- ・二足制の維持，昼食検食，清掃チェック
- ・給食検討委員会（委託業者の選定），栄養講座実施，寮生以外の寮内立入禁止

③ 人間性・社会性・公共性を育む学寮

- ・寮生会・指導寮生会等の自主的活動のサポート
- ・ボランティア活動のサポート

④ きめの細かい学生指導と相談体制の整備

- ・フロアミーティングの実施（適宜）
- ・フロア巡回（適宜），低学年登校指導
- ・年度途中の 1 年生の部屋替実施，寮室点検
- ・禁酒・禁煙，低学年アルバイト禁止
- ・担任との連携（早期発見・早期対応）

(3) 平成 27 年度学寮委員会役割分担（*＝責任者）

① 学寮委員による活動

役割	担当	職務内容
寮生会	* 伊藤 奥村(昌)	寮生会の活動（特に役員会）をサポートする。随時寮生会役員会との会合を持つ。学寮見学を企画・実施する。
指導寮生会	* 生水 ジョナサン	指導寮生会の活動をサポートする。随時指導寮生会との会合を持つ。
給食検討・清掃	* 船木 村上	寮生会生活委員会の活動を，清掃・給食の面を中心にサポートする。給食検討委員会を主催する。1 年生対象の栄養講座を実施する。
広報	* 井上 宮元	寮生会文化報道委員会の活動をサポートする。鶴友たよりを年 2 回発行する。学寮 H P を維持管理する。

防災・防犯	* 徳永 須田	寮生会防災委員会の活動をサポートする。防災・防犯に関する寮務を企画する。避難訓練を実施，防犯講習会を実施，AED講習会を実施する。 学寮食堂における重食，盗食の防止。
車輛	* 徳永 四蔵 毛利	寮生会車両委員会の活動をサポートする。車輛許可申請の受付。無許可車輛，駐車違反の取締り，自転車の整理等を実施する。
リーダーシップ セミナー	* 上杉 野毛 牧野	リーダーシップセミナーの実施。
無線LAN サポート	* 伊藤 船木 高木	寮生の無線LAN利用のサポートおよび情報科学センターとの調整。
点呼	* 野毛 室巻	点呼結果の集計及び毎月のパソコン点呼の集計とその改善。
寮室点検	* 生水 宮野	寮室の清掃と整理整頓の指導，違反物品の持込みの取締り等を実施する。
ボランティア活動	* 奥村昌 宮崎(操) 四蔵	各種ボランティア活動を企画・実施する。
宿日直割当	* 上杉	年2回宿日直割当を行う。宿日直割当表作成方法の改善を図る。
特別支援教育	* 井上 上杉	特別支援教育連絡協議会の支援活動をサポートする。

② フロア担当

棟	フロア	担当	棟	フロア	担当	棟	フロア	担当
1	女子寮	仲川， 上杉	4	4-1	生水	6	6-1	室巻
2	留学生	ｼﾞｮﾅｿﾝ, 宮崎		4-2	井上		6-2	宮元
	2-2	仲川		4-3	伊藤		6-3	宮野
	2-3			6-4	野毛			
3	3-1	船木	5	5-1	須田	7	7-1	室巻
	3-2	四蔵， 毛利		5-2	村上		7-2	
	3-3	奥村， 牧野		5-3	徳永		7-3	高木
					7-4			

後期担当は2，3号館改修のため変更

○学寮関係行事

- 4月 4日（土） 開寮
- 4月 5日（日） 入寮式（149名の学生の入寮と保護者懇談の開催）
- 4月18日（土） 新入寮生挨拶指導と歓迎ドッジボール大会
- 4月 6日（月）～5月8日（金）フロアミーティングの実施
- 4月26日（土） 学生会と寮生会主催による新入生歓迎会
 - （午前）クイズ大会，長縄飛びなどのクラス対抗戦
 - （午後）餅つき大会，ビンゴ大会，軽音楽同好会のライブ演奏

5月14日（木） 学寮避難訓練
6月22日（月）～7月3日（金）第1回寮室点検
7月20日（月） サマーフェスティバル
7月23日（木） 学寮防犯講習会
7月25日（土） 部屋替え
7月26日（日） 閉寮
8月8日（土）、9日（日） オープンキャンパス（寮施設見学）、女子寮開寮
9月 6日（日） 開寮（寮室内害虫駆除、寮内廊下等ワックス掛け済）
10月27日（火）～11月13日（金） フロアミーティングの実施
12月 8日（火）～12月18日（木）第2回寮室点検
12月 8日（火） 近畿国立高専寮務主事会議（舞鶴高専）
12月10日（木）、14日（月） 入寮選考説明会
12月10日（水） 寮生総会（寮生会、寮生副会長の選挙）
12月26日（土） 閉寮
12月23日（水） 2015高専女子フォーラム in 関西
1月19日（火） 寮生 AED 講習会
1月11日（日） 開寮
2月中旬 入寮選考結果発表
3月4日（金）、5日（土） 寮部屋替、閉寮

○学寮委員会等の開催

4月 1日（火） 第1回学寮委員会
4月20日（木） 第1回臨時学寮委員会
6月12日（木） 第2回学寮委員会
10月30日（金） 第2回臨時学寮委員会
11月10日（火） 第3回学寮委員会
2月 3日（水） 第4回学寮委員会

※学生指導、2・3号館改修工事などに関連し、複数回の主事・主事補会議を開催。

○近畿地区寮務主事会議

平成 27 年 12 月 8 日（火）明石高専 堀桂太郎寮務主事、奈良高専 松井良明寮務主事、和歌山高専 榎原恵蔵寮務主事が参加し、本校にて近畿地区 4 高専の寮務主事会議が開催されました。本校の学寮見学後、以下に示す協議事項および承合事項について協議と情報交換を行いました。

【協議事項・承合事項】

1. 学寮敷地内におけるインターネット環境について（提案校：奈良高専）
2. 短期留学生のアメニティー等（インターネット利用を含む）について（提案校：奈良高専）
3. 長期休業（閉寮）中における、留学生の在寮を認めているかどうか（提案校：明石高専）
4. 定員を超えた場合の、入寮選考方法について（提案校：明石高専）
5. 学寮における宿日直業務の外部委託について（提案校：和歌山高専）
6. 寮生の病気やケガに対する病院搬送について（提案校：舞鶴高専）

○ 7号館への留学生入居に伴う処置

7号館の寮生は本来寮室移動を行わなくてよいが、留学生を7号館に移動させる必要があるので、一部7号館の寮生の移動が必要となった。留学生の移動先は7号館1階とし、宗教上の関係で7号館1階の補食室は、留学生専用とした。

○ リーダーシップセミナー

平成27年度のリーダーシップセミナーは、COC事業の一環として、京都工芸繊維大学の協力を得て実施した。6月20日（土）に、指導寮生会・寮生会等の学生35名が京都工芸繊維大学を訪問し、京都工芸繊維大学の津吹達也准教授によるリーダーシップに関するワークショップを受講した。

専攻科

専攻科長 三輪 浩

1. 年間活動の概要

専攻科の年間活動の概要を下表に示す。

表1 活動内容

年 月	内 容
平成 27 年 4 月	・第1回専攻科委員会 ・専攻科（総合システム工学専攻）入学式 電気電子システム工学コース10名入学 機械制御システム工学コース6名入学 建設工学コース3名入学 ・新入生オリエンテーション ・1年生研究室配属決定 ・平成28年度専攻科学生募集要項の最終確認 ・専攻科学生の Teaching assistant の募集 ・JABEE 説明会 ・特例適用専攻科認定申出手続き
平成 27 年 5 月	・専攻科ウェブページの更新 ・兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科との推薦入学に関する協定（案）協議
平成 27 年 6 月	・第2回専攻科委員会 ・専攻科教育用図書の推薦 ・特例適用による学位申請説明会 ・専攻科推薦特別選抜試験 ・第3回専攻科委員会 ・特例適用専攻科認定申出補正手続き
平成 27 年 7 月	・第4回専攻科委員会 ・専攻科一般学力選抜試験（前期） ・第5回専攻科委員会 ・第3ブロック専攻科長会議
平成 27 年 8 月	・第6回専攻科委員会 ・ISTS2015（第5回「持続可能な社会構築への貢献のための科学技術」に関する国際シンポジウム，マラ工科大学，マレーシア） ・海外インターンシップ・国内インターンシップ
平成 27 年 9 月	・第7回専攻科委員会 ・前期期末試験 ・学習総まとめ科目履修計画書の確認
平成 27 年 10 月	・学位見込申請 ・特別研究基礎中間発表 ・第8回専攻科委員会 ・専攻科一般学力選抜試験（後期） ・第9回専攻科委員会 ・海外インターンシップ・国内インターンシップ報告会 ・特例適用による学位申請 ・JABEE 実地審査

平成 27 年 11 月	・ 第 10 回専攻科委員会
平成 27 年 12 月	・ 学位見込申請小論文試験 ・ 合同学校説明会参加 ・ 近畿地区高専専攻科長会議
平成 28 年 1 月	・ 第 11 回専攻科委員会 ・ 特別研究発表会 ・ 臨時専攻科委員会（大学評価・学位授与機構対応シラバス関係）
平成 28 年 2 月	・ エンジニアリング・デザイン演習成果発表会 ・ 2 年生後期期末試験 ・ 第 12 回専攻科委員会 ・ 第 13 回専攻科委員会 ・ 1 年生後期期末試験 ・ 学習総まとめ科目成果の要旨の確認 ・ 兵庫県立大学大学院応用情報学研究科との推薦入学に関する協定(案)協議 ・ 再試験
平成 28 年 3 月	・ 特別研究基礎発表会 ・ 第 14 回専攻科委員会 ・ 専攻科修了証書授与式 ・ 平成 29 年度専攻科学生募集要項の作成

2. 専攻科の高度化再編

本年度より本校専攻科が改組され、これまでの 2 専攻から 1 専攻 3 コース制に移行した。専攻名は「総合システム工学専攻」、コース名は「電気電子システム工学コース」、「機械制御システム工学コース」および「建設工学コース」である。この改組によって、より高度な専門分野の学問を教授・研究するだけでなく、これまで以上に融合・複合教育を推進することができるようになった。なお、改組は学年進行のため、本年度の入学生から適用されており、2 年生以上は旧専攻である。

3. 改組に伴う専攻科の特例適用の申出と認定

本校の専攻科は平成 26 年度に大学評価・学位授与機構より認定専攻科としての認定を受けた。これを受け、平成 27 年 4 月に学位申請に係る特例適用の申出を行った。その後、補正審査を経て「機械工学」、「電気電子工学」、「土木工学」、「建築学」の 4 つの専攻区分において、特例の適用が認定された。これにより、平成 27 年度の入学者に対しては特例による学位の申請が可能となり、必要な手続きと審査を経て「学士」の学位が授与されることになった。

4. 特例による学位授与申請

平成 26 年度から施行された特例による学位申請制度は、これまでの学生個人としての申請ではなく、高専専攻科としての一括申請とされた。これを受け、平成 27 年 10 月に、平成 26 年度の入学者に対する特例による学位授与の申請を行った。これに先立ち、「特例適用による学位申請説明会」を開催するとともに、学修総まとめ科目（特別研究）履修計画書の確認を行った。さらに、当該学生に対する履修単位の確認と学習総まとめ科目成果の要旨の確認も行った。特例適用による学位申請に対する大学評価・学位授与機構の審査を経て、平成 28 年 3 月、申請者全員に「学士」の学位が授与された。

5. 第 3 ブロック専攻科長会議、近畿地区高専専攻科長会議

昨年度まで実施されていた高専機構主催の専攻科長会議が今年度から廃止されたことに伴い、第 3 ブロックを対象とした専攻科長会議が開催されることになった。今年度は奈良高専を担当校として、7 月 24 日（金）に京都 JA 会館で開催された。協議事項では、特例適用専攻科への対応、JABEE 対応、専攻科入学定員への対応、等について議論された。また、承合事項では、特例適用認定関係と入試関係について各校の状況が説明された。

今年度の近畿地区高専の専攻科長会議は、神戸高専を主管校として 12 月 22 日（火）に UNITY（大

学共同利用施設)にて開催された。協議事項では、学修単位の導入と運用について議論された。また、承合事項では、就職・進学指導、特例適用、入試関係、等について各校の状況が説明された。

6. 一般学力選抜試験における改訂事項

後期日程より、学力選抜試験での電卓の使用を認めないこととした。これに伴って、試験問題も電卓の使用を前提としないものとする事とした。これは、受験時の試験問題選択や電卓スキルの不公平性を是正することに配慮したものである。また、これまで必ずしも統一されていなかった問題作成時のフォーマットをより適切なものに改訂した。

7. 学生の学会発表

専攻科では、学生が自身の研究成果を積極的に学外で発表することを奨励している。これは、学外での客観的な評価を受けることによって、研究に関する新たな発見や今後の方向性に繋がるためでもある。今年度の発表件数を以下にまとめる。括弧内の数字は国際会議で内数を示す。

表2 学外での研究発表件数

専攻名	発表件数	コース名	発表件数
電気・制御システム工学	10 (2)	電気電子システム工学	4 (1)
建設・生産システム工学	5	機械制御システム工学	2
		建設工学	1

8. インターンシップ

今年度は2名の学生が海外インターンシップに参加し、3名の学生が国内インターンシップに参加した。これらの学生はインターンシップ報告会で報告を行うとともに、評価に基づいて規程に従って単位認定が行われた。派遣先と派遣期間は以下のとおりである。

表3 インターンシップ派遣状況

番号	派 遣 先	派 遣 期 間
1	Malaysia-Japan International Institute of Technology (MJIT) (マレーシア)	8月17日～8月28日
2		
3	池上通信機株式会社 プロダクトセンター	7月27日～7月31日
4	一尾建築環境設計株式会社	8月3日～8月21日
5	カーロボ連携大学院 (北九州市立大, 九州工業大, 早稲田大)	8月31日～9月11日

注：番号4はインターンシップ期間が規程に満たないため、単位認定されていない。

9. 専攻科学生の進路状況

今年度、電気・制御システム工学専攻、建設・生産システム工学専攻の学生に対して多数の求人があった。また、大学院入試にも積極的に挑戦した。進路状況を以下に示す。

表4 進路状況 (平成28年3月)

進 路	企業等・大学院
就職 (主な内定企業)	三菱電機株式会社先端技術総合研究所, 株式会社京都製作所, 株式会社堀場エステック, 国土交通省近畿地方整備局, 三菱電機システムサービス株式会社, 日新電機株式会社, 戸田建設株式会社, 西日本高速道路株式会社, 大和ハウス工業株式会社, 西日本高速道路ファシリティーズ株式会社, 株式会社ハンシン建設
進学 (主な合格大学院)	奈良先端科学技術大学院, 神戸大学大学院, 九州工業大学大学院, 兵庫県立大学大学院

10. 専攻科委員会の構成と役割分担

専攻科の活動は専攻科委員会が担っている。各学科・各部門から1名の委員が所属しており、委員長の下、委員会での合議によって運営されている。平成27年度の委員構成と役割分担は以下のとおりである。

表5 専攻科委員会委員の構成

氏 名	役 割	主たる業務分担	備 考
三輪 浩	専攻科長/委員長	総括	
舩木 英岳	電気・制御システム工学専攻長，電気電子システム工学コース長（併任）	当該専攻および当該コースの運営	
篠原 正浩	機械制御システム工学コース長	当該コースの運営	
尾上 亮介	建設・生産システム工学専攻長，建設システム工学コース長（併任）	当該専攻および当該コースの運営	
金森 満		教務関係事項への助言	教務主事
松井 信義		カリキュラムマップ	
宮野 敏男		推薦図書，カリキュラムマップ	
松梨 英輔		事務手続きの承認	学生課長
橋本 豊		事務手続きの実施	学生課長補佐

以上

人文科学部門

人文科学部門長 垂谷 茂弘

1. 授業公開

本年度は、ジョナサン・ケイ教員が1月22日（金）5・6時限「英会話I B」（1年4組）の授業時において実施した。学内評価者は人文科学部門の荒川吉孝教員（主査）と自然科学部門の小松幸恵教員とが務め、学外評価者は海上保安学校の駒田真奈美先生と太田一道先生とに依頼した。

2. 英語デー

10月13日（火）、英語科が実施運営主体となり、クラス担任等の協力を仰ぎ、教務委員会主催の学校行事として TOEIC および ACE の団体受検を実施した。日頃の学習の成果および英語のリーディング・リスニング能力を評価する目的で、本科1・2年生はACE (Assessment of Communicative English) を、本科3年生から専攻科2年生まではTOEIC (Test of English for International Communication) を受検した。

3. 英語プレゼンテーションコンテスト

第9回近畿地区英語プレゼンテーションコンテストは、1月14日（土）と15日（日）、大阪府立大学「I-site（アイサイト）なんば」にて開催された（主幹校、大阪府大高専）。

スピーチの部

3年建設システム 藤井希帆 A Life in Iron, Metal, Concrete, and Soil!

5年機械 荒木亮 Major (but Unnoticed) Problem Over Tokyo Olympic

プレゼンの部 Cultural anthropology in our school

3年建設システム 清水嵩史

3年電気情報 平井恒良

3年電子制御 谷口涼太

コンテストでは、藤井さんが近畿地区スピーチの部で見事優勝を収め、第9回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストへの参加を決めた。

全国大会は1月23日（土）、24日（日）、国立オリンピック記念青少年総合センター、国際交流棟国際会議室で開催された。昨今、短期・長期の留学経験を持つ出場者が少なからずいる中、藤井さんの英語の発音、リズム、イントネーションは他の発表者に負けず劣らず素晴らしく、また発表態度も実に立派であったが、惜しくも入賞には至らなかった。なお、これに先立って、藤井さんとジョナサン・ケイ教員が1月19日（火）、舞鶴市長に全国大会出場の報告を行った。

出場者の指導は吉永教員とジョナサン・ケイ教員が主に担当し、全国大会は松井教員が引率した。

4. 国際ソロプチミスト クラブ・ユース・フォーラム

5月17日（日）に、舞鶴グランドホテルにて「国際ソロプチミスト クラブ・ユース・フォーラム」が開催され、本校からは電子制御工学科3年の植田祐未さんと建設システム工学科3年の藤井希帆さんが参加した。論文・プレゼンテーションの指導には村上美登志教員・田村修一教員・畑恵里子教員が当たり、田村教員が引率した。国際ソロプチミストとは、女性と女兒との生活向上のためのプロジェクト等を推進している国際的ボランティア組織であり、その日本中央リジョンでは「次の時代の優秀なリーダー育成」等を目的に2年に一度ユース・フォーラムを開催し全国のクラブから各1名の代表者を募っている。舞鶴でもその選考会を兼ねて、2年に一度市内の女子高校生が集まってクラブ・ユース・フォーラムが開催されている。

5. 外部資金導入

本年度は、人文科学部門教員で、以下の者が科研費を受けている。吉永進一教員（研究代表者）基盤研究（C）「近現代日本の民間精神療法に関する宗教史的考究—身体と社会の観点から」、吉永進一教員（研究分担者）基盤研究（B）（代表：岩田文昭大阪教育大学教授）「青年知識人の自己形成と宗教——近角常観とその時代」、吉永進一教員（研究分担者）基盤研究（B）（代表：安藤礼二多摩美術大学准教授）「神智学運動とその汎アジア的文化接触の比較文学的研究—東西融和と民主主義の相克—」、吉永進一教員（研究分担者）基盤研究（C）「デジタルアーカイブ構築による人文書院戦前期資料の多面的文化史研究（代表：横浜国立大学一柳廣孝教授）、吉永進一教員（研究分担者）基盤研究（C）「複眼的視点からの大本教研究—データベース構築と国際宗教ネットワークの研究」（代表：對馬路入関西学院大学教授）。

6. その他

「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」に関連する講義として、「地域学Ⅰ，Ⅱ」（牧野雅司教員担当）、「現代社会と宗教Ⅰ，Ⅱ」（吉永進一教員担当）、「現代日本の政治・経済と法Ⅰ，Ⅱ」（児玉圭司教員担当）が開講されている。また、「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」の一環として、牧野教員が10月13日（火）には「地域振興策としての「誘致」、同20日（火）には「地域振興策としての「観光」と題して、京都工芸繊維大学にて講義を行った。

自然科学部門

自然科学部門長 小野 伸一郎

1. 学力向上のための取り組み

(1) 数学基礎力診断テスト

1年生の数学基礎力診断テストを年度当初の「数学演習ⅠA」の授業時に実施しました。このテストによって基礎学力の不足が判明した学生に対しては、その後の「基礎数学Ⅰ」の授業において授業担当者が特に注意を向けることにしました。

(2) 模擬試験（3年生対象）

1年生、2年生と3年生の10月までの学習の成果を確かめるために、数学の模擬試験を11月12日（木）の「微分積分Ⅲ」の授業時に実施しました。内容は、過去の到達度試験の問題を解かせる模擬試験でした。試験実施直後に数学教員が共同作成した「解答と解説」（計16ページの冊子）を配付し、また答案返却時には、受講者各自の学習領域ごとの試験成績について、学年内及び学科内の相対位置を記した「個人成績結果」を配付するなどして、今後の学習意欲の動機付けになるように工夫しました。

物理については、1、2年次の各学習領域から精選した60題の問題の解答と解説を記した「学習到達度試験物理問題集」（物理教員が共同作成した計39ページの冊子）を9月末に学生に配付し、学習内容の復習を促しました。また、11月9日（月）7、8限には、この問題集に含まれる問題の類題30題を出題してマークシート形式で解答させる模擬試験を実施しました。模擬試験後、学年内及び学科内の順位などを記した「個人成績結果」を学生に配布すると共に、学習領域ごとの試験結果分析を行い、次年度以降の授業の改善に利用しました。

(3) 学力向上対策

4年編入学生4名に対して、「微分積分Ⅱ、Ⅲ」の補講を週1回、夏期休業前まで実施しました。3年留学生に対しては、希望がなかったために、補習を実施しませんでした。

(4) その他

国立高等専門学校学習到達度試験「数学」・「物理」が1月14日（木）に実施されました。

2. 授業公開

上杉教員が1月21日（木）に「応用物理Ⅱ」の授業公開を行いました。

3. オープン・キャンパス

本年も人文科学部門と共同での教科書展示のほか、授業の板書の抜き書きや曲面模型の展示を行いました。

4. 人事など

・数学をご担当いただいた小松教授と伊藤非常勤講師が、今年度いっぱいでご退職されます。長い間お世話になりました。

・各教員の校務など

教員名	校務など
上杉智子	寮務主事補, 企画室, 地域共同テクノセンター運営委員, 人権・ハラスメント防止委員, 創立50周年記念事業実行委員, 防災リテラシーWG, 吹奏楽部顧問, 女子バレーボール部顧問

梅垣浩二	図書館運営委員，情報科学センター運営委員，情報セキュリティ管理委員，剣道部顧問
岡田浩嗣	1年4組担任，学生主事補，国際交流センター運営委員，評価委員 軽音楽部顧問，弓道部顧問
奥村昌司	2年2組担任，学寮委員，広報委員，吹奏楽部顧問，柔道部顧問，ボランティア同好会顧問
小野伸一郎	部門長，学生委員，教育研究支援センター運営委員，陸上競技部顧問
亀谷 睦	2年4組担任，評価委員，FD・ICT 部会長，教育プログラム委員，紀要編集委員，女子バスケット部顧問，ローイング部顧問
小松幸恵	教務主事補，広報委員，学生相談室委員，本科高度化再編 WG，入試広報 WG，女子バレーボール部顧問，華道部顧問，ボランティア同好会顧問
背戸柳実	1年2組担任，学生委員，教育プログラム委員，硬式野球部，サッカー部，雪上スポーツ同好会顧問
宮崎昭仁	教務委員，情報科学センター運営委員，情報セキュリティ管理委員，国際交流センター運営委員，テニス部顧問，ソフトテニス部顧問
宮野敏男	学寮委員，専攻科委員，FD・ICT部会委員，テニス部顧問，鉄道研究会顧問

機 械 工 学 科

機械工学科長 生水 雅之

1. 年間活動の概要

年 月	活 動 内 容
平成 27 年 4 月	・ 新入生対象学科ガイダンス (4/6)
5 月	・ プレオープンキャンパス (舞鶴会場, 5/24)
6 月	・ 出前授業「ミニ工作機械を使った切削加工の実演・実習と説明」(滋賀県草津市立高穂中学校 3 年生, 6/12) ・ プレオープンキャンパス (京都会場, 6/14) ・ 出前授業「ロボットの公開と実演」(舞鶴市立志楽小学校, 6/28)
8 月	・ オープンキャンパス (8/8, 9)
9 月	・ 公開講座「考えて動かそう! きみにもできるロボットづくり」(本校, 9/5, 対象: 小中学生) ・ 公開講座「3D-CAD を使ってみよう! パソコンで 3D モデル組立て」(本校, 9/6, 対象: 中学生) ・ インターンシップ報告会 (9/29, 10/1, 対象: 4 M 学生)
10 月	・ 出前授業「空気抵抗の少ない浮子づくり」(国立若狭湾青少年自然の家, 10/4, 5, 参加者: 幼稚園児, 小中学生および保護者)) ・ 卒業研究中間発表会 (10/15)
11 月	・ 第 20 回青少年のための科学の祭典 京都大会「MDF 材ネームプレートを作ってみよう」(京エコロジーセンター, 11/7, 参加者: 幼稚園児, 小中学生および保護者) ・ 女子中学生一日高専体験会 (11/8) ・ 海外研修旅行 (ベトナム, 11/10~14, 機械工学科 4 年生) ・ 出前授業「ミニフライス盤を用いた MDF 材の加工の説明と実習」(京都市立桂中学校 2 年生, 11/25) ・ 公開講座「パーソナル 3D プリンターの基礎」(本校, 11/28, 対象: 舞鶴工業集積協議会会員)
12 月	・ 三菱重工業株式会社による特別授業:「技(わざ)」と「術(すべ)」を考える〜知識を知恵に変えるとは〜 (12/17, 対象: 4M, 5M 学生および教職員)
平成 28 年 1 月	・ 機械工学科特別講演会「鉄道会社のしごと」(西日本旅客鉄道株式会社福知山支社, 1/15, 対象: 3M, 4M 学生) ・ 授業公開「5M, 計算機援用工学」(授業実施者: 西山教員, 1/18)
2 月	・ 第 10 回科博連サイエンス・フェスティバル「MDF 材ネームプレートを作ってみよう」, 「振り子で LED を点灯させてみよう」(京都市青少年科学センター, 2/7, 参加者: 幼稚園児, 小中学生および保護者) ・ 卒業研究発表会 (2/17)



プレオープンキャンパス (舞鶴, 5/24)



公開講座 (9/5)



オープンキャンパス (8/8, 9)

2. 三菱重工業による特別授業

12月11日(金)13時より、高専機構と三菱重工業株式会社が締結した「包括連携協定」に基づく以下の特別授業(180分)が、本校視聴覚教室で実施されました。

題目：「技(わざ)」と「術(すべ)」を考える～知識を知恵に変えるとは～

内容：生産技術(IE)・生産管理教育

講師：三菱重工業株式会社 技術統括本部 ものづくり技術部 技監・マネージングエキスパート
大坂 弘美氏 (佐世保高専機械工学科卒業)

対象：機械工学科4年生、5年生および本校教職員

製造技術と生産技術の違い、三大管理技術とは何か、IE(インダストリアル・エンジニアリング)とは何か等について、平易な用語を使ってわかりやすい授業をしていただきました。聴講した学生のアンケートからは、「わかりやすく楽しい授業でした」、「内容の濃い授業でした」、「ほとんど眠くならない授業でした」等の声を聞くことができました。また教職員のアンケートからは、「技者ではなく術者を育てたい」、「知識を知恵に少しでも転換できる授業内容を創り出したい」、「三菱重工との繋がりを今後も大切にしていきたい」等の声を聞くことができました。

3. 機械工学科特別講演会

3年生および4年生を対象とした機械工学科特別講演会を1月15日(金)14時35分から視聴覚教室で実施しました。講師には西日本旅客鉄道株式会社 福知山支社より、木村文彦氏(輸送課, 平成10年度本校電子制御工学科卒業)および塩見知裕氏(車両課, 平成8年度本校機械工学科卒業)を講師に招き、「鉄道会社のしごと」の演題で講演をいただきました。安全で快適な鉄道に向けた取り組みや技術開発に向けた取り組みについて、輸送および車両のそれぞれの立場より講演を聞くことができました。特に電車の運行計画や電車のメンテナンス等に関して興味深い話を聞くことができました。聴講した学生達は今後の進路を考える上で大いに参考になったと思います。



三菱重工技術統括本部による特別授業



JR 西日本福知山支社による特別講演会

電気情報工学科

学科長 中川 重康

1. 年間活動の概要

年間活動の概要を次の表に示します。なお、今年度をもって、新池一弘教員(常勤)・東田剛志教員(非常勤)・森内基隆技術職員(再雇用)・福村一実技術職員(再雇用)が退職されます。長年にわたり、本学科に多大な貢献をされたことに感謝し、ここに報告します。

年 月	内 容
平成 27 年 4 月	・新入生を対象としたガイダンス(4/6)
平成 27 年 5 月	・プレ・オープンキャンパス(5/24 本校, 芦澤)体験学習「アプリで体験! 画像処理!!」
平成 27 年 6 月	・プレ・オープンキャンパス(6/14 京都市, 芦澤)体験学習「アプリで体験! 画像処理!!」
平成 27 年 7 月	・創造工学成果発表会 (7/16; 舞鶴市役所職員の方 3 名来校, 丹下)
平成 27 年 8 月	・オープンキャンパス(8/8, 8/9) 体験学習「振れば絵が出るイルミネーション!」丹下, 「高専プロコンにチャレンジ!!」船木
平成 27 年 9 月	・インターンシップ 報告会 (9/29; 4 年生, 企業 15 社, 金山)
平成 27 年 10 月	・卒業研究中間発表会(10/6; 上位 2 名 電気学会主催高専卒業研究発表会 3 月) ・電気情報工学科講演会(10/15; 電気四学会関西支部主催, 新池) ・工学基礎研究の配属を決定(10/22; 翌年の卒研配属と同一, 新池)
平成 27 年 11 月	・4E 研修旅行(北海道←韓国 MERS 感染, 付添; 金山・井上)(11/10~13) ・かがく体験 in 若狭湾への出展(11/22)「わくわくプログラミング教室」(井上, 古林) ・女子中学生 1 日高専体験会(11/8 本校, 芦澤・古林) 体験学習「半田付けはもう古い? プリンタで印刷できる回路!」 ・東舞鶴駅イルミネーション設置(11/24 大型バスにて 3E 全員移動し設置完了) NTT テクノフィールド株式会社の技術者から地域貢献として現場指導
平成 27 年 12 月	・東舞鶴駅イルミネーション点灯制御(点灯期間 12/1-2/29, 担当 3 年工学実験) ・冬の公開講座「聖夜を彩る雪だるまイルミネーション」(12/12, 金山)
平成 28 年 1 月	・授業公開「電気回路(科目担当: 内海, 主査: 井上)」(1/21) ・電気情報工学科教育研究会「教育環境改善に関する研究および舞鶴高専 11 年間の振り返り: 新池」(1/21, 平地)
平成 28 年 2 月	・4 年生工学基礎研究発表会 (2/4, 新池) ・5 年生卒業研究発表会 (2/16, 新池)



新入生ガイダンス



創造工学発表会



4 年研修旅行(北海道)



東舞鶴駅イルミネーション



冬の公開講座



高専卒業研究発表会

2. 学生による学会発表

電気情報工学科本科生の学外発表を次の表に示します。

年 月	発 表 学 会	発 表 者
平成 27 年 8 月	日本高専学会 (第 21 回年会講演会) “再生可能エネルギー教育のための太陽電池教材の検討”	藤田智常, 多田彬史 (内海研)
平成 28 年 1 月	第 21 回高専シンポジウム in 香川 “学生実験用ショットキーバリアダイオードの試作” “小規模農家向け農場観測制御システムの開発”	多田彬史, 藤田智常 (内海研) 辰野渉(片山研)
平成 28 年 3 月	電気学会関西支部高専卒業研究発表会 “組み合わせ式直交変換を用いた異種画像識別方法 の検討” “視覚障がい者の歩行支援を目的とした障害物検知 システムの開発” 第 63 回応用物理学会春季学術講演会 “シリコン太陽電池教材の開発”	一盛崇(芦澤研) 渡部翔太(丹下研) 藤田智常, 多田彬史 (内海研)

3. 電気情報工学科特別講演会

平成 27 年 10 月 15 日(木)に電気四学会関西支部主催の特別講演会を, 本校視聴覚教室にて開催しました。講師は株式会社インダ開発部部长坂本慎介氏(1998 年舞鶴高専電気工学科卒業)にお願いして, 「企業における研究開発」のご講演を頂きました。学生達は, 開発の立場から製品に様々なアイデアを盛り込まれているというお話を, 非常に興味深く聞かせて頂きました。(新池)



特別講演会

4. プレ・オープンキャンパス, オープンキャンパス, 女子中学生 1 日体験会

プレ・オープンキャンパス, オープンキャンパスおよび, 女子中学生 1 日高専体験会の体験学習では, 本科生と専攻科生が中学生に内容を優しく教えました。3 イベント 6 日間に, 延べ約 35 人の在校生が体験学習の説明役を担ってくれました。(芦澤, 井上)



プレ・オープンキャンパス



オープンキャンパス



女子中学生 1 日高専体験会

5. 5 年生の進路状況

今年度, 日本経団連が中心になって定めた「採用選考に関する指針」により, 選考活動の開始時期が卒業・修了年度の 4 月 1 日以降から 8 月 1 日以降に変更となり, 進路活動に混乱が生じましたが, 全員の進路が無事決定しました。就職と進学割合は, 就職が 56%, 進学が 44% とほぼ例年通りとなり, 就職活動の時期変更の影響は結果的にありませんでした。(片山)

就職(主な内定企業) : (株)インダ, (株)エクセディ, (株)NHK アイテック, NTT コムウェア(株), エンケイ(株), 大阪ガス(株), オプテックス(株), グローリー(株), (株)ケイ・オブティコム, (株)日本触媒, パナソニック(株), フリュー(株), 三菱電機エンジニアリング(株), リコー電子デバイス(株)

進学(主な合格先) : 千葉大学, 金沢大学, 豊橋技術科学大学(3 名), 長岡技術科学大学(2 名), 福井大学, 徳島大学, 同志社大学(2 名), 立命館大学, 舞鶴高専専攻科(5 名)

電子制御工学科

電子制御工学科長 川田 昌克

1. 年間活動の概要

電子制御工学科の年間活動の概要を下表に示す。

年 月 日	活 動 内 容
H27年 4月 6日 (月)	新入生専門学科ガイダンス
H27年 5月 17日 (日)	出前授業「発電と放射線を学ぼう」(綾部市立吉美小学校, 担当: 石川)
H27年 5月 24日 (日)	プレオープンキャンパス (舞鶴高専)
H27年 6月 12日 (金)	模擬授業 (草津市高穂中学校, 担当: 川田, 生水・山田 (機械工学科))
H27年 6月 14日 (日)	プレオープンキャンパス (京都会場)
H27年 8月 8日 (土) ・ 9日 (日)	オープンキャンパス
H27年 8月 23日 (日)	公開講座「つくってみよう! 移動ロボット」(1回目: ロボット組み立て講習会)
H27年 10月 5日 (月)	4年生インターンシップ報告会
H27年 10月 7日 (水)	1年生工場見学 (オムロン株式会社綾部事業所)
H27年 10月 14日 (水)	COC 出前授業「水の流れをマッピングしてみよう!」, 「自動車のまわりの流れを見てみよう!」(舞鶴市立三笠小学校, 担当: 野間)
H27年 10月 16日 (金)	TETRIX 講習会 (講師: 社谷内達也氏 (株式会社アフレル))
H27年 10月 20日 (火)	5年生卒業研究中間発表会
H27年 10月 31日 (土)	公開講座「つくってみよう! 移動ロボット」(2回目: 小学校の部, 競技会)
H27年 11月 1日 (日)	公開講座「つくってみよう! 移動ロボット」(2回目: 中学校の部, 競技会)
H27年 11月 5日 (木)	学科特別講演会「放射線を面で捉える ～福島環境回復と東電福島第一原発の廃炉に向けた研究開発に関連して～」(講師: 鳥居建男氏 (日本原子力研究開発機構))
H27年 11月 8日 (日)	女子中学生1日高専体験会
H27年 11月 10日 (火) ～13日 (金)	4年生海外研修旅行 (訪問国: 台湾, 訪問校: 台湾國立聯合大學, 訪問企業: 台湾森永製菓股份有限公司)
H27年 11月 28日 (水)	COC 出前授業「水の流れをマッピングしてみよう!」, 「自動車のまわりの流れを見てみよう!」(舞鶴市立朝来小学校, 担当: 野間)
H27年 12月 17日 (木)	Zumo 講習会 (企業技術者等活用プログラム事業, 講師: 青柳良介氏 (TechShare 株式会社))
H28年 1月 27日 (水)	授業公開 (科目: ロボット工学 I, 授業担当者: 高木)
H28年 2月 16日 (火)	5年生卒業研究発表会
H28年 3月 1日 (火)	4年生創造設計プロジェクト競技会

2. 教育活動

(1) 各種競技会

PBLによるアクティブ・ラーニングとして以下の競技会を実施した。

- 「工学基礎」(1年)におけるライントレースカー競技: 6月3日(1-3), 7月22日(1-4), 12月2日(1-1), 2月10日(1-2)
- 「電子制御実習」(2年)におけるライントレースカー競技: 2月17日
- 「電子制御実験」(3年)におけるミニロボコン: 2月9日
- 「創造設計プロジェクト」(4年)におけるミニロボコン: 3月1日

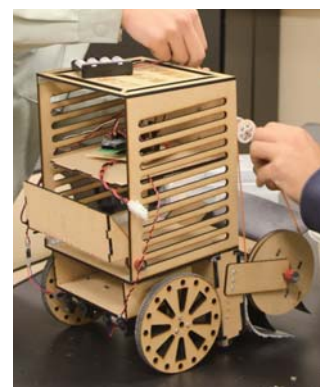
3年のミニロボコンでは教材として LEGO MINDSTORMS を利用しているが、今年度は第二世代の NXT から第三世代の EV3 に更新した。また、4年の「創造設計プロジェクト」の競技会には、第三ブロック・アクティブラーニング推進研究会に参加している教員が見学に訪れた。

(2) インターンシップ (4・5年生)

夏季休業中に4年生9名・5年生1名が企業、4年生2名が大学のインターンシップに参加し、5～10日の就業(就学)体験をした。また、インターンシップ参加学生はインターンシップ報告会で発表した。

(3) 特別講演会 (3～5年生, 11月5日)

今年度は鳥居建男氏(日本原子力研究開発機構福島研究開発部門)に、「放射線を面で捉える～福島環境回復と東電福島第一原発の廃炉に向けた研究開発に関連して」という題目でご講演いただいた。原発との関わり方を考える上で貴重な機会となった。



(4) 工場見学 (1年生, 10月7日)

「工学基礎」で実施される工場見学として, 今年度はオムロン株式会社綾部事業所を訪問した。会社概要の説明を受けた後, 製造現場を見学し, 本校卒業生2名も交えて活発な質疑応答があった。

(5) 海外研修旅行 (4年生, 11月10日~13日)

海外研修旅行として台湾を訪問し, 台湾国立聯合大學との交流を行った。また, 日本企業の現地法人である台湾森永製菓股份有限公司を訪問した。海外渡航が初めての学生が多く, 貴重な経験となった。

(6) 講習会

授業改善を検討するため, 講師を招き, TETRISやZumoといったロボット教材の講習会を実施した。

3. 学科広報活動

(1) ホームページ

本年度の4月から本学科のホームページをリニューアルし, 積極的に情報発信することにした。特に, 本学科の特色ある授業紹介を充実させた。

(2) 公開講座

公開講座「つくってみよう! 移動ロボット」(小学生の部と中学生の部)を8月23日(ロボット組み立て講習会)と10月31日・11月1日(競技会)の2回ずつ実施した。募集定員20名に対して多数の申し込みがあったため, 抽選で参加者を決定した。この競技会は和歌山県御坊市で開催される「全日本小中学生ロボット選手権」の地区予選を兼ねており, 成績優秀者2名ずつが本戦に進んだ。

(3) 出前授業, 模擬授業

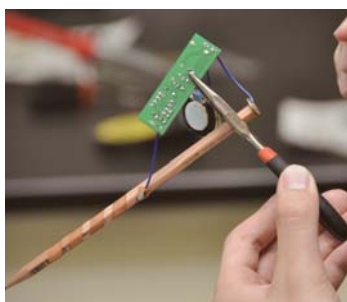
4件の出前授業・模擬授業を実施した。出前授業では, 京都北部の小学校3校に出向き「発電と放射線を学ぼう」, 「水の流れをマッピングしてみよう!」, 「自動車のまわりの流れを見てみよう!」というテーマで授業を実施した。また, 草津市高穂中学校における模擬授業に参加し(本校以外に滋賀県内11の高校が参加), 「倒立振りロボットの自動制御」, 「ミニ工作機械を使った切削加工の実演・演習と説明」というテーマで授業を実施した。

(4) プレオープンキャンパス, オープンキャンパス, 女子中学生一日高専体験会

本校・京都会場(5月24日・6月14日)で実施されたプレオープンキャンパスでは, 本学科のカリキュラムの特徴の説明と, 学生が開発したロボットの実演を行った。8月8・9日に実施したオープンキャンパスでは, 5年生および専攻科生の協力の下, 午前中は学科展示(本学科で実践しているPBL教育や卒業研究の紹介)を行った。また, 午後は体験学習「ロボットで遊ぼう」, 「楽しい電子おもちゃ」を実施した。11月8日開催の女子中学生一日高専体験会では, 卒業研究で開発したロボットの実演に引き続き, 本学科卒業生(佐藤美澄氏(株式会社GSユアサ))に職場体験をプレゼンしていただいた。



オープンキャンパスでの体験学習



女子中学生一日高専体験会

4. 進路状況

最近5年間の進路状況を下表に示す。今年度は就職よりも進学の方が若干多かった。

年度	卒業者数	就職	進学	その他
平成27年度	33	14	18	1
平成26年度	37	19	18	0
平成25年度	37	23	14	0
平成24年度	32	17	15	0
平成23年度	31	14	17	0

建設システム工学科

建設システム工学科長 四蔵茂雄

1. 年間活動の概要

建設システム工学科の活動概要を下表に示す。

年 月	活 動 内 容
27 年 4 月	・新入生対象専門学科ガイダンス (4/6)
27 年 5 月	・プレ・オープンキャンパス in 舞鶴 (5/24) ・4C 現場見学会「河内川ダム建設本体工事」 (5/27)
27 年 6 月	・プレ・オープンキャンパス in 京都 (6/14)
27 年 7 月	・公開講座「まちをつくろう 1」 (7/4) ・公開講座「まちをつくろう 2」 (7/11) ・公開講座「商店街をつくろう」 (7/18) ・キングモンクット工科大学研修生サマートレーニング発表会 (7/9)
27 年 8 月	・オープンキャンパス (8/8～9)
27 年 10 月	・インターンシップ報告会 (10/1) ・卒業研究/卒業設計 中間発表会 (10/22) ・建設技術展 2014 近畿 技術出展 (10/28～29)
27 年 11 月	・4C 海外研修旅行 ベトナム (ハノイ, ホーチミン) (11/10～14) ・女子中学生一日高専体験会 (11/8) ・出前授業「水の浄化実験」 (桂中学校 2 年生) (11/25)
27 年 12 月	・特別講演会 原田秀樹先生「シネマを見ながら“環境”を考える ～文明史観から地球環境を読み解く～」 (12/21)
28 年 1 月	・建設システム工学科全体集会 (1/20) ・授業公開 「地盤工学 IB」 (加登教員) (1/20) ・出前授業 「住まいの設計」 (白糸中学校 190 人) (1/29, 2/2, 2/4)
28 年 2 月	・卒業研究/卒業設計 発表会 (2/26)
28 年 3 月	・まいづる土木・建築フォーラム (3/1) ・高専土木系工学教育の諸問題を話す会参加, 函館高専 (3/28～29)

2. 教員の動き

2015 年度 4 月から毛利聡教員が赴任。建設材料学, コンクリート構造学等の科目を担当。

3. 教育活動

(1) 4 年生インターンシップ・体験学習

夏期休業中に実施される企業・役所等のインターンシップ, 大学の体験学習に 31 名の学生が参加した。学生はその結果を「インターンシップ報告会」で発表した。

(2) 4 年生海外研修旅行

平成 27 年 11 月 10 日 (火) から 14 日 (土) の 4 泊 5 日で, ベトナム国ハノイ市およびホーチミン市へ海外研修旅行に行った。11 月 11 日 (水) はベトナム国立建設大学との交流会を実施した。(写真-1)



写真-1 4C 海外研修旅行 (ベトナム)

(3) 4年生現場見学会

4C学生43名は、平成27年5月27日(水)に福井県三方山中郡若狭町熊川の河内川ダムの本体工事現場に行き、ダム堤体底部のコンクリート打設を見学した。(写真-2)



写真-2 4C 現場見学会 (河内川ダム建設本体工事)

4. 学科活動

(1) 公開講座, 出前授業

3件の公開講座と2件の出前授業を行った。公開講座はまちづくりや商店街づくりを題材に、舞鶴高専の商店街ラボ「よろず」で実施した。

(写真-3)

出前授業では、白糸中学校で住宅づくり、桂中学校で水の浄化に関する授業を行った。

(2) プレ・オープンキャンパス, オープンキャンパス

舞鶴会場と京都会場において、学生が主体のプレ・オープンキャンパスを実施した。学科の概要を説明すると共に、液状化実験装置やトータルステーションの実演を行った。

オープンキャンパスでは、都市環境系の実験室を公開すると共に、計測機器や学生の成果品を展示した。また、「篠原一男の住宅作品「白の家」の模型作り」と「水のよごれについて知る」をテーマに体験学習を実施した。

(写真-4) フレンドリーで熱気のこもった説明等、本学科学生の大活躍により、参加中学生から高い評価を得ることができた。

(3) 第5回まいづる土木・建築フォーラム

当学科主催のフォーラムを舞鶴市政記念館ホールで開催した。このフォーラムでは、5年生が卒業研究で取り組んだ舞鶴およびその周辺に関わる研究成果として、8件の口頭発表と5件のポスター発表を行った。

(4) キングモンクット工科大学研修生サマートレーニング

交流協定校であるキングモンクット工科大学から4名の研修生を受け入れ、約2週間に渡る研修を行なった。研修最終日に発表会を実施した。日本人学生との交流も深まった。



写真-3 公開講座 (よろず)



写真-4 オープンキャンパス

5. 進路状況

平成27年度卒業生の進路状況は下表のとおりである。本科が2コース制となって6期目を数える。

コース	就職			進学・編入学			合計
	民間企業	官公庁	小計	専攻科	大学学部	小計	
都市環境	12	1	13	1	4	5	18
建築	5	1	6	5	6	11	17
合計	17	2	19	6	10	16	35

図 書 館

図書館長 垂谷 茂弘

1. 長岡技術科学大学・高等専門学校統合図書館システム (E-Cats)

長岡技術科学大学附属図書館が、全国立高専 55 キャンパスと連携し、当該システムを管理・運用している。このシステムの最大の特徴（利点）は、同大学にサーバ管理業務を集約し、システム管理やメンテナンス等を同大学が一元的に行っている点である。

なお、現行システムは第 2 期に当たり、第 3 期は平成 29 年 3 月開始予定で、それへ向けての各種対応が、同大学に止まらず各高専でも今後益々重要になってくる。

2. ブックハンティング

学生会図書委員長と調整のうえ、今年度も昨年度同様、前期の土曜日（6 月 20 日）に、大垣書店イオンモール KYOTO 店で実施した。学生 38 名（学生会図書委員と留学生及び専攻科生代表）と引率教員が、学習参考書や教養図書等を選書し、201 冊（323,688 円）を購入した。

参加者：垂谷茂弘、玉田和也、町田秀和、渡邊彰宏、溝畑仁

3. 第 17 回(平成 27 年度)高等専門学校及び技術科学大学図書館情報交流集会

昨年度から“より実務に沿った集まりを目指し”，「図書館情報シンポジウム」から名称が変更されている「図書館情報交流集会」が、今年度は「これからの図書館職員に求められるもの」をテーマに開催された。

昨年度同様、グループミーティングと全体ミーティングがプログラムのメインとなり、加えて今年度はエルゼビアツールの利用講習会が行われた。各高専や長岡技術科学大学関係者に加えて、機構本部からも参加があった。

日時 1 日目：平成 27 年 8 月 20 日(木) 10:30～17:20

2 日目：平成 27 年 8 月 21 日(金) 9:30～15:00

場所 長岡技術科学大学マルチメディアシステムセンターほか

参加者：溝畑仁

4. 「舞鶴高専図書館だより(NIT, Maizuru College Library Information)」第 93 号、第 94 号の発行

今年度は 12 月と 3 月に、いずれも村上信太郎委員（図書館だより主担当）が主導して発行した。

第 93 号では、建設システム工学科教員による学生向け推薦図書紹介文を掲載した。特に渡部昌弘先生からは長編をご投稿いただいた。

一方第 94 号は、学生の読書感想文がメインとなっている。先生方にとっては、普段接している学生の別の一面を垣間見られたのではないかな。

「図書館だより」が、それを手に取った学生・教職員にとって、図書館への興味や関心を喚起する一助になっていると自負している。

5. 研究支援サービス

図書館ホームページ中の「研究支援サービス」のページより、以下の電子ジャーナル及び学術情報データベースを提供している。

(1) 長岡技術科学大学によるコンソーシアムを介して提供しているサービス

・ ScienceDirect, AIP(American Institute of Physics), APS(American Physical Society), JDreamIII

(2) 機構本部によるコンソーシアムを介して提供しているサービス

- Science, MathSciNet, CiNii

また図書館で提供（利用）している他のサービスとして、以下のものがある。

(1) 国立情報学研究所(NII)が行っているサービス

- NACSIS-ILL(図書館間で行われている相互貸借サービス(文献複写や資料現物の貸借の依頼及び受付)のメッセージのやりとりを電子化したシステム)
- ILL 文献複写等料金相殺サービス (NACSIS-ILL の料金情報を元にして参加機関同士の利用料金を相殺するシステム)
- Webcat Plus(NII 図書情報ナビゲータ)
- KAKEN(科学研究費助成事業データベース)
- JAIRO(学術機関リポジトリポータル)

(2) その他の機関が行っているサービス

- NDL-OPAC(国立国会図書館蔵書検索, 複写・貸借申込みシステム)
- JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)文献複写サービス(平成 28 年 2 月末日でサービス終了)

ScienceDirect や NACSIS-ILL 等の平成 27 (2015) 年における利用件数は以下のとおりである。

(1) ScienceDirect の利用件数(平成 27 年 1 月～12 月)

- アクセスされたジャーナル数: 203 誌
- アクセスされた論文件数: 1,167 件
- 利用の多い電子ジャーナルのトップ 10 及びアクセスされた件数

順位	ジャーナル名	件数
1	Organic Electronics	116
2	Construction and Building Materials	60
3	Fuel	57
4	Thin Solid Films	44
5	Proceedings of the Combustion Institute	37
6	Fuel Processing Technology	35
7	Combustion and Flame	33
8	Microelectronic Engineering	31
9	Diamond and Related Materials	29
10	Applied Surface Science	24
10	Journal of Luminescence	24
10	Synthetic Metals	24

(2) NACSIS-ILL の利用件数(平成 27 年 1 月～12 月)

- 文献複写依頼: 12 件, 図書貸借依頼: 0 件, 文献複写受付: 2 件, 図書貸借受付: 0 件

(3) 国立国会図書館への文献複写等の依頼件数(平成 27 年 1 月～12 月)

- 文献複写依頼: 1 件, 図書貸借依頼: 0 件

(4) JST への文献複写依頼件数(平成 27 年 1 月～12 月)

- 文献複写依頼: 0 件

6. 「研究支援サービス」で挙げた資料についての補足説明

• ScienceDirect

エルゼビアが提供するデータベース。エルゼビア発行の 2,500 タイトル以上の電子ジャーナルが搭載され、バックファイルについては、1995 年以降のものが収録されている。検索雑誌の本文全てを閲覧できる「フルテキストデータベース」であり、オンライン上での閲覧やダウンロードが可能である。

• JDreamIII

JST より提供されてきた JDreamII を引き継ぎ、(株) ジー・サーチにより提供されている科学技術や医学などの文献情報検索システム。データベースに収録されている学術論文の抄録等の情報を

閲覧することが可能である。

- Science

アメリカ科学振興協会 (AAAS) 発行「Science」誌のオンライン版。1997年以降の本文閲覧が可能である(本校は平成25年1月からコンソーシアムへ参加)。

- MathSciNet

米国数学会が提供するデータベース。1940 年以降の世界の数学文献情報を包括的に収録。検索した学術論文の抄録及びレビュー等の情報を閲覧することが可能である。

- CiNii

国立情報学研究所が提供するデータベース。国内の学術論文情報を中心に収録し、一部の論文に関しては、本文の閲覧が可能である。

情報科学センター

情報科学センター長 野間 正泰

情報科学センターには、「教育・研究部門」と「機器運用・セキュリティ部門」の2つの部門がある。教育・研究部門では、学術交流にかかる講演会と一般人向け公開講座の開催、および情報科学センター年報の発行などを行っている。機器運用・セキュリティ部門では、3つのコンピュータ演習室の管理・運用、校内ネットワークシステムの管理、および情報機器関連の運用に関する技術的支援などを行っている。

1. 教育・研究部門

(1) 情報科学センター講演会

情報科学センターでは産官学の技術交流の一環として、学内外の技術者や研究者が一堂に会し、活発に情報交換ができる場を提供すべく、毎年講演会を企画・開催している。昨年度までは前・後期の年2回開催していたが、本年度からは年1回、後期に開催することとした。本年度の講演内容を表1に示す。

毛利助教は、建物の長寿命化のためには、既存の建築物では点検、診断、補修・改修にわたる維持管理を合理的に行うことが重要となるとの観点から、主にコンクリート系材料を対象にした部材の耐久性評価、補修工法の開発および性能評価等に関するこれまでの研究内容を紹介された。

畑准教授は、舞鶴市教育委員会所蔵の糸井文庫の資料群をもとに、丹後地域を舞台とする浦島伝説および天女伝説に光を当て、上代から近代初期における当該伝説を紹介された。糸井文庫には、江戸時代後期から近代にわたる丹後地域の資料が所蔵されており、非常に貴重なものであることがわかった。今後の地域活性化にも関連して、糸井文庫の有効活用が望まれる。

いずれの講演に対しても、活発な質疑応答が行われた。

表1 2015年度情報科学センター講演会

第40回講演会（2015年12月8日（火）15:00～16:50）、参加者46名（教職員37名、学外9名）		
(1) 建設システム工学科	毛利 聡	助教：「建築物の長寿命化のために」
(2) 人文科学部門	畑 恵理子	准教授：「糸井文庫の浦島伝説と天女伝説」

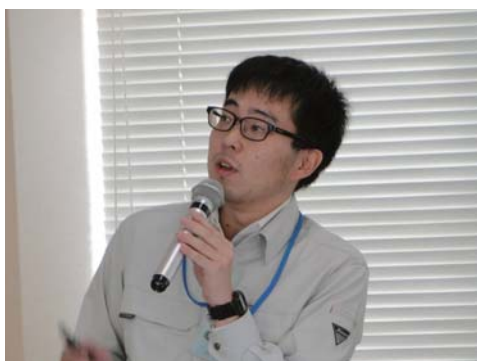


写真1 毛利助教の講演



写真2 畑准教授の講演

(2) 情報科学センター公開講座

公開講座については、諸般の事情により今年度の開催は見送った。

2. 機器運用・セキュリティ部門

(1) 教育用電子計算機システムの管理・運営

平成22年3月に更新された教育用電子計算機システムは、1年のリース延長を加え、導入から約6年が経過し更新の時期を迎えている。昨年度、現在のシステムが安定して稼働していることと、

Windows 10 と呼ばれる新 OS の動向が不透明であったため、さらに 1 年のリース延長を行うことになっていた。今年度は、平成 29 年 3 月のシステム更新に向け、情報科学センター主導による仕様策定 WG が立ち上げられ、舞鶴高専として、どのような ICT 環境を整備していくべきなのか検討を始めたところである。今年度の教育用電子計算機システムにおけるハードウェア障害は、サーバのディスク障害、サーバのファン不良、端末のマウス故障、端末のネットワーク機器不良などであった。

(2) ネットワークの管理

平成 25 年 3 月に更新された校内 LAN 基幹システムは運用開始から丸 3 年が経過し、これまでは致命的なトラブルもなく概ね順調に運用が行われている。今年度発生した主な障害は、エッジスイッチのポート不良による一部研究室のネットワークの不通、MAC アドレスのフラッピングによる一部の棟におけるネットワーク不通などであり、それぞれ、別ポートの利用やポートの再起動を行うなどして応急対応した。また、今年度は設備点検による計画停電が 1 回、保護装置の不具合による予期しない停電が 1 回、不具合解消のための機器交換による計画停電が 1 回発生し、停電への対応の重要性が再認識された 1 年でもあった。

高専機構では、平成 30 年度の統一ネットワークシステム導入へ向け、現状調査、分析および課題抽出、移行計画の検討が進められている。本校においても、施設係と協力しながら、校内ネットワーク環境の洗い出しや課題抽出といった資料のとりまとめを行い、機構本部への提出を行っている。機器運用・セキュリティ部門として、統一ネットワークシステムの導入は、将来の学生や教職員が利用する情報インフラに大きく関わるので、引き続き正確な資料作成に努めていきたいと考えている。

(3) その他のトピック

昨年度より、一部の AutoCAD 製品が教育機関において無償で利用できるようになったため、情報科学センターとしてライセンスを取得し、ライセンスサーバの構築を行い、校内に展開している。今年度から新たに、校内で希望のあった Design Suite Ultimate, Building Design Suite Ultimate, Factory Design Suite Ultimate, Infrastructure Design Suite Ultimate, Inventor HSM Pro, AutoCAD for Mac のライセンスを取得し、提供を始めた。

5 年前から運用が始まったソフトウェアオンライン配布システムに変更があった。今年度からは、Windows OS, Office 共にライセンス認証のみを提供するシステムへと変更された。このため、利用者はインストールメディアを情報科学センターから借り受け、インストール後に新システムによりライセンス認証を行うことになった。また、ライセンス認証の際に、.Net Framework が必要となるが、Windows 8 以降ではプロキシ環境下ではスムーズにインストールすることができないため、オフラインインストーラを用意した。これらの手順を記した、手順書を新たに作成し直し、利用者の利便性の向上を図った。

高専機構では、学生向けメールサービスの共通基盤としての利用や全国の高専における学生間コミュニケーションツールとしての利用、包括ライセンス特典による個人所有のパソコンやタブレットへの Office のインストールを主な目的とした学生サービスの一つとして、マイクロソフトの「Office 365」の導入を行った。舞鶴高専においても、学生と教職員にリーフレットと補足説明を配布し、少しずつ利用を開始している。また、学寮での Office のダウンロードインストールをスムーズに行なうため、寮生用のオフラインインストーラを作成し、希望者への貸与も行っている。

最後に、情報科学センターの直接的な管轄ではないが、昨年度から、学寮の一部で漏洩同軸ケーブルを利用した無線 LAN 環境を提供している。設置当初は、最低限のケーブル数で運用していたが、電波強度の問題や、敷設済ケーブルを有効活用するため、アクセスポイントの増設を行った。現在改修中の学寮 2 号館および 3 号館においても、漏洩同軸ケーブルによる環境を提供する予定であり、今後、設定作業を行う予定である。

3. その他

ここでは、情報科学センターの主な取り組みについて報告した。内容の詳細については、情報科学センター年報を参照されたい。

教育研究支援センター

教育研究支援センター長 西山 等

教育研究支援センターでは、昨年度に引き続いて、教育研究の支援ならびに地域貢献等に関連して、さまざまな取組みを行った。現在、常勤と技術補佐員を含めて15名体制で職務を遂行している。

以下に、本年度に技術職員が取り組んだ活動および成果について報告する。

1. 教育研究支援

本年度も昨年度までと同様に、実験・実習を中心として教育研究支援の役割を果たしてきた。本年度はその支援の中で得たノウハウや新たな技術を基に、日本工学教育協会年次大会に1件、西日本地域高等専門学校技術職員特別研修会に1件、その他学会および研究会に4件等、その成果を発表し、技術職員としての業績の積み重ねが積極的に行われた。

実習工場においては、昨年度より新たな工作機械等がいくつか導入され、より高度な技術教育が行える土台が整ってきた。これらの新たな機械の導入にともない、どのような実習を行い、どのような安全配慮が必要であるのか等が積極的に話し合われている。また、導入された機械の操作技術講習会には技術職員が積極的に参加した。

一方、研究支援においては、卒業研究や受託試験等、技術職員の視点で支援を行っている。

また、各学科で行われている地域貢献や学校PR事業も多数支援し、学科学校運営に大きく貢献している。

2. 公開講座

平成27年7月26日には、教育研究支援センター主催の公開講座「リニアモーターの仕組みを知ろう」を開催した。なぜ？と不思議に感じてもらうことや、身近にある材料で作成できること、動きがあることなどを考慮し、公開講座用の教材を開発している。今年度は、磁石と電池、銅箔テープを使用したリニアモーターを教材とした。

車体を動かす力を強くするために、電流が多く流れる並列接続で電池をつなげるとともに、強力なネオジム磁石を使用した。また、磁石が強力なため、テープで止めただけでは時間がたつとはがれるおそれがあり、磁石を方眼紙で挟んでホッチキスで止めるなどの工夫をした。電池ボックスは、出来合いのパーツを使用すると見栄えも良く手軽に使うことができるが、ずっとショートした状態を避けるため、また、少しでも工作を体験してもらうため、手でスイッチを押さないと電流が流れない電池ボックスを方眼紙で作成してもらった。

強力な磁石を使用したため、土台に並べるときやホッチキスで止めるときには苦労が見られたが、参加者全員がリニアモーターを完成させ、レールの上で転がる車体を観察することができた。作ったものが動く喜びや、身近なもので起こる不思議な現象を感じてもらうことができた。



平成27年12月5日には、教育研究支援センター主催の公開講座「レーザーで加工！！オリジナルのペン立て付きブックスタンドを作ろう」を開催した。今年度3回目となる本講座では、CADとレーザー加工によりオリジナルのデザインを施した木製のブックスタンドを教材とした。

教材を開発するにあたり、講座後も長く使用してもらえようシンプルなデザインを心がけ、利便性を踏まえサイドにはペン立ても設けた。また、受講者が考えたデザインを描くことによりオリジナルの作品となり、自身で組み立ても行うことから、愛着が湧くのではと考えた。木工といえばノコギリによる切断が付き物であるが、今回は綺麗に切断することと思いの通りのデザインを描いてもらいた

いことから、レーザー加工機を使用した。材料には、白く年輪が不明瞭で柔らかく加工しやすいシナ材を使用し、すっきりと見えるよう厚みも 9mm のものを使用した。また、普通の釘ではなく、かくし釘を使用することで、釘を打った部分を目立たなくした。

あらかじめお願いしていたデザインの下書きに制限を行っていなかったことや、デザインの大きな変更もあったことから、CAD による作業が少し長くなったが、スタッフのサポートもあり、全員が満足のいくデザインができたのではないかと考える。レーザー加工機による加工では、最先端の技術を大変興味深く観察していただき、また、切り抜かれたオリジナル部材を手にした受講者の笑顔が印象的であった。その後の組み立てでは、慣れない金づちの作業もそつなくこなし、全員が大きな失敗もなくきれいに仕上げる事ができた。



3. 自己点検評価に基づく活動発表会

平成 24 年度から実施している活動発表会は、各技術職員が年度の初めに年度目標・計画を立て、年度の終わりに目標・計画がどの程度達成できたかを、教育研究支援センター長および全技術職員に対して発表するものである。この開催により、各技術職員がどのような目標を持ち、どのような姿勢でその目標を達成しようとしているか、どのような問題に直面しているか等、活動状況をお互いが理解し合うことができ、問題解決にあたるヒントを全体で探り出すこともできる。本年度は 3 月 8 日に実施した。

4. 沖縄高専との人事交流

3 年 7 ヶ月の間、人事交流により沖縄高専で職務を遂行した畑亮次技術専門職員の任期が満了し、4 月に本校に復帰した。

地域共同テクノセンター

地域共同テクノセンター長 平地克也

地域共同テクノセンターは地域の企業や官公庁との連携の強化を目的に種々の活動を実施しています。平成 27 年度の主な活動を以下に報告します。

＜地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）＞

「地（知）の拠点整備事業」は、地方創生のための文部科学省の事業で、地域の拠点となる大学や高専の機能強化を目的としています。COC プロジェクト推進会議を中心として全校をあげて取り組んでいます。地域共同テクノセンターでは公開講座・出前授業の推進や地域企業との連携強化を通じて COC の推進に貢献しています。

＜舞鶴高専地域テクノアカデミア＞

舞鶴高専地域テクノアカデミアは COC を契機として舞鶴高専と地域産業界の連携強化のために H26 年 3 月に設立された企業団体です。地域共同テクノセンターはその活動推進に貢献しています。H27 年 10 月 13 日、見学会と講演会が実施されました。地域共同テクノセンターから次の 3 件の講演を行いました。

- ・宮元健次准教授、「桂離宮と月」
- ・須田敦助教、「モノづくり企業との産学連携の実例紹介」
- ・平地克也教授、「自動車の電動化とパワーエレクトロニクス」



須田助教の講演

＜企業技術者等活用プログラム＞

企業技術者等活用プログラムは企業技術者の優れた実践的技術を高専教育に活用するために設けられた国立高専機構のプログラムであり、毎年国立高専に公募されています。舞鶴高専では企業技術者の直接の指導の元に学生が新製品の開発業務を体験する取り組みを行っています。今年度は次の 10 件のプロジェクトを実施し、参加学生は貴重な体験を得ることができました。

- (1) 東舞鶴駅前 LED イルミネーションの開発
- (2) 舞鶴市活性化に役立つスマートフォン向けアプリの開発
- (3) 生体情報計測装置の開発
- (4) シングルボードコンピュータを利用したロボット教材開発
- (5) 中心市街地商店街における住宅モデルの開発
- (6) 鋼構造物のアクティブラーニング教材の開発
- (7) 自動車用鍛造部品新製品の問題解決
- (8) 専攻科エンジニアリングデザイン演習
- (9) 機械系分野のモデルコアカリキュラムの導入加速と質保証推進
- (10) 新製品開発現場見学によるキャリアデザイン力の向上



エンジニアリングデザイン演習

＜京都産業 21 の講演会とセミナー＞

京都府の中小企業支援組織である(財)京都産業 21 の講演会とセミナーに協力しました。

◎技術シーズ交流会：6 月 25 日

生水雅之教授、「各種ステンレ鋼のショットピーニング加工に関する研究」

篠原正浩教授、「高分子系複合材料の形成と形成品の評価」

◎産学交流セミナー：10月7日

小林洋平准教授、「新エネルギーと省エネルギーの基本原則から考えるエネルギーの将来」

<展示会>

舞鶴高専および教員の研究成果をPRするために積極的に展示会に出展しています。

◎近畿地区7高専産学官マッチングフェア（2015/9/18）

須田敦助教 口頭発表&ポスター展示、「モノづくり企業との産学連携の実例紹介」

古林達哉技術職員 口頭発表&ポスター展示、「オープンデータを活用した地域連携 AED マップ」

室巻孝郎助教 ポスター展示、「分散型ロボティック照明システムの開発」

高木太郎助教 ポスター展示、「出力フィードバック制御手法の安定性に関する研究」

◎ビジネス・エンカレッジ・フェア（2015/12/3,4）

丹下裕准教授、「視覚障害者のための超音波白杖の開発」

「盲ろう者のための指点字支援システムの開発」

◎京都ビジネス交流フェア（2016/2/18,19）

宮元健次准教授、「災害によって自ら発電し、発光する明かり」

<舞鶴高専技術通信>

2016年3月に発行しました。舞鶴高専の産学官連携活動の状況などを紹介しています。京都北都信用金庫の各支店などで配布していただきました。

<公開講座・出前授業>

舞鶴高専では公開講座と出前授業は地域貢献の重要な手段として積極的に取り組んでいます。H27年度は86回実施しました。地域共同テクノセンターは公開講座・出前授業を管轄しており、その推進のために環境を整備しています。

<微細加工実験室>

地域共同テクノセンターには各学科の教員が共同で使用できる微細加工実験室があり、ナノテク研究のための高度な設備を備えています。H27年9月20日（日）中学生対象と21日（月）小学生対象の両日、公開講座「第1回 ナノテクデー」を実施しました。また、平成27年11月14日（土）小学生対象と15日（日）中学生対象の両日、公開講座「第2回 ナノテクデー」を実施しました。今年度の公開講座では、内海准教授・石川准教授（小学生対象）、清原准教授・小林准教授（中学生対象）と本校学生5名が、身近なところで活用しているナノテクノロジーの紹介と真空の原理、金銀銅色メダルの作製や室温硬化ナノインプリントの実験を行いました。

企業との共同研究も積極的に実施しており、試料の観察や分析を微細加工実験室の蒸着装置、走査型電子顕微鏡、走査型プローブ顕微鏡を用いて評価し、その研究成果を国内の学会発表で5件、海外での国際会議で2件発表することができました。



出前授業（若狭湾青少年自然の家にて）



ナノテク公開講座

社会基盤メンテナンス教育センター（iMec）

社会基盤メンテナンス教育センター長 玉田 和也

安全・安心な暮らしには、橋梁やトンネル、高速道路等の社会基盤（インフラ）の適正な維持管理が不可欠です。インフラの老朽化が全国的に問題となる中、市町村は技術力不足のため適切な維持管理が困難な状況にあります。『建設』から『維持管理』へ思考を転換し、インフラの維持管理や修繕等に対応できる人材の育成が急務です。

社会基盤メンテナンス教育センター（iMec）は、インフラの維持管理に関する実践的な教育システムを構築するため、平成 26 年 1 月 23 日に舞鶴工業高等専門学校内に開設されました。全国の高専生や地方自治体職員、民間技術者などを幅広く受け入れ、現場に密着した教育センターとして、維持管理技術に特化した人材育成を行います。

iMec が実施する講習会では、インフラの劣化発見や点検技術向上のため、座学に加え、非破壊検査の実習や全国各地から収集した橋梁の劣化部材の見学等の体験型学習を行っています。また、橋の長寿命化修繕計画の策定や修繕工事の実施に必要なノウハウ、行政の課題解決の取組について、実際の事例から学ぶことができます。



今年度の活動として、行政技術職員（国土交通省近畿地方整備局、京都府、舞鶴市、福知山市、綾部市）を対象に 1 泊 1.5 日の講習会を 9 回実施（受講人数 69 名）しました。また、民間技術者（地元ゼネコン、コンサルタント、調査会社等、41 社）を対象に同様の講習会を 9 回実施（受講人数 72 名）しました。

今年度は、高専生を対象とした夏季インターンシップを 8 月 17 日（月）から 21 日（金）の期間（受講人数 5 名）受け入れました。通常の講習会に加えて舞鶴市が管理する実際の鋼橋と RC 橋の点検実習を行い、その成果の報告会を開催するなどの現場実習を行いました。また、インターンシップの最後に

は、舞鶴市役所にご協力いただき、舞鶴クレインブリッジの内部を見学させていただき1週間のおさらいをして修了しました。



この他、昨年に続いて12月12日(土)に京都市立伏見工業高校生を対象に出前講座を実施しました。社会基盤のメンテナンスに興味のある2,3年生の有志15名(引率の先生2名)を対象とし、主に劣化教材を用いた体験実習に取り組んでいただきました。



社会基盤のメンテナンスは緒についたばかりで、それを担う技術者数が全国的に不足しています。「地元の橋は地元で守る」をスローガンに iMec の活動を継続し、発展させていきたいと考えています。

知的財産委員会

知的財産委員会委員長 平地克也

本科 4, 5 年生を対象とした特許セミナーを平成 27 年 11 月 18 日（水）に開催しました。日本弁理士会近畿支部 弁理士 光明寺大道氏および三宅康雅氏に「特許権の取得から特許権侵害を巡る攻防まで」を主なテーマとして、(1) 最近の特許訴訟の紹介、(2) おにぎりパック特許権物語の具体例を交えながら講演いただきました。学生たちは特許に関する基礎知識、また社会人になるに当たって最低限必要な特許の知識を身に着けることができました。非常に興味深く聞き入る学生が多く、積極的に質問する学生たちの姿が見られました。



情報セキュリティ推進委員会

情報セキュリティ推進委員長 野間 正泰

情報セキュリティ推進委員会は、本校の情報セキュリティに関わる専門的および技術的問題の審議および情報セキュリティの推進を行うことを目的としている。

今年度も全教職員に IT 資産管理システムを利用した IT 資産調査を依頼し、ソフトウェア管理規則に基づく検査結果を国立高等専門学校機構に報告した。パソコン等の機器が新規に納入されたとき、総務課用度係の協力を得て、機器の写真撮影と納入機器一覧の提出をもって、漏れなく調査する体制が整ったと考えている。しかし、まだ管理体制には改善の余地が残っており、今後も改善方法を模索していきたい。

ところで、本校では、自前の Windows Server Update Services (WSUS) サーバを 5 年前から運用している。このサーバは、2015 年 7 月にサポート切れを迎えた Windows Server 2003 で構築されており、また、ディスク容量も逼迫していたため、今年度新たに Windows Server 2012 R2 により再構築を行った。現在、サーバの切り替えも問題なく完了し、安定して稼働している。

校内のコンピュータウィルス対策として、キャノン IT ソリューションズの ESET Endpoint アンチウイルスと ESET NOD32 アンチウイルスをサイトライセンスとして使用している。今年度は、昨年度の課題であった Mac OS X (Yosemite) 対応版および Windows 10 対応版のインストーラを作成し、それらの配布を開始した。

その他、国立情報学研究所の証明書発行サービスの切り替えにともない、校内サーバで利用中のサーバ証明書が 7 月に一斉失効したため、新しい証明書の取得とインストールを行った。新しい証明書への切り替え自体は問題なく行えたが、一部のクライアント端末においてルート CA (Certificate Authority, 認証局) 証明書が更新されておらず、ブラウザでセキュリティの警告が表示されたり、一部のプログラムがエラーで動作しないなどの不具合が発生した。これらの不具合は、グループポリシーや手動更新によりルート CA 証明書を更新することで解消している。

企画室

企画室長 奥村 幸彦

1. 年間活動の概要

舞鶴高専の第3期中期計画に基づき平成27年度計画の策定と、各部門・学科、委員会等への周知、年度計画の取りまとめ、中間フォローアップ、および年度末の成果の取りまとめを行った。概算要求事項（営繕要求）の必要性と緊急性による順位決定や施設設備に関するマスタープランを検討した。以下に企画室が主として行った代表的な活動を示す。

2. 男女共同参画に関する講演会

7月16日（木）、本校の女子学生と教職員を対象にして、男女共同参画に関する講演会「期待される女性エンジニアとは」（講師：株式会社プロアシスト代表取締役社長 生駒京子氏、写真参照）を開催した。講演会では、起業の経緯やワークライフバランスの為の取組等について、楽しいエピソードを交えてお話しをして頂いた。今回の講演会は男女共同参画推進をめざし、本校の女子学生を支援するために実施する女子学生交流会に併せて開催した。

3. 女子学生交流会

7月16日（木）、本校の女子学生を対象として女子学生交流会を開催した。この交流会は、男女共同参画社会の推進を目指し、女子学生の過ごしやすい学校を実現するために女子学生支援の情報提供を行うこと、および学校環境改善についての意見を挙げることを目的として、H25より実施している。当日は本科・専攻科の女子学生70名が参加し、学校の設備や行事の改善について活発な話し合いが行われた。女子学生達の意見を今後の学校の改善に取り入れる。今年度の舞鶴高専の取り組み事例（女子学生がより快適に学べる修学環境の取り組み事例）を具体的に以下に示す。

- ・A棟、B棟、専攻科棟、テクノセンター棟内の女子トイレの洗浄機機能付便座化を行った（H27.9月）
- ・上記に付随して、利便性の向上のため、荷物棚（22箇所）の新設を行った（H27.9月）
- ・新任女子教員の椅子や机を新調した（H27.10月）
- ・女子寮のシャワー（3箇所）および一階ラウンジの増設等（H28.3月）



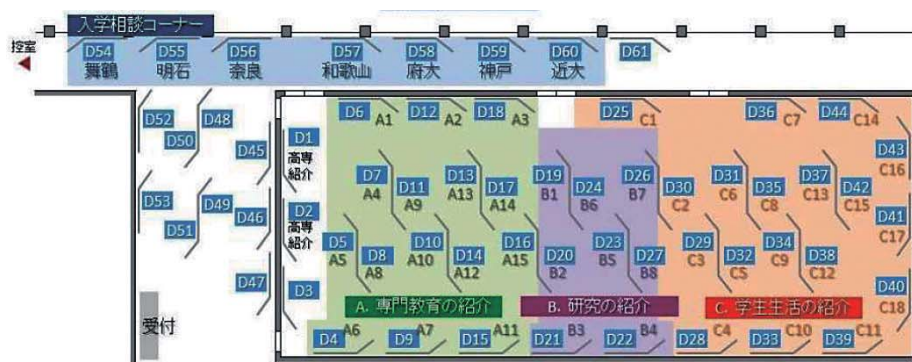
プロアシスト代表取締役社長 生駒京子氏の講演会



交流会の趣旨の説明

4. 高専女子フォーラム in 関西の参加および発表

高専女子フォーラム in 関西の目的は、近畿地区高等専門学校における学生支援活動の一つとして、女子学生のキャリア教育の場とするとともに、高専女子学生による研究紹介、学生生活紹介、高専教育紹介を通じて、高専女子学生の実力を企業関係者や中学生・保護者に向け発信する場とするものである。12月23日（水）、5M 音野 安里沙さんが「題目：5年間の機械工学科で学べること」を、5E 坂尻 祐梨子さんが「題目：金微粒子を用いた光学フィルタの開発」を、5S 音崎恵未さんと4S 藤田ななこさんが「題目：問題解決型学習（PBL）の時に取り組んだロボットの作製」を、4C 谷口夏穂さんと4C 堀尾 香那子さんが「題目：けんせつ小町の歩み in 舞鶴」を、4C 永峯美琴さんと3E 蘆田美里さんが「題目：舞鶴高専女子寮での生活」を企業関係者や中学生・保護者に向けて発表した。（参加教職員：6名）



(発表企業数：61社)
(関西の6高専+鈴鹿、
呉、高知、函館高専の発表)

12:50~14:20
(学生発表時のレイアウト)
A. 専門教育の紹介
B. 研究の紹介
C. 学生生活の紹介
入学相談コーナー

14:45~16:10
(企業様発表時のレイアウト)
企業様の発表



展示ブース（大阪府立大学 I-site なんば）と来場客 本校学生による説明(セッション:学生生活紹介)

5. 科学研究費申請に関する講習会

9月1日(火)、豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系の松田厚範教授にお越しいたゞき、科学研究費申請に関する講習会を開催した。松田教授からは『科研費に採択されるための戦略と準備 ー科研費審査の仕組みと採択のための対策ー』と題して講演をいただき、実際に審査員をされた先生方から見た審査基準や、松田教授が申請された調書などを例に助成金獲得のためのポイントなどを具体的にご教授いただいた。



本校教職員の受講の様子



松田教授の講習

6. 施設設備に関するマスタープラン

企画室会議において、様々な施設整備計画の優先順位を決定した(10月)。1位:女子寮の改修・改築, 2位:寄宿舎棟のエアコンの設置, 3位:基幹・環境整備工事の実施, 4位:実習工場の改築, 5位:図書館の改修である。詳細な内容は「舞鶴工業高等専門学校施設整備計画」に取り纏めた。

7. 科学研究費申請に関する講習会(高専機構主催)

8月25日(火)TV会議システムにより、高専機構主催の科学研究費申請の講習会を本校で実施した。

8. 男女共同参画推進協議会

H28年3月3日(木)国立女性教育会館で男女共同参画推進協議会(高専機構主催)が開催され、企画室長が出席した。

FD・ICT部会

FD・ICT部会長 亀谷 睦

本部会は評価委員会の下部組織として、主として教員の授業方法、教育指導等の改善に資する目的で、種々の取り組みを行っている。今年度の部会員（協力職員を含む）の構成と役割分担は表1のとおりである。

表1 FD・ICT部会構成員と役割分担

氏 名	所 属	主たる役割	氏 名	所 属	主たる役割
亀谷 睦	自然	全体の連絡調整	石井 貴弘	支援センター	授業アンケート
吉永 進一	人文	授業アンケート FD・ICT 特別講演会	平野 彰人	総務課	事務手続き全般
宮野 利男	自然	授業アンケート	藤元 高德	総務課	総務課連絡調整
小林 洋平	機械	教育連絡会議 授業アンケート	松梨 英輔	学生課	学生課連絡調整
丹下 裕	電気情報	教育連絡会議 授業アンケート	池澤 拓史	教務係（協力）	授業アンケート
高木 太郎	電子制御	授業アンケート	能勢 嘉朗	支援センター （協力）	授業アンケート
渡部 昌弘	建設システム	授業アンケート			

1. 授業アンケート・達成度評価の実施

平成25年度から、1)「シラバスに沿う授業だったか」という設問と、2)教育理念・教育方針の認知状況調査と図書館及び情報科学センターにかかる満足度調査を、それぞれ追加した。今年度もこれらを継続し、1)は年2回、2)は年1回（後期に）これらの調査を行った。また、平成27年度JABEE受審への対応のために今年度から、「自習時間の調査」と「COC関係科目の調査」の2項目を追加した。なお、アンケートの実施期間は、前期分が平成27年10月15日～10月28日、後期分は専攻科2年生を平成28年1月18日～1月29日、本科5年生を同年1月19日～2月2日、それ以外の学年を同年2月3日～2月17日とした。専攻科2年生と本科5年生の実施を先行させたのは、特別研究論文・卒業研究論文の提出締切日以降には学生がほぼ登校しない実態を考慮したからである。

2. 授業参観の実施

平成27年7月9日～7月23日に実施した。全教員は他の教員の授業を一つ以上参観し、その結果を授業参観報告書にまとめ、提出した（実施率73%）。参観教員は、参観結果に基づいて自身の授業改善に参考になる点について整理できた。

3. 教育連絡会議

平成25年度から教育連絡会議の開催回数を年1回に変更した。年度ごとに主たる検討テーマを設定し、全教員を4つのグループに分けて、12月中旬までにグループごとに会議を開催した。今回のテーマとして部会から以下の1)～4)を例示し、最終的なテーマの設定は各グループの主査に委ねた。

- 1)「アクティブラーニングの導入に関する学科・部門の現状」についての情報交換
- 2)「課題を提出しない学生への対応や成績の付け方」についての議論
- 3)「学習や生活について問題があると思われる学生」についての議論
- 4) その他「教育、カリキュラムに関するテーマ」

各グループの主査には、テーマの設定、日程と会場の設定および当日の運営などで大変お世話になった。この場を借りて感謝したい。各グループでは活発な議論が展開され、それらの結果は各グループの主査

から当部会へ報告された。教員が他のグループの議論の内容を知ることでも大事だろうと考え、平成26年度から各グループの報告書をグループ・セッションにて公開することにし、今年度もそれを継続した。

4. FD・ICT 特別講演会

今年度の特別講演会は、教務委員会との共催で9月下旬に開催した。テーマは「アクティブラーニングを促す授業デザイン」に設定された。アクティブラーニングについて高専はむしろ先進校であることや、アクティブラーニングを促すにはそこに至るまでの基礎が当然必要であることなどの指摘があり、京都大学でのティーチング・アシスタントによる授業の反省会の紹介などの実践に基づく話題は、いずれも非常に興味深いものであった。

日 時：平成27年9月30日（水）14:40～16:15

講演者：田口 真奈 先生（京都大学高等教育研究開発推進センター）

題 目：「アクティブラーニングを促す授業デザイン」

5. 授業公開の実施

今年度は表2に示すとおり授業公開を実施した。授業を公開した教員は、学内評価者と学外評価者による授業評価、学生の意見および教員や保護者によるアンケート結果を基にして授業改善プランを検討し、報告書を提出した。なお平成26年度から、授業公開時間を従来の75分間から60分間に短縮することにより、従来は90分間の授業コマの終業ベル後に行っていた「授業公開後の主査・学内評価者・学外評価者と授業担当者との意見交換」を、授業コマ内に行うように実施スケジュールを変更した。この変更により、当該授業公開の直後のコマに授業をもつ教員も主査や学内評価者になることが可能になった。ただし、実施期間を後期に固定している現状に対して、前期科目の授業公開が実施できないことを指摘してその改善を求める声もあり、次年度からは、授業参観と授業公開の実施時期を1年ごとに入れ替えることになった。

表2 授業公開実施内容

番号	授業科目	クラス	実施教員	実施日	主査
1	計算機援用工学	5M	西山 等	H28/1/18	山田耕一郎
2	地盤工学 IB	3C	加登 文学	H28/1/20	三輪 浩
3	電気回路	1E	内海 淳志	H28/1/21	井上 泰仁
4	応用物理 II	3S	上杉 智子	H28/1/21	岡田 浩嗣
5	英会話 IB	1・4	ジョナサン・ケイ	H28/1/22	荒川 吉孝
6	ロボット工学 I	4S	高木 太郎	H28/1/27	石川 一平

広報委員会

広報委員会副委員長 尾上 亮介

広報委員会の活動概要

2015 年度の広報委員会の活動概況は次の通りである

(1) 役割分担

学校概要	=	尾上亮介、室巻孝郎（事務部：総務係）
学校だより	=	荒川吉孝、毛利 聡（事務部：総務係）
紀要	=	船木英岳、石川一平（事務部：学術情報係長）
年報	=	小松幸恵、船木英岳（事務部：総務係）
ホームページ	=	室巻孝郎、荒川吉孝、奥村昌司、尾上亮介、能勢嘉朗 （事務部：総務係、教務係、財務係）
学外連携広報	=	奥村昌司、小松幸恵（事務部：学生課長）
写真	=	石川一平、毛利 聡（事務部：総務課）
その他広報	=	尾上亮介

(2) 広報誌等の刊行について

平成 27 年度「学校概要」は、昨年度見直しを行ったため、全体構成は同様に見やすさを配慮し更新を行った。

「学校だより」は、第 129～130 号を発行し、現在、第 131 号（5 月予定）の編集途中である。「紀要」は、広く原稿を募り、近日中に刊行される予定である。「ホームページ」は本年度も学内外の活動に関して広く情報を募り、多くの記事掲載作業を行った。記事の投稿は、学内に定着しつつ有り、学校の情報発信ツールとして活用されている。英語ホームページの更新を行い、公開した。必要な情報を分かりやすく伝えることを目指した紙面構成とした。「年報」は、小松委員を中心に、例年通り、編集発行作業が進められている。



(3) その他

「学外連携広報」については、昨年度同様に進められている。「写真」についてはイベントや季節ごとに撮影が実施され、各種印刷物やホームページに活用されている。

教育プログラム (MDE) 委員会

教育プログラム (MDE) 委員会委員長 高谷 富也

1. JABEE 説明会について

本年度は、下記の通り、JABEE 説明会を実施した。

4月23日(木) 専攻科1年生対象：全員参加

4月27日(月) 本科4年生対象：156名中132名参加

機械工学科 31名(38名中)、電気情報工学科 33名(35名中)、電子制御工学科 27名(40名中)、建設システム工学科 41名(43名中)

4月28日(火) 本科5年生対象 48名

機械工学科 23名、電気情報工学科 10名、電子制御工学科 9名、建設システム工学科 6名

2. 「総合システム工学」教育プログラムについて

本年度は、「総合システム工学 (Multidisciplinary Engineering)」教育プログラムが開始され、1専攻3コース(電気電子システム工学コース、機械制御システム工学コース、建設工学コース)の専攻科改変が行われた。これまでと同様、教育プログラム (MDE) 委員会が教育プログラム全般を担当することとなった。

3. 日本技術者教育認定機構 (JABEE) による教育プログラムの継続認定について

平成27年4月より7月にかけて、自己点検書(1. 概要編、2. 自己点検結果編、3. 添付資料編)の作成を行い、日本技術者教育認定機構 (JABEE) による継続審査の準備を行った。以下に、各基準の執筆担当者を示しておく。

総括・統合化・pdf化：高谷

1. 概要編：高谷

2. 自己点検結果編

基準1(学習・教育到達目標の設定と公開)：谷川、石川、渡部

基準2(教育手段)：亀谷、三輪、野毛

基準3(学習・教育到達目標の達成)：背戸柳、仲川、丹下

基準4(教育改善)：金山、金森、児玉

3. 添付資料編：教育プログラム (MDE) 委員全員

平成27年10月25日(日)から27日(火)まで、日本技術者教育認定機構 (JABEE) による審査員3名およびオブザーバー2名による教育プログラム(生産・情報基礎工学および総合システム工学)の継続審査が行われた。継続審査の結果、いくつかの改善を要する事項があったものの、教育プログラムの継続認定がなされた。認定期間は2015年4月1日～2021年3月31日の6年間であり、次回の継続認定審査は2021年度となる。

4. 第12回「生産・情報基礎工学」教育プログラム修了証書の授与について

平成28年3月13日(金)に、電気・制御システム工学専攻8名、建設・生産システム工学専攻7名、計15名のプログラム修了証書授与式を挙行了。現在までのプログラム修了生の数を以下に示す。

修了年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015
プログラム修了生	15	21	16	17	15	16
専攻科修了生	15	20	17	17	15	16

5. 教育プログラム (MDE) 委員会の活動記録

○平成 27 年 4 月 3 日 (金) 第 1 回教育プログラム (MDE) 委員会の開催

1. JABEE 審査のための自己点検書の作成について
2. JABEE 受審に向けた成績評価資料の保管と廃棄について
3. その他
 - ・ JABEE 説明会について
 - ・ 専攻科「経営学」の講師後任人事について

○平成 27 年 5 月 26 日 (火) 第 2 回教育プログラム (MDE) 委員会の開催

1. 自己点検書第 1 回執筆原稿のチェックについて
2. GPA 評価の導入について
3. その他
 - ・ 学生に対する JABEE 説明会について
 - ・ 新任教職員および非常勤講師への JABEE 説明について

○平成 27 年 6 月 26 日 (金) 第 3 回教育プログラム (MDE) 委員会の開催

1. 自己点検書執筆原稿のチェックについて

○平成 27 年 7 月 14 日 (火) 第 4 回教育プログラム (MDE) 委員会の開催

1. 自己点検書執筆原稿の修正について

○平成 27 年 9 月 15 日 (火) 第 5 回教育プログラム (MDE) 委員会の開催

1. JABEE 継続審査の対応について
2. 他高専からの受験希望者のプログラム確認について

○平成 27 年 10 月 5 日 (月) 第 6 回教育プログラム (MDE) 委員会の開催

1. JABEE 継続審査の対応について
2. その他
 - ・ 他高専からの受験希望者のプログラム確認について

○平成 27 年 11 月 6 日 (金) 第 7 回教育プログラム (MDE) 委員会の開催

1. JABEE 継続受審結果について
2. その他
 - ・ JABEE-日工教共催「国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ第 6 回」について

○平成 27 年 12 月 17 日 (木) 第 8 回教育プログラム (MDE) 委員会の開催

1. 本科専門共通科目削減について
2. JABEE 受審結果の対応について
3. 来年度の学習・教育到達目標、科目の流れ図について
4. 第 7 回 MDE 委員会の議事概要の修正について
5. その他
 - ・ JABEE-日工教共催「国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ第 6 回」の報告

○平成 28 年 2 月 8 日 (月) 第 9 回教育プログラム (MDE) 委員会の開催 (専攻科委員会との合同開催)

1. 専攻科 2 年生の「生産・情報基礎工学」教育プログラムの修了認定について
2. その他

○平成 28 年 2 月 8 日（月） 第 10 回教育プログラム (MDE) 委員会の開催

1. 学習・教育到達目標 (F) について
2. 平成 28 年度の科目の流れ図について
3. 平成 28 年度の到達度確認表について
4. 本校 HP の JABEE 内容の変更について
5. その他
 - ・自己点検書作成の日程について

○平成 28 年 3 月 15 日（火） 第 11 回教育プログラム (MDE) 委員会の開催

1. 平成 27 年度教育点検システムにおける点検項目に関する報告書について
2. 平成 28 年度教育プログラム到達度確認表について
3. 科目の流れ図について
4. その他

進路指導委員会

進路指導委員長	玉田 和也
進路指導副委員長（就職）	芦澤 恵太
進路指導副委員長（進学）	山田 耕一郎

1. 平成27年度の活動報告

1. 1 委員会協議事項、報告事項

- 第1回進路指導委員会（平成27年4月2日）
 - 1) 進路指導委員会の実施体制について
 - 2) 就職活動、進学活動について
 - 3) インターンシップについて
 - 4) 年間スケジュールについて
- 第2回進路指導委員会（平成27年7月22日）
 - 1) 予算計画について
 - 2) 業界研究セミナーについて
 - 3) 夏休み閉寮後の在寮措置について
 - 4) 就職ガイダンスのスピーカーについて
 - 5) 企業面談の対応者引継時期について
 - 6) 今後の日程について
- 第3回進路指導委員会（平成27年11月4日）
 - 1) 進路活動状況の確認
 - 2) 今年度後半のスケジュールについて
 - 3) 進路活動報告書について
 - 4) 編入試験（英語）について
 - 5) 専攻科から大学院への学校推薦
 - 6) 来年度就活スケジュールの考え方
- 第4回進路指導委員会（平成28年1月13日）
 - 1) 進路活動状況の確認
 - 2) 合同企業説明会について
 - 3) H28年度就職活動時期の変更
 - 4) 外部団体主催の企業説明会の引率について
 - 5) 求人票について
 - 6) 誓約書・進路アンケートの提出について
 - 7) 就職活動報告書の提出について
 - 8) 専攻科改変による規定等の対応について
- 第5回進路指導委員会（平成28年2月25日）
 - 1) 合同企業説明会について
 - 2) 進路活動状況の最終確認
 - 3) 予算の執行について

1. 2 進路ガイダンス

今年度の進路ガイダンスの実績を表1に示す。本科4年生、専攻科1年生を対象とした履歴書作成講習の講師として、筒井氏（株式会社マイナビ）を招聘した。また、本科3,4年生、専攻科1年生を対象とするマナー講座を実施した。講師として福島氏（はるやま商事株式会社）と田邊氏（合同会社リールビズ）を招聘し、スーツの着こなしと女子学生へのメイク講座を実施した。

表1 平成27年度進路ガイダンス

対象	開催日	備考	担当
本科1年生	H27年4月9日	新入生合宿研修における講話	山田・芦澤
本科2年生	H27年7月13日	進路ガイダンス（これからの心がまえ）	山田・芦澤
本科3年生	H27年5月25日	全体概要	玉田・山田・芦澤
	H27年9月7日	進学ガイダンス（5年生の体験談）	山田
	H27年10月13日	マナー講座（スーツ、メイク）	玉田・山田・芦澤
	H27年12月10日	合同学校説明会の説明会	玉田・山田・芦澤
	H28年2月29日	合同企業説明会の説明会	玉田・山田・芦澤

本科 4 年生・ 専攻科 1 年生	H27 年 5 月 12 日	全体概要	玉田・山田・芦澤
	H27 年 9 月 7 日	進学ガイダンス（5 年生の体験談）	山田
	H27 年 9 月 28 日	就職ガイダンス（5 年生の体験談）	芦澤
	H27 年 10 月 13 日	マナー講座（スーツ、メイク）	玉田・山田・芦澤
	H27 年 11 月 26 日	学校説明会の説明会	山田
	H28 年 1 月 28 日	履歴書作成講習	筒井氏（株）マイナビ
	H28 年 2 月 29 日	合同企業説明会の説明会	玉田・山田・芦澤
	H28 年 3 月 1 日	進路活動における注意（就職）	芦澤
	H28 年 3 月 2 日	進路活動における注意（進学）	山田

1. 3 合同学校説明会（平成 27 年 12 月 13 日開催）

本科 3, 4 年生と専攻科 1 年を対象とする合同学校説明会を本校で開催した。124 名の学生が参加し、保護者も約 40 名の参加があった。今年度は 10 校（本校専攻科を含む）の参加があり、学生は各自の希望する 2 校を選び、それぞれ 45 分間の説明を聴く方式で実施した。学生の進路選択にとって有意義な説明会となった。表 2 に参加校を示す。

表 2 平成 27 年度合同学校説明会参加校

長岡技術科学大学	岐阜大学	兵庫県立大学
大阪大学	豊橋技術科学大学	福井大学
九州工業大学	岡山大学	和歌山大学

1. 4 個別の大学説明会

合同学校説明会とは別に、大学、大学院からの要望に応じて適宜、放課後に単独の説明会を実施している。平成 27 年度の実施状況を表 3 に示す。

表 3 平成 27 年度大学、大学院の説明会

開催日	大学名
H27 年 5 月 7 日	豊橋技術科学大学
H27 年 5 月 21 日	福井大学
H27 年 7 月 15 日	京都府立大学
—	—

1. 5 業界研究セミナー

業界研究セミナーでは、本科 3, 4 年生並びに専攻科 1 年生を対象とし、様々な業界・業種の会社勤めをしている本校卒業生に、業界全体の魅力や仕事のやりがい、学生時代の過ごし方等について、自らの経験談をもとに講演していただいた。講演者（敬称略）を表 4、5 に示す。

表 4 M, E, S 学生に対する業界研究セミナー

講演者	卒業（修了）年度・学科	所属	開催日
宮下 嘉仁	H23 年度 E 卒業	日新電機(株)	H27 年 12 月 15 日
桑原 弘	H18 年度 M 卒業	関西電力 (株)	
木村 奏恵	H19 年度 E 卒業	アイテック 阪急阪神(株)	
西谷 奈央	H26 年度 E 卒業		
河守 謙弥	H25 年度 M 卒業	(株)インダ	
渡邊 沙也加	H22 年度 S 卒業	(株)日進製作所	
道下 嘉郎	H11 年度 E 卒業	CTC テクノロジー(株)	H27 年 12 月 17 日
荻野 貴文	H24 年度 M 卒業	川崎重工 (株)	
國本 祐貴	H23 年度 M 卒業	三菱電機(株)	
山下 恵梨佳	H17 年度 S 卒業 H19 年度 ES 専攻修了	日東精工(株)	

表 5 C 学生に対する業界研究セミナー

講演者	卒業（修了）年度・学科	所属	開催日
北島君則	H23 年度 C 卒業 H25 年度 CM 専攻修了	ケイコン(株)	H27 年 12 月 16 日
岡本 遥	H25 年度 C 卒業	JR 西日本不動産開発 (株)	
出野幸一	H23 年度 C 卒業	大鉄工業 (株)	
西尾友里	H25 年度 C 卒業	吉村建設工業 (株)	

1. 6 合同企業説明会（平成 28 年 3 月 6 日・7 日開催）

対象は本科 3, 4 年生，専攻科 1 年生およびその保護者，専攻科進学予定の本科 5 年生であり，参加学生数は 1 日目，2 日目それぞれ 219 名，223 名，保護者数は 1 日目 15 名，2 日目 6 名であった。今年度の合同企業説明会には 1 日目，2 日目それぞれ 67 社，合計で 134 社が参加した。

1. 7 三者懇談会

進路に係る三者懇談会を平成 28 年 3 月 19 日（土），20 日（日）の二日間，実施した。対象学年は本科 4 年並びに専攻科 1 年である。

2. 平成 27 年度の進路状況

2. 1 求人会社数

本科の求人会社数の推移を図 1 に示す。平成 23 年度以降，求人会社数は順調に増加し，リーマンショック前と同水準まで回復している。今般の社会情勢をみると，この傾向が持続するとは考えられず，教員による企業訪問や企業面談を引き続き丁寧に積み重ねていくことが必要である。

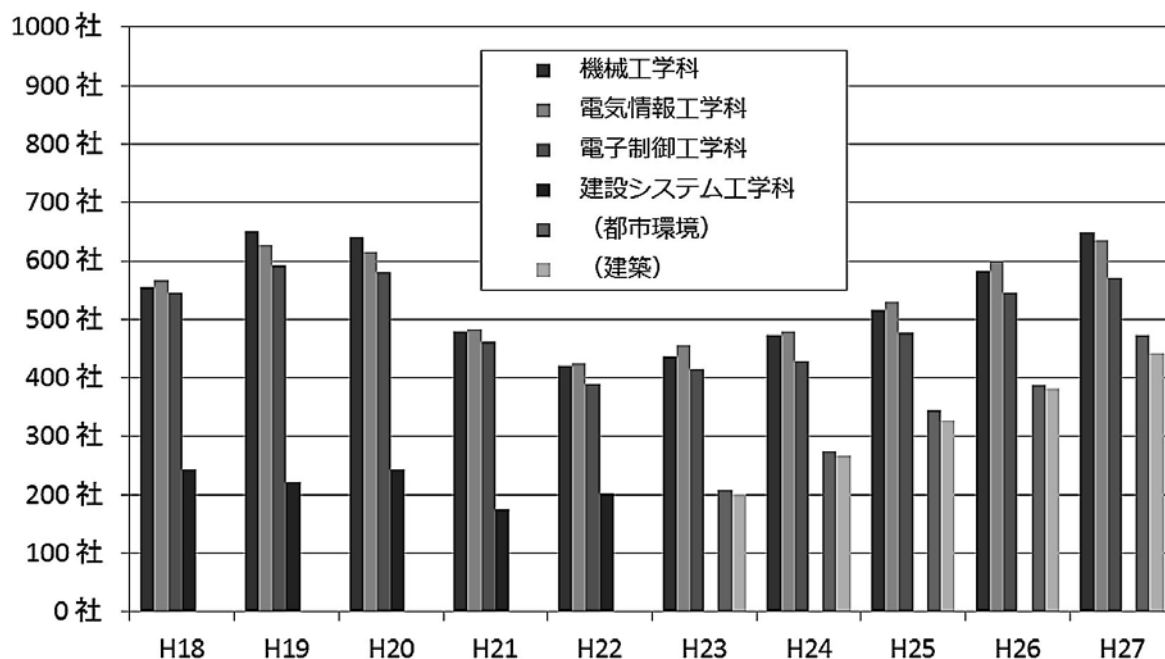


図 1 求人会社数の推移（本科）

2. 2 進路状況

平成 27 年度の進路状況を表 7 に示す。また、最近 10 年間の就職希望者と進学希望者の割合の推移を図 2 に示す。本科においては、就職が 54.5%，進学が 45.5%であり進学する学生の割合が 2 年連続微増している。

表 7 平成 27 年度本科卒業生・専攻科修了者進路状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

学 科		卒業生数	就職 希望者数	内定者数	大学・専攻科 進学希望者数	合格者数	その他
機械工学科		39	24	24	15	15	0
電気情報工学科		39	22	22	17	17	0
電子制御工学科		33	14	14	18	18	1
建設システム 工学科	都市環境コース	18	13	13	5	5	0
	建築コース	17	6	6	11	11	0
専 攻		修了 予定者数	就職 希望者数	内定者数	大学院 進学希望者数	合格者数	その他
電気・制御システム工学専攻		10	5	5	5	5	0
建設・生産システム 工学専攻	機械系	0	0	0	0	0	0
	建設系	6	6	6	0	0	0

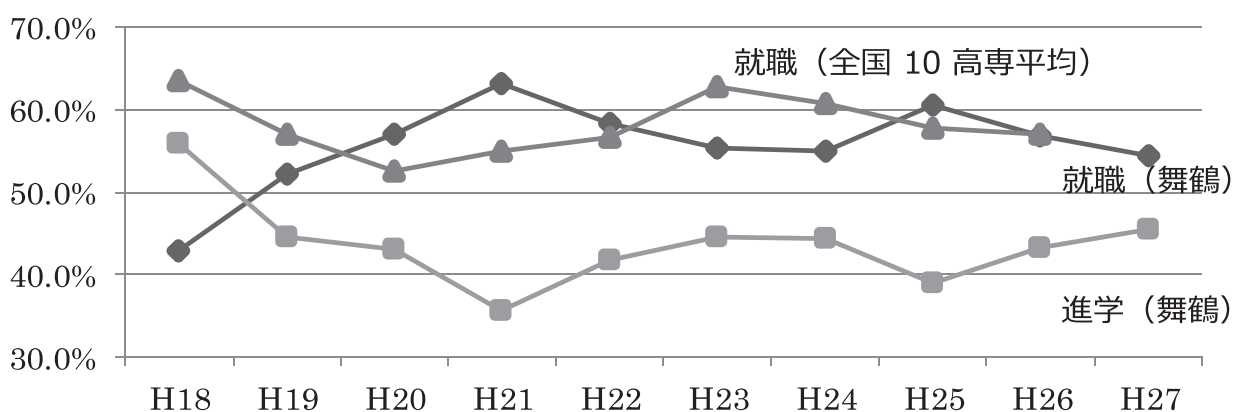


図 2 就職と進学の割合の推移（本科）

学生相談室

学生相談室長 田村 修一

1. 本年度の学生相談室スタッフ

本年度は昨年度に引き続き、人文科学部門の田村修一が学生相談室長を務めた。カウンセラーには少し異動があり、平成 25・26 年度の 2 年間にわたり務めていただいた精神科医の長内清行先生に代わり、舞鶴医療センターの西田誠司先生に来ていただいた。なお、長内先生は現在西舞鶴の倉谷で「ながうちこころのクリニック」を開業されている。本年度の学生相談室スタッフは以下の通りであった。

田村修一（人文）、宮崎操（人文）、牧野雅司（人文）、小松幸恵（自然）、室巻孝郎（機械）、新池一弘（電気）、清原修二（制御）、加登文学（建設）、松梨英輔（学生課長）、橋本豊（学生課長補佐）、清水智苗美（看護師）、西田誠司（カウンセラー[精神科医]）、中川亜希（カウンセラー[臨床心理士]）、坂口なぎさ（カウンセラー[臨床心理士]）。

2. 相談体制・相談件数

カウンセラーによる相談時間は、精神科医の西田先生に月 1 回（水曜日）、臨床心理士の二人の先生に毎週 1 度（中川先生＝月曜日、坂口先生＝木曜日）来ていただき、午後から学生相談室に詰めていただいた。教職員スタッフによる相談は「随時」であるが、例年、その多くは清水看護師に担っていただいている状況である。本年度の相談件数は延べ 598 件（昨年度は 436 件）、うち教職員への相談件数は 281 件（昨年度は 279 件）、精神科医への相談件数は 1 件（昨年度は 7 件）、臨床心理士への相談件数は 316 件（昨年度は 150 件）であった。人数としては、教職員への相談は 89 名（昨年度は 72 名）、精神科医への相談が 1 名（昨年度は 4 名）、臨床心理士への相談が 46 名（昨年度は 41 名）であった。昨年度と比べ、臨床心理士への相談件数が突出して増加していることがわかる。その要因として、本年度、本校学生が 11 月に自死を選ぶという大変痛ましい出来事があり、臨床心理士の二人の先生方には原則週一回ずつという出勤にとらわれず、その後極力来校していただいたことが挙げられる。その結果カウンセリングを受ける学生の延べ人数が増加したとみられるが、実人数は昨年度と大差はないことから、リピーターが増加したのであろうことがうかがえる。

3. 「こころと体の健康調査」の実施

本年度も「こころと体の健康調査」を 2 回実施した（1 回目＝5 月、2 回目＝11 月）。昨年度までは 1 回目のアンケートは前期期末試験明けに実施していたが、今年度はゴールデン・ウィーク明けに行い、面談を夏休みに入る前には終える体制を取った。1 回目はアンケートの結果による希死念慮リスク「高」89 名に対し配慮レベル「高」は 95 名となり、2 回目は希死念慮リスク「高」87 名に対し配慮レベル「高」は 98 名となった。この健康調査も 3 年目に入り、特に上級生は調査慣れして、数値としては全体的に大きな変動は少なくなり、安定してきている印象である。しかしこの調査は自殺予防のためのものであるが、本年度は大変痛ましいことに、本校から自死者が出てしまった。この調査の実施方法等、検討の余地を来年度への課題として残したと言える。

4. 各種研究会、研修会、協議会への参加

学生相談に関する研鑽を積むため、また他校との学生相談に関する情報交換のため、下記に示す各種研究会、研修会、協議会に参加した。

○近畿学生相談研究会（KSCA）

6 月 20 日（土） 大阪市立大学、12 月 5 日（土） 京都産業大学

○全国国立高等専門学校 メンタルヘルス研究集会

11 月 5・6 日（木・金） 国立オリンピック記念青少年総合センター

○近畿地区カウンセリング連絡協議会

11 月 26 日（木） ホテルアウィーナ大阪

○中丹こころの健康セミナー

3 月 3 日（木） ホテルロイヤルヒル福知山

オープンキャンパス

オープンキャンパスチーフ 西山 等

オープンキャンパスは本校を会場として、おもに中学生とその保護者を対象に、本校への理解を深め、入学を検討してもらうことを目的に開催している。1日間のスケジュールで、学校概要説明、学科展示、クラブ展示、学寮見学、寮食体験、体験学習、保護者対象学校説明会、個別相談、学生による学校生活紹介などを通して、本校のハード面・ソフト面を紹介・体験できる充実したイベントとなっており、全学的な取り組みとして実施している。

本年度のオープンキャンパスは、8月8日(土)、9日(日)に開催した。オープンキャンパスには2日間で生徒・保護者等で合わせて845名の参加があった。昨年は台風の影響のため、当初の8月開催を急遽中止した関係で秋開催となり参加者は840名であった。時季的なちがいはあるが、ほぼ同数の参加を得た。ここ数年間のオープンキャンパスにおいても、約850名程度の参加者数となっている。

オープンキャンパスに先立って実施するプレ・オープンキャンパスは、本校会場で5月24日(日)に、京都会場で6月14日(日)にそれぞれ開催した。プレ・オープンキャンパスは397名の参加者で、昨年からは会場を1つ減らした影響があつてか、37名の減であった。プレ・オープンキャンパスの特徴は、本校会場に加えて学外会場でも開催し、本校の教育および入試の概況の説明ののち、4学科全ての簡単な体験学習を短い時間で実施する点である。プレ・オープンキャンパスは、本校の魅力を、中学3年生の生徒やその保護者に対して、比較的早い時期に情報提供できるイベントとなっている。プレ・オープンキャンパスの参加者の多くが、本校で開催するオープンキャンパスにも参加している。

本年度のオープンキャンパスは、大きな混乱もなく無事に開催することができた。その実施においては、夏季休業中にもかかわらず、多大な学生の協力があつた。学生の協力なしでは運営そのものが成り立たない。また、生徒・保護者を対象としたアンケートにおいて、多くの方から本校学生の態度や取り組む姿勢に対して好意的な内容が寄せられている。

●オープンキャンパス 2015 参加者数

		第1日		第2日		合計	
		8月8日(土)	前年度	8月9日(日)	前年度		前年度
中学生	男	142	(128)	171	(184)	313	(312)
	女	24	(23)	26	(27)	50	(50)
	計	166	(151)	197	(211)	363	(362)
保護者・付添者		209	(182)	269	(294)	478	(476)
教員等		3	(2)	1	(0)	4	(2)
合計		378	(335)	467	(505)	845	(840)
中学校数		111	(106)	122	(131)	193	(198)
送迎バス	舞鶴	14	(18)	15	(14)	29	(32)
	京都	86	(80)	115	(122)	201	(202)
	三田	27	(16)	13	(25)	40	(41)
バスを利用しない		248	(221)	323	(343)	571	(564)

※前年度はオープンキャンパス 2014 (9月開催)における参加者数

※中学校数の合計欄はオープンキャンパス全体における申込学校数

●オープンキャンパス 2015 の様子



国際交流センター

国際交流センター長 荒川吉孝

1. 海外協定校からの受け入れ（キングモンクット工科大学サマー・トレーニング）

6月15日（月）から7月11日（土）にかけて、協定校のタイ王国キングモンクット工科大学（KMITL）学生4名（男子）をインターンシップ生として受入れた。

タイ留学生と引率の Nantawat 先生は関西空港でケイ教員が出迎えた。四蔵教員（建設システム工学科長）がオリエンテーションを行い、建設システム工学科で研修を受けた。人文・自然科学部門として、専攻科の岡田教員と荒川の授業参観を行なった。華道部（小松教員、畑教員担当）では、コーチの藤岡先生と田中先生にご指導いただき、体験交流の機会を持った。また、市内見学（松井教員、ケイ教員）や、京都見学（荻野主任（学生支援係）、荒川）を実施した。最後に、本校学生、指導教員、教職員等を交え、報告会を行い、齋藤校長より修了証が授与された。報告会の模様はスカイプで KMITL に中継された。

2. 海外インターンシップ

8月17日（月）から29日（土）にかけ2週間のインターンシップを行うため、2名の専攻科1年生を Malaysia-Japan International Institute of Technology (MJIT)（クアラルンプール）に派遣した。

2名は帰国後の10月20日（火）に視聴覚教室（図書館3階）で報告会を行った。研修先での評価、報告会での評価、参加者の報告書等に基づき、専攻科で単位が認定された。

なお、韓国釜山や台湾高雄の日系企業でも従来インターンシップを行っていたが、先方の担当者が交代したため、2014年度以来派遣できず、専ら大学でインターンシップを実施している。今後、海外企業のインターンシップ先を開拓する必要がある。

3. 海外研修旅行

研修旅行 WG（座長：金森教務主事）の要請を受け、現地の日系企業等とは国際交流委員の豊田教員、新池教員、高木教員、四蔵教員が、各協定校とは荒川が連絡調整を行なった。次に各学科の主な訪問先、引率者、旅行期間を示す。

機械工学科 [ベトナム]：交通通信大学、エンケイ・ベトナム（豊田教員、村上教員）

電気情報工学科 [北海道]：当初、韓国訪問の予定だったが、MERS 流行のため、北海道に変更。セイコーエプソン、さくらインターネット、NHK 札幌放送局（金山教員、井上教員）

電子制御工学科 [台湾]：国立聯合大學、台湾森永製菓（奥村教員、野間教員）

建設システム工学科 [ベトナム]：国立建設大学、ニャンタン橋（高谷教員、玉田教員）

期間：11月10日（火）から14日（土）

なお、今年度も外務省から渡航に対し警告が出たため、タイへの訪問は見送った。

4. その他の連携活動

中部日本海高専国際化推進委員会（主幹校、舞鶴高専）の会議を11月28日（月）、金沢市で開催し、長岡、富山、石川、福井、舞鶴の5高専の委員が国際交流等での連携について協議した。本校からは中部日本海委員の岡田教員、松梨課長と荒川が出席した。

その結果、キングモンクット工科大学の受け入れに関し連携を深めるとともに、海外インターンシップのみならず海外研修旅行に関しても、訪問先の企業や海外協定校の情報を共有し協力し合うこと、インターンシップ先の開拓をさらに進めること等について合意された。また、その予算として、舞鶴が代表して機構に申請した「学校の枠を超えた学生の交流」経費を各連携校に配分した。

これを受け、しばらく途絶えていたインターンシップ派遣についてタイ日進（NMT）で相談し、併せて、新年度に本校で受け入れるサマー・トレーニング・インターンシップについてキングモンクット工科大学で打ち合わせるため、岡田教員、須田教員（機械工学科、キングモンクット工科大学学生指導担当）、および荒川が3月27日（日）から29日（火）にかけタイのバンコクを訪問した。

国際交流センター運営委員会留学生部会

学生課課長補佐 橋本 豊

1. 在籍状況について

本年度、本校には国費外国人留学生2名、マレーシア政府派遣留学生3名、私費留学生1名の計6名の留学生が在籍しています。所属学科、学年等は次表のとおりです。高専の留学生は、3年次に編入学し、本人が学習を希望する学科に受け入れられます。

平成27年4月現在

名 前(通称名)	性別	国 籍	所属学科・学年	入学年	備 考
イクマル	男	マレーシア	建設システム工学科 5年	25	政府派遣留学生
イスマイル	男	マレーシア	機械工学科 4年	26	政府派遣留学生
グエン	男	ベトナム	機械工学科 4年	26	私費留学生
サアダ	女	マレーシア	電気情報工学科 4年	26	政府派遣留学生
ベラ	女	インドネシア	建設システム工学科 4年	26	国費留学生
チュカ	女	モンゴル	建設システム工学科 3年	27	国費留学生

2. 留学生支援について

留学生の勉学及び日常生活を支援するため、本部会（部会長：教務主事）を開催して当該年度の事業計画を協議しています。留学生支援として見学旅行及び交流会の他に、相談員（チューター）等に経費支弁を行っています。

また、留学生用教材の購入、日本語教室の設備充実を図っています。

平成27年度行事

近畿地区留学生交流会： 当番校 和歌山高専

10月11日（日）・12日（月） 1泊2日

高野山・和歌山城・紀州漆器伝統産業会館での蒔絵体験・マリーナシティ・黒潮市場

参加者：留学生5名、田村教員 計 6名

見学旅行：12月19日（土）・20日（日） 1泊2日

郡上踊り体験・高山市内見学・朝市・白川郷・金沢和菓子手作り体験

参加者：留学生6名、加登教員、嵯峨学生課員 計 8名

学内交流会：12月14日（月）午後17時00分～，青葉会館学生食堂

参加者：留学生、チューター、寮生会役員、学生会役員、教職員 約45名

3. 次年度の受入予定について

平成28年度は国費外国人留学生1名（タイ）が新たに3年生に編入学することになります。

なお、国費留学生については、東京日本語教育センターで1年間勉強してから、本校に入学する予定です。

教育改善委員会

教育改善委員会委員長 金山 光一

教育改善委員会は、本校の継続的改善システムを円滑かつ効果的に機能させるための活動を行っている。具体的には、教育プログラム（P I E）委員会（平成27年度から、「教育プログラム（M D E）委員会」）および評価委員会で CHECK された事項について ACTION を行う役割であり、当委員会が必要と認めるときは、各学科・部門及び他の委員会に提議、付託または協力要請を行うことができる。今年度実施した事項を以下に挙げる。

1. 平成26年度教育プログラム（P I E）委員会の「生産・情報基礎工学」教育プログラム点検結果について

教育プログラム（P I E）委員会で作成された「平成26年度教育点検システムにおける点検項目に関する報告書」について審議の上承認し、運営会議報告を経て本校の教職員用グループウェア Group Session に掲載した。

2. 新たな教育改善案件について

委員から意見を収集し、委員会にて審議の結果、以下の案件について対応する委員会に実施検討を行うよう依頼した。

（1）本校で導入している教育支援システム moodle の教員向け活用講座開催

e-Learning 推進のために、本校教員による moodle 活用事例紹介を行う。

対応委員会：教務委員会、専攻科委員会、情報科学センター運営委員会

（2）本科4，5年生授業科目の学修単位科目増加検討

学生の自学自習意欲向上のための方策の一環として検討を行う。

対応委員会：教務委員会

（3）本科「卒業研究」へのルーブリック評価の導入検討

平成26年度の専攻科「特別研究」への導入に引き続き、同種の教育形態の科目である「卒業研究」にも適用することを検討する。

対応委員会：教務委員会

3. J A B E E継続審査を踏まえた改善について

平成27年度に受審した J A B E E継続審査における実地審査結果を受けて、基準1，基準2，基準3について検討を行い、所掌する委員会に検討を依頼した。さらに、学習・教育到達目標に関する科目の関与度について、単位数と学習時間を適切に考慮した設定となるよう改善することを教育プログラム（M D E）委員会に依頼した。

以上

安全衛生委員会

安全衛生委員会委員長 四蔵 茂雄

本委員会は、教職員の安全管理及び衛生管理の向上を図るため（舞鶴工業高等専門学校安全衛生管理実施規定 第11条）、に設置されており、重要な事項について調査、審議を行っている。今年度の委員会構成は以下のとおりである。

表1 平成26年度安全衛生委員会構成

職 名	氏 名	任 期	備 考
教授	四蔵 茂雄		一号委員：委員長
医師	西村 正人		二号委員：産業医
総務課長補佐	平野 彰人		三号委員：衛生管理者・副委員長
総務課長	藤元 高德		四号委員：安全管理者、五号委員
看護師	清水智苗美		六号委員
教授	松井 信義	H27.4.1～H28.3.31	7号委員：人文科学部門
准教授	石川 一平	H27.4.1～H28.3.31	7号委員：電子制御工学科
准教授	宮元 健次	H27.4.1～H28.3.31	7号委員：建設システム工学科
技術職員	西川 隼人	H27.4.1～H28.3.31	7号委員：教育研究支援センター
総務係長	山崎 友顕		オブザーバー
施設係員	吉川 峻介		オブザーバー

1. 平成27年度のスローガン

今年度の当委員会のスローガンを「作業環境の整備」と定めた。出入口などの逃げ道となる安全なスペースの確保、棚・キャビネットなどの転倒防止、障害物の有無などのチェックポイントを例示し、学内の安全性の向上に努めた。

2. 定期巡視の実施

委員（産業医、オブザーバーを除く）8名を4班に分け、今年度のスローガンに従って例示されたチェックポイントを目安に、学内の定期巡視（毎週1回）を実施した。なお、学内はA～Eの5地区に分けた。各班が順に各地区を担当するように計画した。巡視結果は委員会に報告され、定例委員会で審議された。

3. 定例委員会の開催

毎月1回定例の委員会を開催することを基本とし、各班からの巡視結果について審議した。審議結果は保留、連絡（調査）、連絡（対策）の三つに分けて対応した。「連絡」と判断された事項については、該当部署または該当教職員に通知した。「保留」は学校としての対応が必要と判断した事項で、後日、校費により一括整備する予定とした。定例委員会では、毎回、西村産業医より、本校における健康管理および健康の保持増進に関するコメントをいただいた。

4. 安全衛生環境の改善

定例委員会で審議された事項について、当該部署や事務部へ連絡・調整を行った。これにより、安全衛生環境が改善された。特に、公共スペースの棚、ロッカー等の固定化が大きく進んだ。また、保留事項のうち、学寮南側フェンスの改修や駐輪場屋根の改修（雨樋の撤去）等も実施された。女子学寮屋上のフェンス改修については、春休みの実施に向けて、現在準備を進めている。

以上

創立50周年記念事業実行委員会

創立50周年記念事業実行委員会委員長 高谷 富也

1. 創立50周年記念式典について

平成27年4月25日（土）10時より、舞鶴工業高等専門学校の創立50周年記念式典が、舞鶴市総合文化会館において挙行された。

(1) 記念式典（10:00～11:00）

齋藤校長の式辞に続き、国立高等専門学校機構理事長 小畠秀文様、文部科学大臣 下村博文（代：文部科学省高等教育局専門教育課長 北山浩士様）、京都府知事 山田啓二（代：京都府中丹広域振興局長 中村敬二様）、舞鶴市長 多々見良三様、京都工芸繊維大学長 古山正雄様の来賓祝辞があった。その後、来賓紹介、祝電案内が行われた。なお、来賓27人、招待者54人、本校教職員50人、本校学生850人の参加があった。

(2) 記念講演会（11:00～12:00）

講師：さくらインターネット株式会社 代表取締役 田中邦裕氏

演題：「舞鶴高専と私たちの未来」

来賓23人、本校教職員50人、本校学生850人の参加があった。

(3) 祝賀会（12:30～14:00）

齋藤校長挨拶のあと、参議院議員（総務副大臣）二之湯智様、長岡技術科学大学長 新原皓一様、舞鶴高専地域テクノアカデミア会長の（株）日進製作所 代表取締役会長 錦織 隆様（代：取締役国際経営管理本部副本部長 平野 卓様）のご挨拶を頂いた。鏡開きの後、乾杯の挨拶を本校第5代校長の白石成人様に行って頂いた。祝宴の後、万歳三唱を本校同窓会副会長の西嶋久勝様に行って頂いた。来賓23人、招待者44人、本校教職員19人の参加があった。

なお、来賓、招待者、本校教職員および学生には、創立50周年記念誌ダイジェスト版、創立50周年記念等トートバッグ、クリアファイルおよびバッジが送られた。

2. 記念誌について

創立50周年記念誌の発刊は平成28年7月頃を予定しており、発行部数は1,000部である。

記念誌の構成は、舞鶴高専関係の校章、ロゴマーク、沿革概要、校内風景写真、現教職員集合写真、齋藤校長の巻頭言等、第1章は創立50周年を祝しての後援会会長および同窓会会長の挨拶、旧教職員や卒業生の回想、在校生の声、第2章は各種委員会・センター、各専門学科・部門、クラブ・同好会のあゆみ等、第3章は記念式典・記念講演会・祝賀会の様子、最後に資料編となっている。

3. 学生教育研究支援基金について

平成28年2月17日現在、25,959,662円の寄附金が寄せられており、この中から、記念式典および記念誌関連経費（8,149,559円）を差し引いた金額17,810,103円が、学生教育研究支援基金となる。

学生教育研究支援基金は、次の事業（4区分）に関する事業を支援する。

(1) 国際交流支援事業

(2) ものづくり教育研究支援事業

(3) 教育研究環境整備事業

(4) 地域社会との交流連携支援事業（地域貢献・地域連携）

なお、この学生教育研究支援基金に係わる事業は、創立50周年記念事業寄附金を原資として実施するのであるため、上記の寄附金金額を執行した時点をもって終了となる。

4. 創立50周年記念事業実行委員会および創立50周年記念事業委員会の活動記録

○平成25年11月21日（水） 創立50周年記念準備委員会の開催

1. 準備委員会要項等について

- 2. 記念事業の内容
- 3. その他

○平成26年1月8日（水） 第1回創立50周年記念事業実行委員会の開催

- 1. 職務分担について
 - (1) 記念式典・記念講演会・記念祝賀会
 - (2) 記念誌
 - (3) 寄附金（趣意書作成）
 - (4) 記念事業用ロゴマーク、バッジ、封筒等
- 2. その他
- 3. 共有フォルダーについて

○平成26年2月27日（木） 第2回創立50周年記念事業実行委員会の開催

- 1. 記念事業の担当部会の現状報告と予算要求について
 - (1) 記念式典部会
 - (2) 記念誌部会
 - (3) 寄附金部会
 - (4) 記念事業用ロゴマーク、バッジ、封筒等
- 2. その他

○平成26年3月27日（木） 第3回創立50周年記念事業実行委員会の開催

- 1. 記念事業の担当部会の現状報告と予算要求について
 - (1) 記念式典部会
 - (2) 記念誌部会
 - (3) 寄附金部会（趣意書案）
 - (4) 記念事業用ロゴマーク、バッジ、封筒等
- 2. その他

○平成26年4月23日（水） 第4回創立50周年記念事業実行委員会の開催

- 1. 記念事業の担当部会の現状報告と予算要求について
 - (1) 記念式典部会
 - (2) 記念誌部会
 - (3) 寄附金部会（趣意書案）
 - (4) 記念事業用ロゴマーク、バッジ、封筒等
- 2. その他
 - ・ 記念事業 HP

○平成26年5月29日（木） 第5回創立50周年記念事業実行委員会の開催

- 1. 記念事業の担当部会の現状報告と予算要求について
 - (1) 記念式典部会
 - (2) 記念誌部会
 - (3) 寄附金部会（趣意書案）
 - (4) 記念事業用ロゴマーク、バッジ、封筒等（トートバッグ、クリアファイルデザイン）
- 2. その他

○平成26年6月26日（木） 第6回創立50周年記念事業実行委員会の開催

- 1. 記念事業の担当部会の現状報告と予算要求について

- (1) 記念式部会（記念誌案）
- (2) 記念式典への学生の参加について
- (3) 記念講演会講師について
- (4) 航空写真
- (5) 記念事業委員会について

2. その他

○平成 26 年 10 月 9 日（木） 第 1 回創立 50 周年記念事業委員会の開催

- 1. 記念事業について
 - (1) 記念式典・記念講演会・記念祝賀会
 - (2) 記念誌
 - (3) 学生教育研究支援基金
- 2. 募金について
- 3. その他
 - ・創立 50 周年記念バッジについて

○平成 26 年 10 月 17 日（金） 第 7 回創立 50 周年記念事業実行委員会の開催

- 1. 創立 50 周年記念事業実行委員会での協議内容について
 - (1) 記念式典・記念講演会・記念祝賀会
 - (2) 記念誌
 - (3) 学生教育研究支援基金
 - (4) 趣意書
 - (5) 記念バッジ
- 2. その他

○平成 26 年 12 月 2 日（火） 第 2 回創立 50 周年記念事業委員会の開催

- 1. 記念事業について
 - (1) 予算
 - (2) 記念誌
 - (3) 学生教育研究支援基金
- 2. 募金について
- 3. その他

○平成 27 年 1 月 14 日（水） 第 8 回創立 50 周年記念事業実行委員会の開催

- 1. 創立 50 周年記念事業実行委員会での協議内容について
 - (1) 記念式典・記念講演会・記念祝賀会
 - (2) 記念誌
 - (3) 学生教育研究支援基金
 - (4) 趣意書
 - (5) 寄附金
 - (6) 記念品等
- 2. その他

○平成 27 年 4 月 2 日（木） 創立 50 周年記念事業業務打合せ会議の開催

- 1. 記念事業概要について
 - (1) 記念式典
 - (2) 記念講演会

(3) 記念祝賀会

2. その他

○平成 27 年 9 月 29 日（木） 第 9 回創立 50 周年記念事業実行委員会の開催

1. 記念事業について

(1) 記念式典・記念講演会・記念祝賀会

(2) 記念誌

(3) 募金

2. 学生教育研究支援基金について

3. その他

○平成 28 年 2 月 18 日（木） 第 3 回創立 50 周年記念事業委員会の開催

1. 記念事業について

(1) 記念式典・記念講演会・記念祝賀会

(2) 記念誌

2. 募金について

3. 学生教育研究支援基金について

4. その他

緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ

座長 金森 満

本ワーキンググループは、危機管理委員会の下部組織として、緊急連絡／安否確認システムの管理・運用およびシステムを用いた訓練を継続的に行っている。今年度のワーキンググループの構成員を表1に示す。

本システムを有効に活用するため、6月9日（水）に、全教員を対象にした説明会を情報科学センターにおいて開催した。本システムを用いた安否確認訓練を、学生及び教職員を対象に2回実施した。1回目の訓練は6月29日に実施した。1024名の学生・教職員に対して安否確認を行い、711名から返信があった。返信率は約69%である。この返信率は、昨年度の2回目とほぼ同等であるため、十分であると思われる。しかし、昨年度の1回目の返信率と比較すると、14%も下がっており、良くない結果となっている。この結果の理由の一つとして、今回より非常勤講師も訓練対象者に含めたことにより、教職員の返信率が下がったことが挙げられる。

2回目は、特別授業日の10月14日（水）に実施した。1016名の学生・教職員に対して、当日の16時に安否確認のメールを送信し、翌日の11時には全体の約69%にあたる696名から返信があった。1回目の訓練時とほぼ同じ返信率を得ているが、過去数年は1回目より2回目の訓練の方が、返信率が10%程度下がっていることから考えると、十分な結果と考える。

1回目と2回目とも2年生と3年生の返信率が悪かったため、返信率をあげるためには、これらの学年をターゲットにした対策が来年度は必要であると考え。また訓練時に回答の集計が大変な作業となるため、集計用としてエクセルの表を昨年度に作成した。この表を利用することで、今年度も集計をスムーズに行うことができた。この表を利用できる危機管理委員が少ないため、来年度は危機管理委員にも集計に参加してもらい、ぜひ利用してもらいたい。

安否確認の訓練は継続して実施する必要があるため、来年度も訓練を2回実施し、災害発生時などに学生の安否や緊急連絡がスムーズに行える環境を整えていきたい。

表1 緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ構成員

氏 名	所 属	氏 名	所 属
金森 満	座長，危機管理副委員長 教務委員会	仲川 力	学寮委員会
片山 英昭	情報科学センター	野間 正泰	情報科学センター
藤元 高德	総務課	松梨 英輔	学生課
福井 繁雄	教育研究支援センター	能勢 嘉朗	教育研究支援センター

表2 安否確認訓練結果

実施日	対象者	対象人数	返信有	未返信	無効回答
6月29日	学生	864名	572名	292名	60名
	教職員	160名	139名	21名	2名
	合計	1024名	711名	313名	62名
10月14日	学生	856名	552名	304名	66名
	教職員	160名	144名	16名	8名
	合計	1016名	696名	320名	74名

学科・部門別教員一覧 (平成28年3月現在)

人文科学部門

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
荒川 吉孝 (修士〔文学〕)	教授	・国際交流 センター長 ・教務主事 補	①総合英語ⅠA,ⅠB, ⅡB(H.27.12月よ り), ⅢA,ⅢB,ⅣB,ⅤA ②現代英語Ⅰ	英文学	①シェイクスピア喜劇 ②ジェイムズⅠ世の『悪 魔学』
垂谷 茂弘 (修士〔文学〕)	教授	・図書館長 ・人文部門 長	①人間論Ⅰ・Ⅱ ②哲学 ③宗教と「こころ」Ⅰ・ Ⅱ	宗教と心理 学	①ユング思想 ②力動精神医学の思想的 位置づけ
吉永 進一 (修士〔文学〕)	教授	・学級担任 (2-3)	①総合英語ⅡA,ⅡB, ⅢA,ⅢB,ⅣB,ⅤA ②現代社会と宗教Ⅰ・ Ⅱ	近代宗教史	①ウィリアム・ジェイムズ ②近代仏教 ③近代日本の精神療法 ④西欧秘教思想の日本への 影響
田村 修一 (博士〔文学〕)	教授	・学生相談 室長 ・学級担任 (1-3)	①現代文Ⅰ・Ⅱ ②総合国語ⅡA・ⅡB ③日本語 ABCDEF ④日本文化論	日本近代文 学	①芥川龍之介 ②阿部知二 ③日本近代文学史
畑 恵里子 (博士〔文学〕)	准教授		①総合国語ⅠA・ⅠB ②総合国語ⅡA・ⅡB ③国語国文Ⅰ・Ⅱ	日本古典文 学	①日本古典文学 ②リメディアル教育
Kay, Jonathan- David Robert (学士〔文学〕)	准教授		①英会話ⅠA,ⅠB ②総合英語ⅢA,ⅢB, ⅣA,ⅣB,ⅤA,ⅤB	Internati onal Political Economy	Maintenance of Welfare State Legitimacy in Social Democratic Societies (eg. Denmark, Sweden, Norway)
児玉 圭司 (修士〔法学〕)	准教授	・学生主事 補 ・学級担任 (1-1)	①法学Ⅰ・Ⅱ ②経済学 ③現代日本の政治・経 済と法Ⅰ・Ⅱ	法制史 (日本近代)	①行刑(監獄制度)史 ②刑事法・刑事政策史
牧野 雅司 (博士〔文学〕)	講師		①日本史 ②世界史Ⅰ・Ⅱ ③地域学Ⅰ・Ⅱ	日本近代史 対外関係史	①幕末維新期の日朝関係 ②地域史料の保存と活用

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
宮崎 操 (修士〔教育学〕)	准教授	・学級担任 (2-1)	①総合英語ⅡA, ⅡB, ⅢA, ⅢB, ⅣB, ⅤA	英語教育学 通訳理論	①通訳教育法の英語教育 への導入(シャドーイン グクイックレスポンス 等) ②児童英語教育 ③リメディアル教育 ④英語の絵本の読み聞かせ
松井 信義 (修士〔文学〕)	教授	・学級担任 (2-3) (H.27.12月 より代行)	①総合英語ⅠA, ⅠB, ⅡB(H.27.12月より 代行), ⅢA, ⅢB, ⅣB, ⅤA ②現代英語Ⅱ	英語学 (English Linguistics)	①語用論(Pragmatics) ②語法・文法(Usage & Grammar)
村上 美登志 (博士〔文学〕)	教授		①古 文Ⅰ・Ⅱ	①日本・中 世文学 ②漢文学 ③唱導文学 (含む声明 学) ④佛教伝承 民俗芸能	①延慶本『平家物語』研 究 ②太山寺本『曾我物語』 研究 ③和製類書研究 ④中世説話研究 ⑤佛舞・融通大念佛狂言 研究

自然科学部門

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
宮野 敏男 (博士〔理学〕)	教授	・学寮委員 ・専攻科委員	①物理ⅠA, B, 物理ⅢB, D ②応用物理Ⅰ, Ⅱ	①固体物理学 ②固体化学	①不定比金属酸化物の 微細構造の研究 ②組成適応（アダプテ ィブ）構造の計算機 シミュレーション
背戸柳 実 (修士〔理学〕)	教授	・学級担任 (1-2) ・学生委員 ・数学主任	①基礎数学Ⅰ,Ⅱ ②微分積分Ⅱ,Ⅲ ③応用数学ⅡA,ⅡB	①微分代数 ②p 進解析	①常微分方程式の Liouville 解 ②冪級数解の p 進収束 半径
小野 伸一郎 (学士〔教育学〕)	教授	・部門長 ・学生委員 ・教育研究支援 センター運営委員 ・体育主任	保健体育Ⅰ,Ⅱ,Ⅳ,Ⅴ	①運動生理学 ②運動方法学	①運動制御に対する呼 吸・代謝と不安心理 ②身体活動と健康
亀谷 睦 (博士〔理学〕)	教授	・学級担任 (2-4) ・FD・ICT 部会長 ・紀要編集委員 ・教育プログラ ム委員	①基礎数学Ⅲ ②微分積分Ⅰ-Ⅲ ③応用数学ⅠA, ⅠB	微分方程式	①複素領域における偏 微分方程式 ②KAM 理論
小松 幸恵 (博士〔理学〕)	教授	・教務主事補	①微分積分Ⅱ ②微分積分Ⅲ ③数学演習Ⅱ	微分方程式	①単独保存則方程式の 周期解 ②粘弾性体方程式の周 期解
上杉 智子 (博士〔理学〕)	准教授	・寮務主事補 ・理科主任	①物理ⅡA, ⅡB ②物理ⅢA, ⅢC ③応用物理Ⅰ, Ⅱ ④近代物理学	①素粒子論 ②初期宇宙論	①宇宙論的相転移の解 明 ②宇宙磁場, 物質の起 源
宮崎 昭仁 (博士〔理学〕)	准教授		化学ⅠA, ⅠB, ⅡA, ⅡB, ⅢA, ⅢB	①分析化学 ②錯体化学 ③社会地球化学 ④環境化学	①新機能性リガンドの トポロジーを用いた ナノテクノロジー ②物質移動の社会地球 化学的地域研究
梅垣 浩二 (修士〔体育学〕)	准教授	・図書館運営委員	保健体育Ⅰ,Ⅱ,Ⅳ,Ⅴ	スポーツバイオメ カニクス	ハンマー投げの加速の メカニズムとその技術

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
岡田 浩嗣 (博士 [理学])	准教授	・ 学級担任 (1-4) ・ 学生主事補 ・ 国際交流委員	①基礎数学Ⅰ・Ⅱ ②応用解析Ⅰ・Ⅱ	①微分方程式 ②力学系 ③特異摂動論	①反応拡散系における内部遷移層と界面のダイナミクス ②特異摂動法の非局所方程式への応用
奥村 昌司 (博士 [理学])	准教授	・ 学級担任 (2-2) ・ 学寮委員 ・ 広報委員	①基礎数学Ⅲ ②微分積分Ⅰ ③線形代数Ⅰ, Ⅱ ④応用数学ⅡA, ⅡB	①非線形方程式 ②微分幾何学 ③数理物理	自己双対方程式のパンルベ解析

機械工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
生水 雅之 (博士〔工学〕)	教授	・ 学科長 ・ 寮務主事補	①材料学Ⅰ，Ⅱ ②加工学Ⅱ，Ⅲ ③機械工学実験Ⅰ ④材料力学Ⅲ ⑤卒業研究 ⑥弾塑性力学 ⑦材料強度学 ⑧特別演習	材料強度学	①超微細粒鋼の疲労強度に関する研究 ②薄膜の機械的特性評価に関する研究
西山 等 (博士〔工学〕)	教授	・ 教務主事補 ・ 教育研究支援センター長	①創造演習 ②機構学 ③流れ学Ⅰ，Ⅱ ④機械工学実験Ⅱ ⑤知能機械工学 ⑥医工学 ⑦計算機援用工学 ⑧卒業研究 ⑨レオロジー	①流体工学 ②生体力学	①エアリフトポンプに関する研究 ②竹の利活用に関する研究
篠原 正浩 (博士〔工学〕)	教授	・ 機械制御システム工学コース長	①創造演習 ②機械設計法Ⅰ ③材料力学ⅡA，ⅡB ④機械工学実験Ⅰ，Ⅱ ⑤設計工学 ⑥卒業研究 ⑦先端材料工学 ⑧弾塑性力学 ⑨特別実験 ⑩エンジニアリング・デザイン演習	①材料力学 ②複合材料工学	①自己融着による熱可塑性コンポジットの修復について ②局所加熱を利用した熱可塑性樹脂複合材料の曲げ加工
谷川 博哉 (博士〔工学〕)	教授	・ 学生主事	①入門機械実習 ②創造設計製作 ③設計製図Ⅳ ④流体工学 ⑤卒業研究 ⑥流体力学	流体力学	①振動重力場における流体の挙動 ②集風体に関する研究

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専門分野	研 究 テ ー マ
豊田 香 (博士〔工学〕)	准教授	・学級担任 (4 M)	①設計製図ⅡA, ⅡB ②設計製図Ⅲ ③機械設計法Ⅱ ④熱工学 ⑤工作実習Ⅱ ⑥システム設計学 ⑦卒業研究 ⑧特別研究	①エネルギー工学	①膜沸騰熱伝達の研究 ②伝熱を利用した装置の開発
山田 耕一郎 (博士〔工学〕)	准教授	・学生主事補 ・進路指導委員会副委員長 (進学指導)	①入門機械実習 ②加工学Ⅰ ③創造設計製作 ④機械力学Ⅰ, Ⅱ ⑤機械工学実験Ⅰ, Ⅱ ⑥卒業研究	①計算力学 ②材料力学	①アルミ鍛造シミュレーションにおける圧縮試験 ②高強度アルミねじの性能試験
小林 洋平 (博士〔工学〕)	准教授	・学級担任 (5 M)	①応用物理Ⅱ ②計測概論Ⅰ, Ⅱ ③マリンエンジニアリングⅠ, Ⅱ ④機械工学実験Ⅰ ⑤卒業研究 ⑥プラント工学 ⑦特別実験 ⑧特別研究基礎	エネルギー工学	浮体式洋上風車に関する研究
野毛 宏文 (博士〔工学〕)	准教授		①機械工学実験Ⅰ ②熱力学Ⅰ, Ⅱ ③電子物理Ⅰ, Ⅱ ④工業英語 ⑤エネルギー環境学 ⑥応用物理Ⅰ ⑦卒業研究	①内燃機関 ②燃焼工学	①パーム酸油を燃焼用燃料として有効利用するための基礎研究 ②廃エンジンオイルの再利用を目的としたバーナ設計製作ならびに燃焼特性に関する研究

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
村上信太郎 (博士〔工学〕)	講師	・学級担任 (3M)	①機械工学実験Ⅰ ②設計製図ⅡA, ⅡB ③情報処理Ⅰ ④工学基礎 ⑤数学演習 ⑥力学基礎Ⅰ, Ⅱ ⑦卒業研究 ⑧特別実験	①熱流体工学 ②数値流体力学	マイクロスケール圧縮性 流れの流動・伝熱
室巻 孝郎 (博士〔工学〕)	助教		①機械工学実験Ⅰ, Ⅱ ②設計製図ⅡB, Ⅲ ③情報処理Ⅱ ④システム工学Ⅰ, Ⅱ ⑤制御工学Ⅰ ⑥卒業研究 ⑦特別研究基礎	①数値最適化 ②システム工学	①分散型ロボティクス照 明システムの開発 ②荷物搬送ロボットの開 発
須田 敦 (博士〔工学〕)	助教		①工学基礎 ②テクニカルドローイ ング ③設計製図ⅠA, ⅠB ④入門機械電気電子情 報工学 ⑤機械工学実験Ⅰ ⑥設計製図Ⅳ ⑦機械工学実験Ⅱ ⑧制御工学Ⅱ ⑨卒業研究	①設計工学, 機 械機能要素 ②機械力学, 制 御	①産業用キャスタ・ハンド トラック(台車)に関す る研究 ②緩衝装置・材料に関する 研究

電気情報工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
新池 一弘 (博士〔学術〕)	教授	・COC プロジェクト推進会議委員	① 創造工学 ② 工学基礎研究 ③ 伝送工学 ④ 電気情報工学実験 IVA, IVB ⑤ 卒業研究 ⑥ 特別実験 ⑦ 応用通信工学	①システム工学 ② 教育工学	①協同学習に関する研究 ②最適化手法を用いたグルーピングに関する研究 ③鳥獣害対策装置の開発に関する研究
平地 克也 (博士〔工学〕)	教授	・副校長 ・テクノセンタ一長	①電子回路Ⅱ ②アクチュエータ工学 ③電気機器Ⅰ・Ⅱ ④電気情報工学実験Ⅲ ⑤エネルギー工学Ⅰ・Ⅱ ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究 ⑧特別研究	パワーエレクトロニクス	インバータ, DC/DC コンバータ, UPS 等各種電力変換装置の研究
金山 光一 (博士〔工学〕)	教授	・学級担任 (4E) ・評価委員会副委員長 ・教育改善委員会委員長	①電気概論 ②電気情報工学実験ⅠA・ⅠB ③交流回路Ⅱ ④電気磁気学Ⅰ ⑤電気磁気学Ⅲ ⑥創造工学 ⑦工学基礎研究 ⑧卒業研究 ⑨特別実験 ⑩電子デバイス工学Ⅰ ⑪技術者倫理	①電子デバイス工学 ②超音波エレクトロニクス	①圧電デバイスの研究 ②非破壊検査技術に関する研究 ③センサーに関する研究
中川 重康 (博士〔工学〕)	教授	・学科長	①インターフェースⅠ, Ⅱ ②アナログ信号処理Ⅱ ③デジタル信号処理 ④電気情報工学実験ⅡA・ⅡB ⑤創造工学 ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究 ⑧特別実験 ⑨パワーエレクトロニクス	①電力工学 ②太陽エネルギー利用	①日射量予測を導入した太陽光発電・蓄電システムの開発 ②日射量モデルの評価に関する研究

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
片山 英昭 (博士〔工学〕)	教授	・学級担任 (5 E)	①回路理論 ②数値解析実習 ③情報理論 ④創造工学 ⑤工学基礎研究 ⑥過渡現象論 ⑦電気情報工学実験 IVA・IVB ⑧卒業研究 ⑨特別実験 ⑩情報工学	情報システム 工学	①Web カメラを用いた高速 不審者追跡システムの開 発 ②車番の欠損文字の認識に 関する研究
竹澤 智樹 (博士〔理学〕)	教授	(海外研修；教 員グローバル人 材育成力強化プ ログラム)		物性物理学	第一原理電子状態計算による 物性評価 ・物質設計 ・超伝導 (Pd, Fe) ・高圧物性 (水素)
船木 英岳 (博士〔工学〕)	准教授	・専攻長 (専攻科コース 長)	①コンピュータグラフ ィックス ②ネットワーク論 I・II ③電気情報工学実験 III A・III B ④創造工学 ⑤工学基礎研究 ⑥オペレーティングシ ステム I・II ⑦卒業研究 ⑧ネットワークシステ ム論 ⑨エンジニアリングデ ザイン演習	情報システム 工学	①複数AR マーカを用いたソ フトウェアの開発 ②Kinect を用いた障がい者 支援ツールの改良 ③視線を用いたコミュニケ ーションツールの開発

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
内海 淳志 (博士〔工学〕)	准教授	・教務主事補	①電気回路 ②電気情報工学実験 IIA・IIB ③アナログ回路 ④工業数学 ⑤電子工学Ⅰ・Ⅱ ⑥創造工学 ⑦工学基礎研究 ⑧半導体工学 ⑨卒業研究 ⑩電磁気応用工学	光電子工学 半導体工学	①近接場光応用技術の開発 ②電子デバイス教材の開発
芦澤 恵太 (博士〔理学〕)	准教授	・学生主事補 ・進路指導委員 会副委員長 (就職指導) ・学級副担任 (1-2)	①アナログ信号処理Ⅰ ②通信工学Ⅰ・Ⅱ ③制御工学 ④画像工学 ⑤電気情報工学実験 IIA・IIB ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究 ⑧特別研究	①画像処理 ②数値調和解 析	①画像圧縮アルゴリズム の開発 ②ギブス現象軽減に関す る研究
丹下 裕 (博士〔工学〕)	准教授		①電気情報工学実験 IA・IB ②電磁気学Ⅱ ③創造工学 ④工学基礎研究 ⑤シミュレーション工 学Ⅰ・Ⅱ ⑥電磁気計測Ⅰ・Ⅱ ⑦電気情報工学実験 IVB ⑧卒業研究	医用生体工学	①癌温熱治療装置の開発 ②障がい者支援に関する研 究
井上 泰仁 (博士〔工学〕)	准教授	・学級担任 (3E) ・寮務主事補	①工学基礎 ②デジタル回路 ③論理回路 ④医療工学 ⑤電気情報工学実験 IIIA・IIIB ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究	情報科学	膜タンパク質の機能予測

電子制御工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
金森 満 (博士〔工学〕)	教授	・教務主事	①制御工学Ⅲ ②(E)制御工学Ⅱ ③振動工学Ⅰ・Ⅱ ④卒業研究 ⑤ロボットシステム制御 ⑥特別実験 ⑦特別研究	①制御工学 ②メカトロニクス ③振動制御	①双腕ロボットアームの位置と力のハイブリッド制御 ②ホロノミック拘束下におけるロボットアームの位置と力のハイブリッド制御 ③ヒューマノイドロボットの段差歩行に関する研究
野間 正泰 (博士〔工学〕)	教授	・情報科学センター長 ・学級担任 (3S)	①材料力学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ②水力学Ⅰ・Ⅱ ③計測工学Ⅰ ④電子計測実験 ⑤卒業研究 ⑥流体工学特論 ⑦エンジニアリングデザイン演習	①トライボロジー ②可視化情報計測	①テラー渦とキャビティ流れの相互作用 ②マルチパッドジャーナル軸受内の潤滑油流れ ③回流水槽中を移動する物体まわりの流れの可視化 ④簡易風洞の設計製作とCOC出前授業への適用
奥村 幸彦 (博士〔工学〕)	教授	・企画室長 ・学級担任 (4S)	①熱工学Ⅰ・Ⅱ ②計測工学Ⅱ ③技術英語Ⅰ・Ⅱ ④画像処理Ⅰ・Ⅱ ⑤電子計測実験 ⑥卒業研究 ⑦エネルギー工学 ⑧エンジニアリングデザイン演習	①エネルギー工学 ②熱工学 ③機械工学	①環境保全を目指した新エネルギー利用技術の開発 ②燃焼に伴う環境汚染物質の生成機構と抑制技術〔環境機器の設計〕 ③ハイパワー型半導体の創製
仲川 力 (博士〔工学〕)	教授	・寮務主事	①情報処理Ⅲ ②CAD演習ⅠA・ⅠB ③電子制御実験 ④創造設計プロジェクト ⑤CAD演習ⅡC ⑥卒業研究	機械工学	①クローラ走行体の走行性能に関する研究 ②人工筋肉の開発
川田 昌克 (博士〔工学〕)	教授	・電子制御工学 科長 ・教務主事補	①工学基礎 ②制御工学Ⅰ・Ⅱ ③数値計算法Ⅰ・Ⅱ ④システム制御Ⅰ・Ⅱ ⑤制御工学実験 ⑥卒業研究 ⑦システム制御工学 ⑧特別研究基礎 ⑨特別研究	制御工学	①数値最適化による制御系解析／設計と実システムへの応用 ②制御工学教育のコンテンツ開発

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
町田 秀和 (博士〔情報工学〕)	准教授	・学級担任 (5S)	①計算機工学Ⅰ・Ⅱ ②電子制御実験 ③創造設計プロジェクト ④電子回路Ⅴ ⑤工業数学 ⑥CAD演習ⅡB ⑦卒業研究 ⑧信号処理特論 ⑨制御工学特論	①ハードウェア(IC)実現 ②デジタル信号処理	①2重ループPLL/PWMモータコントローラの解析と実現 ②PWM/PDM-1bit信号演算処理のFPGA実現 ③Java言語によるWebベースの教育システム(CAI)の開発 ④DSPによるリアルタイム信号処理
清原 修二 (博士〔工学〕)	准教授		①電子制御実習Ⅰ・Ⅱ ②電子工学Ⅰ・Ⅱ ③電気磁気学Ⅰ・Ⅱ ④電子回路Ⅲ・Ⅳ ⑤卒業研究 ⑥電子回路特論 ⑦特別研究基礎	①ナノテクノロジー ②超微細加工工学 ③電子・イオンビーム工学	①室温硬化ナノインプリント用モールドの開発 ②室温インプリント法による機能性DLCナノデバイスの開発
伊藤 稔 (博士〔工学〕)	准教授	・寮務主事補 ・副担任 (1-3)	①情報処理Ⅰ・Ⅱ ②情報学Ⅰ・Ⅱ ③電子制御実験 ④卒業研究 ⑤知識情報工学 ⑥特別実験 ⑦特別演習 ⑧特別研究	ソフトコンピューティング	①進化計算の工学的応用 ②SLAMに関する研究
石川 一平 (博士〔工学〕)	准教授	・学生主事補	①電気基礎Ⅰ・Ⅱ ②防災リテラシー ③力学Ⅰ ④電子回路Ⅰ ⑤電子制御実験 ⑥卒業研究 ⑦特別実験 ⑧電子デバイス工学Ⅱ ⑨特別研究	①電子物理 ②応用物理 ③材料工学	①微細発光デバイスの作製 ②プラスチックを用いた放射線計測に関する研究
高木 太郎 (博士〔工学〕)	助教		①電子制御実験 ②数学演習 ③ロボット工学Ⅰ ④CAD演習ⅡA ⑤制御工学実験 ⑥卒業研究 ⑦特別実験 ⑧特別研究基礎	制御工学	①概強正実性に基づく適応制御系のモデルフリー構成法 ②マルチレートシステムに対する適応予測制御系構成法

建設システム工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
高谷 富也 (博士〔学術〕)	教授	・教育プログラム(MDE)委員長 ・学級担任(4C)	①構造力学ⅠA, B ②構造力学ⅡA, B ③数値解析Ⅰ ④建設設計製図Ⅰ ⑤構造解析 ⑥建設振動学 ⑦耐震工学 ⑧卒業研究 ⑨応用情報工学 ⑩建築耐震工学 ⑪特別実験	①構造・耐震工学 ②振動工学 ③動土質	①木造建築物の地震時倒壊過程解析に関する研究 ②地震時における地盤の増幅特性の評価手法およびその適用に関する研究 ③耐震建具による既存木造住宅の耐震補強工法の開発に関する研究 ④3Dソフトによる都市計画に関する研究
四蔵 茂雄 (博士〔工学〕)	教授	・学科長 ・安全衛生委員会委員長	①環境衛生学Ⅰ, Ⅱ ②環境工学ⅠA, ⅠB ③環境工学ⅡA, ⅡB ④建設システム工学実験Ⅲ ⑤建設システム工学実験Ⅳ ⑥卒業研究 ⑦地球環境政策学	①環境工学 ②環境政策学	①途上国のエネルギー環境問題 ②循環型社会形成の政策論
三輪 浩 (博士〔工学〕)	教授	・専攻科長 ・教務主事補	①水理学ⅠA, ⅠB ②水理学ⅡA, ⅡB ③建設システム工学実験Ⅲ ④河川工学 ⑤河川環境 ⑥海岸工学 ⑦卒業研究 ⑧水圏環境学 ⑨環境防災論 ⑩特別実験 ⑪特別演習	①水工水理学 ②土木環境システム	①置き土による河床変動予測と河川環境への影響評価 ②河口砂州の動態と変動予測 ③流砂モデルの再構築(混合砂礫の移動限界) ④閉鎖性水域における流れと物質循環機構および水質改善法
玉田 和也 (博士〔工学〕)	教授	・進路指導委員長	①工学基礎 ②建設システム工学実験Ⅲ ③構造力学Ⅲ ④鋼構造学ⅠⅡ ⑤応用構造力学 ⑥卒業研究 ⑦応用構造工学 ⑧メンテナンス工学 ⑨特別研究 ⑩特別実験	①メンテナンス工学 ②橋梁工学 ③構造工学	①地方自治体が管理する橋梁の維持管理 ②橋梁の健全度評価 ③アセットマネジメント ④応急復旧橋の開発 ⑤構造力学教育

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
尾上 亮介 (博士〔芸術文化学〕)	教授	・ 広報委員会副 委員長	①建設システム工学概 論 ②都市計画 ③建設製図Ⅰ ④建設製図Ⅱ ⑤建設製図制作 ⑥建築計画Ⅰ ⑦建築デザインⅠ ⑧卒業研究 ⑨特別研究 ⑩まちづくり学 ⑪設計製図	①建築設計 ②都市計画 ③まちづくり	①商店街の研究 ②住宅設計の研究
宮元 健次 (修士〔芸術学〕)	准教授		①建設製図Ⅱ ②エンジニアリングデ ザイン ③建築史 ④建築デザインⅡ ⑤建設設計製図ⅡB ⑥建築計画Ⅱ ⑦計画学 AB ⑧設計製図 ⑨建設計画学 ⑩卒業研究	①建設計画 ②地域計画	①歴史的景観を生かした町 づくり ②少子高齢化時代の建設設 計
加登 文学 (博士〔工学〕)	准教授	・ 学生主事補 ・ 学級担任(5C)	①防災リテラシー ②建設システム工学概 論Ⅰ,Ⅱ ③建設製図制作 ④建設システム工学実 験ⅠA,ⅠB ⑤地盤工学ⅠA,ⅠB ⑥地盤工学ⅡA,ⅡB ⑦防災工学 ⑧卒業研究 ⑨特別実験 ⑩地盤工学設計論	①地盤工学 ②土質力学	①地盤材料の力学特性に関 する研究 ②有限要素法による応力・ 変形～浸透連成解析 ③斜面安全管理に関する研 究
徳永 泰伸 (博士〔工学〕)	准教授	・ 寮務主事補	①建築環境Ⅰ,Ⅱ ②建築設備Ⅰ,Ⅱ ③建設製図制作 ④建設システム工学実 験ⅠA,ⅠB ⑤工学基礎 ⑥卒業研究 ⑦特別実験 ⑧特別研究	①建築環境学	①室内音響状態の変動につ いて ②視覚情報が聴感印象に与 える影響について

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
渡部 昌弘 (博士〔工学〕)	助教		①測量実習 ②建築一般構造 ③情報処理 I,II ④数値解析 II ⑤建築構造 A,B ⑥建築構造 I ⑦卒業研究 ⑧特別研究	①木質構造学	①歴史的木質建築物の保存・改修 ②木質系構造を用いた文化資産の復原
毛利 聡 (博士〔工学〕)	助教		①測量実習 ②建設製図制作 ③建設システム工学実験 IA, IB ④コンクリート構造学 II ⑤建設材料特論 ⑥卒業研究	①建築材料学	①建築部材の補修・改修・維持管理技術の高度化 ②コンクリート系材料の耐久性評価

教 職 員 数

平成 28 年 3 月 1 日現在

校 長		1					
教 員	区 分	教授	准教授	講師	助教	特任	計
	人 文 科 学 部 門	4	3	1	-	3	1 1
	自 然 科 学 部 門	5	5	-	-	-	1 0
	機 械 工 学 科	4	4	1	2	-	1 1
	電 気 情 報 工 学 科	6	5	-	-	-	1 1
	電 子 制 御 工 学 科	5	4	-	1	-	1 0
	建設システム工学科	5	3	-	2	-	1 0
	計	2 9	2 4	2	4	3	6 3
事 務 職 員	事 務 部 長	1					
	総 務 課	1 3					
	学生課(看護師含む)	1 5					
	再雇用事務職員	1					
	計	3 0					
技 術 職 員	教育研究支援センター	1 2					
	施 設 系	2					
	再雇用技術職員	3					
	計	1 7					
非常勤教職員	事 務 補 佐 員 等	2 1					
	特 命 助 教	1					
	非 常 勤 講 師	3 3					
	学 校 医 等	5					
	計	6 0					
合 計		1 7 1					

学校行事日程

月	日	曜日	行 事 名
4	4	土	開寮
	5	日	新入生入寮日・入寮式
	6	月	入学式、後援会総会
	7	火	始業式、オリエンテーション、身体計測・心電図・胸部レントゲン
	8	水	授業開始
	9	木	新入生合宿研修（～10日）
	20	月	交通安全講習会 （5年生除く学年・専攻科）
	22	水	交通安全講習会（5年）
	23	木	JABEE 説明会（専攻科1年）
	25	土	創立50周年記念式典
	26	日	開校記念日
5	7	木	学生総会
	14	木	スポーツフェスタ
	16	土	福井高専との交歓試合
	23	土	進路に係わる三者懇談会 No.2（～24日） 公開講座「たのしく学べるモノづくり公開講座 バイブで錯視独楽を回そう!!」
	24	日	プレオープンキャンパス（本校）
	29	金	特別授業
6	4	木	前期中間試験（～10日） 学位申請説明会（専攻科2年）
	14	日	プレオープンキャンパス（京都）
	20	土	編入学試験 ブックハンティング
	21	日	専攻科推薦特別選抜試験
	27	土	公開講座「たのしく学べるモノづくり公開講座 LED オブジェを作ろう!!」 公開講座「光であそぼう」
7	4	土	公開講座「光であそぼう」 公開講座「まちをつくろう」
	6	月	防災訓練
	11	土	近畿地区高専体育大会（テニス・剣道）（～12日） 公開講座「光であそぼう」 公開講座「まちをつくろう」
	18	土	専攻科学力選抜（前期） 公開講座「光であそぼう」 公開講座「商店街をつくろう」
	23	木	月曜日の授業
	24	金	特別授業（午前中のみ） 近畿地区高専弓道大会

月	日	曜日	行 事 名
7	25	土	学寮部屋替 公開講座「橋のしくみを知ろう 2 コンクリートのひみつ」
	26	日	開寮 公開講座「リニアモーターの仕組みを知ろう」
	27	月	夏季休業（～9月4日）
	8	土	オープンキャンパス（～9日）
8	14	金	夏季一斉休業
	18	火	公開講座「光と色の不思議を体感してみよう～夏休み LED 教室～」
	22	土	公開講座「パワーエレクトロニクス公開講座 DC/DC コンバータの基礎から応用まで」
	23	日	公開講座「つくってみよう！移動ロボット～スカラベ巢に急げ大作戦～」（小学生の部・第1回） 公開講座「つくってみよう！移動ロボット～ボトル輸送作戦！～」（中学生の部・第1回）
9	5	土	公開講座「考えて動かそう！きみにもできるロボットづくり」
	6	日	開寮 公開講座「3D-CAD を使ってみよう！パソコンで3Dモデル組立て」
	7	月	授業開始、全校集会
	9	水	学生振替休業（4月25日分）
	12	土	公開講座「たのしく学べるモノづくり公開講座 永久独楽の製作」
	15	火	本科・専攻科前期期末試験（～25日）
	20	日	公開講座「ナノテクノロジー公開講座」（～21日）
	28	月	特別授業
	29	火	試験返却等到達確認期間（～10月1日）
10	2	金	後期授業開始
	8	木	特別研究基礎中間発表（専攻科1年）
	13	火	午前・英語デー 午後・特別授業
	14	水	球技大会
	17	土	専攻科学力選抜（後期等）
	24	土	高専祭市中パレード

月	日	曜日	行 事 名
10	31	土	高専祭（～11月2日） 公開講座「防災について学ぼう」 公開講座「たのしく学べるモノづくり公開講座 電気で動く模型自動車の製作」 公開講座「つくってみよう！移動ロボット～スカラベ巣に急げ大作戦～」 （小学生の部・第2回）
11	1	日	公開講座「つくってみよう！移動ロボット～ボトル輸送作戦！～」 （中学生の部・第2回） 公開講座「光で遊ぼう」
	4	水	月曜日の授業
	7	土	公開講座「MDF 材でネームプレートを作ろう」
	8	日	女子中学生1日高専体験会
	9	月	物理模擬試験
	10	火	4年生研修旅行（～13,14日）
	14	土	公開講座「第2回ナノテクノロジー公開講座」（～15日）
	15	日	公開講座「防災について学ぼう（中丹絆フェスタ）」
	17	火	学生総会
	27	金	特別授業
	28	土	公開講座「パーソナル 3D プリンターの基礎」
12	4	金	後期中間試験（～12月10日）
	5	土	公開講座「レーザーで加工！！オリジナルのペン立て付きブックスタンドを作ろう」
	8	火	情報科学センター講演会
	12	土	公開講座「ラジコンロボット学習とクリスマスリースの製作」 公開講座「聖夜を彩る雪だるまイルミネーション」
	13	日	合同学校説明会
	23	水	公開講座「楽しく学べるモノづくり公開講座 クリスマスリースの製作」
	26	土	閉寮
	28	月	冬季休業（～1月8日）
1	11	月	開寮
	12	火	授業開始
	14	木	学習到達度試験 （数学・物理3年生対象）
	19	火	特別研究発表会（専攻科2年）

月	日	曜日	行 事 名
1	23	土	公開講座「楽しく学べるモノづくり公開講座 ペットボトル掃除機をつくろう」
	24	日	特別選抜入試
	29	金	特別授業
2	2	火	5年生のみ水曜授業
	3	水	5年生・専攻科2年後期期末試験（～9日）
	7	日	公開講座「MDF 材でネームプレートを作ってみよう」 公開講座「振り子でLEDを点灯させてみよう」
	16	火	木曜日の授業
	18	木	1～4年生・専攻科1年生後期期末試験（～29日）
	21	日	学力検査選抜入試
	22	月	臨時休業（～23日）
	26	金	COCフォーラム
	27	土	公開講座「楽しく学べるモノづくり公開講座 センサーライトの製作」
3	1	火	特別授業
	2	水	試験返却等到達度確認期間（～4日）
	4	金	学寮部屋替（～5日）
	5	土	閉寮
	6	日	合同企業説明会（～7日）
	7	月	学年末休業（～31日）
	9	水	特別研究基礎発表（専攻科1年）
	11	金	卒業証書・修了証書授与式
	12	土	公開講座「パワーエレクトロニクス公開講座 DC/DC コンバータの3つの回路方式について」
	19	土	進路に関する三者懇談会 No. 1（～20日）
	21	月	入学説明会
	26	土	公開講座「楽しく学べるモノづくり公開講座 プログラムで車を動かそう!!」

教 育 活 動

学生数	9 2
本科学学生定員，現員	9 2
外国人留学生入学者数	9 2
専攻科学学生定員，現員	9 2
学生寮現員	9 2
奨学生数，授業料免除該当者数及び入学料免除・猶予	9 3
高等学校就学支援金受給者数	9 3
入試状況	9 4
本科志願者数	9 4
本科合格者数	9 4
編入志願者数及び合格者数	9 4
専攻科入学志願者数及び合格者数	9 4
就職状況（本科）	9 5
求人及び決定状況	9 5
決定先の所在地域別状況	9 5
決定先の業種別状況	9 5
就職状況（専攻科）	9 6
求人及び決定状況	9 6
決定先の所在地域別状況	9 6
決定先の業種別状況	9 6
進学状況（本科）	9 7
進学状況（専攻科）	9 7
進路先一覧（本科）	9 8
進路先一覧（専攻科）	9 9
卒業研究題目	1 0 0
機械工学科	1 0 0
電気情報工学科	1 0 0
電子制御工学科	1 0 1
建設システム工学科	1 0 2
専攻科特別研究題目（第 2 学年）	1 0 3
インターンシップ受入先（本科）	1 0 4
インターンシップ受入先（専攻科）	1 0 5
課外活動成績	1 0 6
課外活動に対する教員の活動状況	1 0 8

学 生 数

本科学学生定員

学 科	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
入学定員	40	40	40	40	160
学生総定員	200	200	200	200	800

本科学学生現員

H27.5.1 現在

学年・学科	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
第1学年	45(4)	40(7)	45(3)	41(7)	171(21)
第2学年	50(2)	40(5)	45(1)	43(7)	178(15)
第3学年	41(2)	49(4)	35(2)	43(11)	168(19)
第4学年	38(0)	35(3)	40(1)	43(8)	156(12)
第5学年	40(1)	39(4)	34(1)	38(9)	151(15)
計	214(9)	203(23)	199(8)	208(42)	824(82)

() 内は女子学生数を示す。(内数)

外国人留学生入学者数(第3学年編入学生数)

学 科	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
人 数	0	0	0	1	1

専攻科学生定員

専 攻	総合システム工学専攻		
コ ー ス	電気電子システム工学コース	機械制御システム工学コース	建設工学コース
入学定員	16		
総 定 員	32		

専攻科学生現員

H27.5.1 現在

専 攻	総合システム工学専攻			
コ ー ス	電気電子システム工学コース	機械制御システム工学コース	建設工学コース	計
第1学年	10(0)	6(0)	3(0)	19(0)
専 攻	電気・制御システム工学専攻		建設・生産システム工学専攻	計
第2学年	12(0)		6(0)	18(0)
計				37(0)

() 内は女子学生数を示す。(内数)

学生寮現員

H27.5.1 現在

学 年	男 子	女 子	合 計
第1学年	134	20	154
第2学年	145	14	159
第3学年	110	17	127
第4学年	91	9	100
第5学年	63	9	72
専攻科1年	7	0	7
専攻科2年	9	0	9
計	559	69	628

奨学生数（平成 28 年 2 月現在）

奨 学 金 の 種 類		奨 学 生 数							
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	専 1 年	専 2 年	計
日本学生支援機構奨学金	第一種	12	14	10	13	21	2	3	75
	第二種	対象外			0	3	5	3	11
京都府高等学校等修学資金		3	6	3	3	1	対象外		16
その他 府県奨学金		2	5	5	5	4	0	0	21
市町村奨学金		0	1	0	0	0	0	0	1
法人等の奨学金		0	0	1	1	1	0	1	4

授業料免除者数

区 分		免 除 者 数				
		4 年	5 年	専 1 年	専 2 年	計
前 期	全額免除	9	8	3	0	20
	半額免除	1	1	1	2	5
後 期	全額免除	8	7	3	0	18
	半額免除	1	2	1	2	6

入学料免除者数 …… 0 名

入学料徴収猶予者数 …… 1 名

授業料免除における超過免除 対象者数（私費留学生含む）

免除者数 前期…4 年生 1 名（全額免除）

後期…4 年生 1 名（全額免除）

授業料免除における特別措置 対象者数

（高等学校就学支援金受給者については、支給後の本人負担額を免除）

免除者数 前期…3 年生 1 名（高等学校等就学支援金支給後の本人負担額全額免除）

後期…3 年生 0 名（高等学校等就学支援金支給後の本人負担額全額免除）

卓越した学生に対する授業料免除

免除者数 後期…4 年生 4 名（全額免除）

平成 27 年度高等学校就学支援金 受給者数（平成 28 年 2 月現在）

（加算および所得制限に係る該当者は平成 27 年 7 月分以降申請者）

	1 年	2 年	3 年	計
受 給 者 数	137	134	143	414
所得制限による非該当者数（※）	32	37	0	69
2.5 倍加算該当者（※）	21	12	0	33
2 倍加算該当者	20	18	19	57
1.5 倍加算該当者	45	41	12	98
特例措置該当者	0	0	0	0

※就学支援金制度の変更に伴い追加された項目（平成 26 年 4 月以降入学対象）

入 試 状 況

本科志願者数(都道府県別)

府県名 \ 学科	機 械 工 学 科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
京 都 府	20 (1)	27 (5)	29 (3)	25 (8)	101 (17)
福 井 県	0 (0)	4 (1)	3 (0)	1 (0)	8 (1)
兵 庫 県	15 (1)	10 (0)	12 (1)	13 (1)	50 (3)
滋 賀 県	11 (3)	9 (0)	14 (2)	13 (2)	47 (7)
大 阪 府	4 (1)	4 (0)	4 (0)	7 (1)	19 (2)
そ の 他	1 (0)	0 (0)	3 (1)	1 (0)	5 (1)
計	51 (6)	54 (6)	65 (7)	60 (12)	230 (31)

H28. 2. 5 現在, () 内数字は女子学生で内数。

本科合格者数(都道府県別)

府県名 \ 学科	機 械 工 学 科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
京 都 府	18 (2)	23 (5)	21 (2)	21 (7)	75 (16)
福 井 県	1 (0)	2 (1)	3 (0)	1 (0)	6 (1)
兵 庫 県	13 (1)	12 (1)	6 (0)	9 (1)	39 (3)
滋 賀 県	8 (2)	7 (0)	12 (2)	7 (2)	32 (5)
大 阪 府	3 (0)	2 (0)	4 (0)	5 (0)	14 (0)
そ の 他	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)
計	44 (5)	46 (7)	46 (4)	44 (10)	180 (26)

H28. 2. 25 現在, () 内数字は女子学生で内数。

編入学志願者数及び合格者数

学科	機 械 工 学 科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
志願者数	2 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (0)
合格者数	2 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	5 (0)

H28. 2. 25 現在, () 内数字は女子学生で内数。

専攻科入学志願者数及び合格者数

専攻 コース	総合システム工学専攻			計
	電気電子システム 工学コース	機械制御システム 工学コース	建設工学コース	
志願者数	15 (0)	15 (0)	7 (2)	37 (2)
合格者数	11 (0)	6 (0)	6 (2)	23 (2)

H28. 2. 25 現在, () 内数字は女子学生で内数。

平成27年度就職状況(本科)

求人及び決定状況

平成28年3月31日現在

区分	卒業者数	就職希望者数	内定者数	大学・専攻 科進学希望者数	合格者数	その他	求人会社 数(社)	求人数 (人)	求人倍率
機械	39	24	24	15	15	0	627	648	27.0
電気情報	39	22	22	17	17	0	626	636	28.9
電子制御	33	14	14	18	18	1	564	571	40.8
建設システム (都市環境)	18	13	13	5	5	0	449	473	36.4
建設システム (建築)	17	6	6	11	11	0	436	442	73.7
合計	146	79	79	66	66	1	2702	2770	35.1

求人会社数は、学科間の重複を含む。

決定先の所在地域別状況

区分	京都府	大阪府	兵庫県	滋賀県	中京地域	京浜地域	その他	合計
機械	6 25.0%	4 16.7%	1 4.2%	2 8.3%	1 4.2%	8 33.3%	2 8.3%	24 100.0%
電気情報	2 9.1%	6 27.3%	1 4.5%	3 13.6%	1 4.5%	8 36.4%	1 4.5%	22 100.0%
電子制御	3 21.4%	1 7.1%	1 7.1%	2 14.3%	2 14.3%	4 28.6%	1 7.1%	14 100.0%
建設システム (都市環境)	3 23.1%	5 38.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	4 30.8%	0 0.0%	13 100.0%
建設システム (建築)	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%
合計	16 20.3%	19 24.1%	4 5.1%	7 8.9%	5 6.3%	24 30.4%	4 5.1%	79 100.0%

上段の数字は人数を示す。

決定先の業種別状況

区分	建設	食品	繊維	出版・印刷	化学	鉄鋼・金属	機械	電気機器	輸送用機器	精密機器	電力・ガス	その他製造	情報通信	運輸・通信	卸売・小売	不動産・賃貸	生活・娯楽	学術サービス	その他サービス	官公庁	合計
機械	3 12.5%	1 4.2%	1 4.2%	0 0.0%	2 8.3%	1 4.2%	8 33.3%	4 16.7%	3 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	24 100.0%
電気情報	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	1 4.5%	3 13.6%	7 31.8%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	5 22.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
電子制御	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	3 21.4%	2 14.3%	4 28.6%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	14 100.0%
建設システム (都市環境)	5 38.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 30.8%	0 0.0%	1 7.7%	13 100.0%
建設システム (建築)	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	6 100.0%
合計	12 15.2%	1 1.3%	1 1.3%	0 0.0%	5 6.3%	2 2.5%	14 17.7%	14 17.7%	8 10.1%	0 0.0%	3 3.8%	1 1.3%	6 7.6%	2 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 7.6%	2 2.5%	2 2.5%	79 100.0%

上段の数字は人数を示す。

平成27年度就職状況(専攻科)

求人及び決定状況

平成28年3月31日現在

区分	修了者数	就職希望者数	内定者数	大学・専攻科進学希望者数	合格者数	その他	求人会社数(社)	求人数(人)	求人倍率
電気・制御	10	5	5	5	5	0	577	582	116.4
建設・生産(機械系)	0	0	0	0	0	0	542	547	
建設・生産(土木・建築系)	6	6	6	0	0	0	436	454	75.7
合計	16	11	11	5	5	0	1555	1583	143.9

求人会社数は、専攻間の重複を含む。

決定先の所在地域別状況

区分	京都府	大阪府	兵庫県	滋賀県	中京地域	京浜地域	その他	合計
電気・制御	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
建設・生産(機械系)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
建設・生産(土木・建築系)	0 0.0%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	6 100.0%
合計	3 27.3%	5 45.5%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	11 100.0%

上段の数字は人数を示す。

決定先の業種別状況

区分	建設	食品	繊維	出版・印刷	化学	鉄鋼・金属	機械	電気機器	輸送用機器	精密機器	電力・ガス	その他製造	情報通信	運輸・通信	卸売・小売	不動産・賃貸	生活・娯楽	学術サービス	その他サービス	官公庁	合計
電気・制御	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
建設・生産(機械系)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
建設・生産(土木・建築系)	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	6 100.0%
合計	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 36.4%	0 0.0%	1 9.1%	11 100.0%

上段の数字は人数を示す。

進 学 状 況 (本 科)

平成28年3月31日現在

大 学 ・ 専 攻 科	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	電 子 制 御 工 学 科	建 設 シ ス テ ム 工 学 科	計
舞鶴工業高等専門学校専攻科	5	5	6	6	22
奈良工業高等専門学校専攻科	1				1
近畿大学工業高等専門学校専攻科	1				1
北海道大学				1	1
筑波大学	1				1
千葉大学		1			1
長岡技術科学大学		2	4	1	7
豊橋技術科学大学		3	3	3	9
名古屋工業大学	1				1
金沢大学		1	1		2
岐阜大学	1			2	3
福井大学		1			1
滋賀大学	1				1
京都工芸繊維大学	1			1	2
大阪大学	1		1		2
和歌山大学			1	1	2
徳島大学		1			1
岡山大学	2		1		3
首都大学東京				1	1
立命館大学		1	1		2
同志社大学		2			2
計	15	17	18	16	66

進 学 状 況 (専攻科)

平成28年3月31日現在

大 学 院	ES	CM	計
神戸大学大学院	2		2
奈良先端科学大学院大学	1		1
九州工業大学大学院	1		1
兵庫県立大学大学院	1		1
計	5	0	5

ES: 電気・制御システム工学専攻, CM: 建設・生産システム工学専攻

科	進路先	人数	科	進路先	人数	科	進路先	人数
機械工学科	(株)IHI環境エンジニアリング	1	電気情報工学科	(株)NTTフィールドテクノ	1	電子制御工学科	長岡技術科学大学	4
	王子イメージングメディア(株)	1		エンケイ(株)	1		豊橋技術科学大学	3
	関電プラント(株)	1		大阪ガス(株)	1		金沢大学	1
	京セラ(株)	1		オプテックス(株)	1		大阪大学	1
	極東開発工業(株)	1		グローリー(株)	1		和歌山大学	1
	キャノン(株)	1		(株)ケイ・オプティコム	1		岡山大学	1
	グンゼ(株)	1		日本電産テクノモータ(株)	1		立命館大学	1
	(株)小松製作所	1		(株)日本触媒	1	小計		32
	沢井製薬(株)	1		ニチコン亀岡(株)	1	建設システム工学科	NTTインフラネット(株)	1
	サントリープロダクツ(株)	1		パナソニック(株)アプライアンス社	2		(株)NTTファシリティーズ関西	1
	JX日鉱日石金属(株)	1		フリュー(株)	1		大阪ガス(株)	1
	大鉄工業(株)	1		三菱電機プラントエンジニアリング(株)	1		鳳工業(株)	1
	第一精工(株)	2		三菱電機ビルテクノサービス(株)	1		(株)大阪防水建設社	1
	(株)椿本チエイン	1		三菱電機エンジニアリング(株)	1		(株)関西土木技術センター	1
	トヨタ自動車(株)	1		リコー電子デバイス(株)	1		(株)鴻池組	1
	東レ・カーボンマジック(株)	1		舞鶴工業高等専門学校専攻科	5		五洋建設(株)	1
	パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社	1		千葉大学	1		三神工業(株)	1
	パナソニック(株)エコソリューションズ社	1		長岡技術科学大学	2		(株)CTIウイング	1
	富士重工業(株)	1		豊橋技術科学大学	3		ジェイアール西日本不動産開発(株)	1
	(株)堀場製作所	1		金沢大学	1		大和ハウス工業(株)	1
	(株)松浦機械製作所	1		福井大学	1		東海旅客鉄道(株)	1
	三菱重工業(株)	1		徳島大学	1		西松建設(株)	1
	村田機械(株)	1		立命館大学	1		日鉄住金テックスエンジ(株)	1
	舞鶴工業高等専門学校専攻科	5		同志社大学	2		野口建設(株)	1
	奈良工業高等専門学校専攻科	1		小計	39		福知山市役所	1
	近畿大学工業高等専門学校専攻科	1		一志(株)	1		舞鶴市役所	1
	筑波大学	1		大阪ガス(株)	1		(株)ユーズ	1
	名古屋工業大学	1		(株)京都製作所	1		舞鶴工業高等専門学校専攻科	6
	岐阜大学	1		(株)資生堂	1		北海道大学	1
	京都工芸繊維大学	1		ジャパンマリンユナイテッド(株)舞鶴事業所	1		長岡技術科学大学	1
	滋賀大学	1		(株)タマディック	1		豊橋技術科学大学	3
	大阪大学	1		高槻電器工業(株)	1		岐阜大学	2
	岡山大学	2		東明エンジニアリング	1		和歌山大学	1
	小計	39		日本オーチス・エレベータ(株)	1		京都工芸繊維大学	1
				フジテック(株)	1		首都大学東京	1
	(株)イシダ	1		三菱電機ビルテクノサービス(株)	1	小計		35
	(株)NTTネオメイト	1		三菱電機システムサービス(株)	1	合計	145	
	(株)エクセディ	1		三菱電機コントロールソフトウェア(株)	1			
	(株)NHKアイテック	1		(株)村田製作所	1			
	NTTコムウェア(株)	1		舞鶴工業高等専門学校専攻科	6			
	(株)NTTPCコミュニケーションズ	1						

進路先一覧（専攻科）

平成28年3月31日現在

専攻	進路先	人数	専攻	進路先	人数
電気・制御システム工学専攻	株式会社京都製作所	1	建設・生産システム工学専攻	国土交通省 近畿地方整備局	1
	日新電機株式会社	1		大和ハウス工業株式会社	1
	株式会社堀場エステック	1		戸田建設株式会社	1
	三菱電機株式会社	1		西日本高速道路ファシリティーズ株式会社	1
	三菱電機システムサービス株式会社 関西支社	1		西日本高速道路株式会社	1
	神戸大学大学院	2		株式会社ハンシン建設	1
	奈良先端技術科学大学院大学	1			
	九州工業大学大学院	1			
	兵庫県立大学大学院	1			
	小計	10		小計	6
合計			16		

卒業研究題目

学科	題 目	指導教員
機械工学科	金属ガラスの高温環境下における機械的特性に関する研究	生水 雅之
	めっき処理されたセルフタッピングねじ表層部の微視的特性に関する研究	
	超微細粒 DP 鋼の薄板曲げ疲労特性に関する研究	
	円錐型らせんバップル板を用いたエアリフトポンプの揚固特性	西山 等
	竹チップと下水汚泥混合物の発酵現象	
	ヨー・ピッチ風向対応型サボニウス風車の開発	
	自己融着による熱可塑性コンボジットの修復について	篠原 正浩
	熱可塑性樹脂複合材料の二次加工が力学的特性におよぼす影響	
	局所加熱を利用した熱可塑性樹脂複合材料の曲げ加工	
	小型可視化吸込型風洞の性能評価	谷川 博哉
	抗力揚力複合型風車の製作	
	スキーロボットのターンの研究	
	新型シニアカーの設計製作	豊田 香
	直径 200mm のディスクを使用したテスラタービンの設計製作	
	直径 250mm のディスクを使用したテスラタービンの実験	
	逆円錐台まわりの膜沸騰熱伝達の実験（底面直径 36mm, 上面直径 48mm および長さ 48mm の場合）	山田浩一郎
	ねじの引張試験 ー高周波焼入れ位置とねじ込み深さの関係ー	
	ねじの疲労試験 ー高周波焼入れ位置とねじ込み深さの関係ー	
	浮体式洋上を目指した翼開閉式垂直軸風車に関する研究	小林 洋平
	開閉式垂直軸風車の実現を目的とした製作及び改良	
	パーム酸油を燃焼用燃料として有効利用するための基礎研究	
	廃エンジンオイルの再利用を目的としたバーナ設計製作ならびに燃焼特性に関する研究	野毛 宏文
	テーパー管内流における管摩擦係数の測定実験	
	テーパー管内流における管摩擦係数の数値計算	
	ヨウ素ガスの蛍光特性の測定に関する基礎研究	村上信太郎
	サフランの蓄収穫装置の開発	
	荷物運搬用ロボットの改良	
	ロボティック照明システムの配光性能の改善	室巻 孝郎
	農作物の自動収穫装置の開発	
	能動制振キャスターの性能検証～検証環境の構築～	
	車いすへの実用を意識した振動・衝撃低減装置の設計開発	須田 敦
	新型車いすの設計開発	
	中学校技術科目への反転学習の導入	
電気情報工学科	コンビニ従業員スケジューリング問題への遺伝アルゴリズムの適用	新池 一弘
	研究室内ネットワークカメラ設置に関する研究	
	SEPIC コンバータの過渡現象の研究	
	降圧チョッパ回路のソフトスイッチング制御	平地 克也
	昇圧チョッパ回路のソフトスイッチング制御	
	交流電流駆動漏洩磁束検知による金属ロッド表面凹凸評価の研究	
	ステップ状電流駆動漏洩磁束検知による金属ロッド表面凹凸評価の研究	金山 光一
	ホールセンサを用いた鋼製試験体の形状検知	
	発電素子としての圧電セラミックスの特性評価	
	太陽追尾型傾斜面日射計測システムの試作	中川 重康
	気象観測データ解析支援システムの構築	
	PV モジュール劣化診断技術の基礎検討	

学科	題 目	指導教員
電 気 情 報 工 学 科	夜間における歩行者用信号機灯火色認識	片山 英昭
	市役所の配信メールを用いた地域情報マップ	
	次世代農業に向けた農場観測制御システムの開発	
	視線入力練習用ソフトウェアの開発	船木 英岳
	ARtoolkit を用いた漢字学習	
	色弱者のための支援ソフトウェア開発	
	Kinect を用いた障がい者支援ツールの改良	
	LED イルミネーションの故障診断	内海 淳志
	金微粒子を用いた光学フィルタの開発	
	学生実験用ショットキーバリアダイオードの作製	
	簡易作成プロセスによるシリコン太陽電池の試作	
	空気マグネシウム電池の利用効率の向上	
	セルオートマトンを用いたゲーム理論の視覚化	芦澤 恵太
	ハーフトーン画像に対するエッジパターン法を用いた電子透かしアルゴリズムの開発	
	組み合わせ式直交変換を用いた異種画像識別法の検討	
	組み合わせ式直交変換方式における新たな選択方法の提案	
	画像工学入門書における副教材アプリケーションの開発	
	学生実験向け簡易型 NIRS の製作	丹下 裕
	動物実験を想定したがん温熱治療用空洞共振器の設計	
	電子マップと音声機能を用いた障害物通知システム	
	視覚障がい者の歩行支援を目的とした障害物検知システムの開発	
	自立支援を目指した重度障害者用電動車椅子の多機能化	
電 子 制 御 工 学 科	膜タンパク質の立体構造データベースの構築	井上 泰仁
	気象警報発令時の河川の水位状況確認システムの開発	
	iBeacon を用いたアプリケーションの開発	
	4 回膜貫通型受容体に着目したループ領域の解析	
	双腕ロボットアームの位置と力のハイブリッド制御	金森 満
	ホロノミック拘束下におけるロボットアームの位置と力のハイブリッド制御	
	ヒューマノイドロボットの段差歩行に関する研究	
	水素気泡法を用いた回流水槽中を移動する物体まわりの流れの可視化に関する研究	野間 正泰
	簡易風洞装置を用いた物体まわりの流れの可視化と COC 出前授業への適用	
	レーザ変位計を用いたはりのたわみ計測実験装置の改良に関する研究	
	Arduino を用いた簡易風洞装置およびはりのたわみ計測実験装置の制御	
	再生可能エネルギーである植物からの水素製造とそのメカニズム	奥村 幸彦
	触媒効果を利用したバイオマスの低温迅速ガス化	
	バイオマス燃料の乱流燃焼場の火炎構造の解析	
	飛行船の制作と実験	
	ヘッドマウントディスプレイを用いたクローラクレーンバーチャルシミュレータの開発	仲川 力
	App Inventor を用いた Android 端末のプログラミングに関する研究	
	MinSegMega と LEGO による制御工学の教育コンテンツ開発	川田 昌克
	LEGO MINDSTORMS EV3 によるカート&ビームシステムの製作と制御に関する研究	
	ランダムイズドアルゴリズムによるアーム型倒立振子のゲインスケジューリング制御	
	2 重 PLL モータ速度制御系の FPGA 実現に関する研究	町田 秀和
	室温リバーサル μ -コンタクトインプリントによる DLC ドットアレイの作製	清原 修二
	PDMS を転写材料とした室温硬化ナノインプリントによる DLC ピットパターン形成	
	室温硬化ナノインプリントリソグラフィによるナノテクノロジー教育	

学科	題 目	指導教員
電子制御工学 科	巡回セールスマン問題に対するハイブリッド型進化計算手法の提案	伊藤 稔
	粒子群最適化手法の探索性能の改善に関する研究	
	連続値最適化問題における差分進化の改良および解析	
	Twitter における評判解析に関する研究	
	混合溶液が放射線計測プラスチックに与える影響の考察	石川 一平
	硬化温度が放射線計測プラスチックに与える影響の考察	
	低濃度の化学薬品でエッチング可能なプラスチック開発の検討	
	プラズマエッチング装置の製作に関する基礎的検討	
	電荷発生層による有機 EL の高効率化に関する研究	高木 太郎
	二輪倒立ロボットの適応制御系構成の一手法	
	運搬ロボットのシステム構築に関する研究	平地 克也
	DC/DC コンバータのサージ電圧発生メカニズムの研究	
	フライングキャパシタ付き昇圧チョップの研究	
建設システム 工 学 科	常時微動測定による地盤の卓越周期分布について -西舞鶴地区を 対象として-	高谷 富也
	茅葺き屋根を有する木造建築物の耐震性評価に関する研究 - 美山かやぶき美術館を対象として-	
	木造住宅群の火災延焼シミュレーションに関する研究 -城崎喜多地区を対象として-	
	微動アレイ観測による S 波速度構造の推定に関する研究 -東舞鶴地区を対象として-	
	由良川河口砂州の変動特性とその制御	三輪 浩
	置き土の侵食・流送特性とその解析	
	混合砂礫床における細砂の移動限界と土砂流出に及ぼす細砂供給の効果	
	舟形 PC 橋の振動計測と静たわみ計測の相関性に関する研究	玉田 和也
	橋梁工学導入編に係わる教育教材の開発	
	舞鶴市内 100 橋の振動計測に係わる精緻化に関する研究	
	舞鶴市西地区における歴史的町並みの修景提案	尾上 亮介
	舞鶴東地区商店街における空き店舗及び空き地の活用計画	
	次世代赤レンガブロックを活用した立体構成のテキスト作成と効果に関する研究	
	舞鶴市子育て交流施設に設置する新遊具の提案・製作	四蔵 茂雄
	阿蘇海の水質調査	
	阿蘇海の一次生産量の評価	
	全窒素分析における臭化物イオンの影響評価	宮元 建次
	図書館一階の活用方法	
	東舞鶴駅前活性化の現状	
	集客力としての照明演出	加登 文学
	防災に対する意識調査と効果的な防災マップに関する研究	
	防災教育のための小型斜面崩壊装置の製作	
	まさ土の繰返し一面せん断特性	徳永 泰伸
	変位振幅漸増一面せん断試験による砂質土の液状化強度の評価	
	舞鶴市の音楽ホールにおける音響特性の調査	
	舞台上の音響状態に対する演奏者の主観評価	渡部 昌弘
	縮尺模型を用いた明るさの知覚に関する研究	
	建築外部空間における視聴覚刺激が生理心理状態に及ぼす影響	
	舞鶴市内の歴史的遺構の構法に関する調査研究- 旧海軍第三火薬廠朝来工場砲塹谷 22 工場の歴史と現況 -	毛利 聡
	赤れんが倉庫旧需品庫 2 棟の内部木製フレームの構法に関する調査研究	
	温冷繰返しを用いたモルタルとコンクリートの接着一体性の評価手法の開発	
	外壁複合改修構工法の性能評価に関する研究	

専攻科特別研究題目(第2学年)

専攻	題 目	指導教員
電気・制御システム工学専攻	DAB方式DC/DCコンバータの特性解析と改善	平地 克也・中川 重康
	ホロノミック拘束下におけるロボットシステムの力と位置のハイブリッド制御	金森 満・川田 昌克・高木 太郎
	LLC方式DC/DCコンバータの特性解析と改善	平地 克也・中川 重康
	日射量予測を独立型太陽光発電システムに適用する研究	中川 重康・内海 淳志
	フルブリッジ方式双方向DC/DCコンバータの特性解析と改善	平地 克也・中川 重康
	短時間で観測が可能なPADC飛跡検出器の開発と放射線教育への応用	石川 一平・清原 修二
	真空蒸着法を用いた有機エレクトロニクスデバイス開発の検討	石川 一平・清原 修二
	発光部の種類によらない歩行者用信号機の発行色の認識	芦澤 恵太・片山 英昭 船木 英岳
	進化型計算に基づく2軸ヘリコプタの制御系設計に関する研究	川田 昌克・伊藤 稔
	自律型移動ロボットに関する研究	伊藤 稔・仲川 力
建設・生産システム工学専攻	新設橋梁の振動計測による構造同定に関する研究	玉田 和也・加登 文学
	音楽空間における視覚情報が聴感印象に与える影響	徳永 泰伸・尾上 亮介
	地方都市の景観まちづくりに関する研究	尾上 亮介・徳永 泰伸
	PC桁の損傷と動特性変化に関する研究	玉田 和也・高谷 富也
	商店街の空き店舗、空き地の現状把握とその活用に関する研究	尾上 亮介・徳永 泰伸
	舞鶴市の組積造倉庫群の振動性状に関する研究	尾上 亮介・渡部 昌弘

インターンシップ受入先(本科)

学科	受入先	人数	学科	受入先	人数
機械工学科	(株)イシダ	1	電子制御工学科	一志(株)	1
	(株)荏原製作所	1		(株)エヌ・ティ・ティ エムイー	1
	(株)エヌ・ティ・ティ エムイー	1		大阪ガス(株)	1
	関西電力(株) 原子力研修センター	1		(株)jig.jp	1
	キャノン(株)	1		ダイキン工業(株)	1
	極東開発工業(株)	1		東芝メディカルシステムズ(株)	1
	島津プレジションテクノロジー (株)	2		日本電産テクノモータ(株)	1
	ジャパンマリンユナイテッド(株)	1		パナソニック(株) A I S 社	1
	水ing(株)	1		(株)ブロードリーフ	1
	ダイキン工業 (株)	2		三菱電機ビルテクノサービス(株)	1
	(株)タダノ	1		豊橋技術科学大学	2
	(株)鶴見製作所	2		小 計	12
	DMG森精機(株)	1	建設システム工学科	ウィズダムデザイン	1
	(株)西島製作所	1		N T T インフラネット(株)	1
	日東精工(株)	1		大阪ガス(株)	1
	日本特殊陶業(株)	1		大津市役所	1
	阪神動力機械(株)	2		鹿島クレス(株)	1
	(株)松浦機械製作所	1		(株)川嶋建設	1
	三菱重工業(株)総合研究所長崎	1		京都市上下水道局	1
	三菱重工業(株)栗東地区	1		京都府建設交通部都市計画課	1
	三菱電機ビルテクノサービス(株)	1		国土交通省近畿地方整備局	2
	三菱日立パワーシステムズ(株)	1		(株)鴻池組	1
	村田機械(株)	1		大鉄工業(株)	2
	東北大学 (大洗原子力)	1		大東建託(株)	2
	豊橋技術科学大学	2		高田機工(株)	1
	小 計	30		高浜町役場	2
電気情報工学科	オムロンフィールドエンジニアリング(株)	1		(株)田中工務店	1
	キャノン(株)	1		中部土木(株)	1
	キャノンシステムアンドサポート(株)	1		豊岡市役所	1
	技研電子(株)	1		中日本建設コンサルタント(株)	1
	さくらインターネット(株)	1		西日本旅客鉄道(株)	2
	C T C テクノロジー(株)	1		ニュージェック	2
	信号電材(株)	1		福井県嶺南振興局 小浜土木事務所	1
	中部電力(株)	1		福知山市役所	2
	東レエンジニアリング(株)	1		舞鶴市役所	2
	日新電機(株)	1		(株)森本組	1
	日本電産テクノモータ(株)	1		与謝野町役場	1
	パナソニック(株)アプライアンス社	1		長岡技術科学大学	2
	パナソニック(株)A V C ネットワークス社	1		小 計	35
	(株)堀場製作所	1			
	(株)モリタ製作所	1			
	小 計	15			
				合 計	92

インターンシップ受入先(専攻科)

専攻	受入先	人数
CA	一尾建築環境設計(株)	1
	小計	1
ES	池上通信機(株)	1
	九州工業大学	1
	小計	2
	合計	3

課外活動成績

《体育系》	女子800m	木本 麗香	2位
<u>第52回近畿地区高等専門学校体育大会</u>			
【団体戦】			
男子バスケットボール部	3位		
女子バスケットボール部	3位		
【個人戦】			
[陸上競技]			
男子100m	宇野 潤一	4位	
男子110mH	宇野 潤一	3位	
男子800m	牧野 太一	2位	
男子800m	田中 健大	3位	
走幅跳	石津 憲人	3位	
女子800m	松田 早也香	3位	
[バドミントン]			
男子個人単戦	岡田 拓巳	3位	
男子個人複合戦	岡田 拓巳・清瀬 涼	3位	
[テニス]			
女子ダブルス	青山 結香・杉本 翠葉	3位	
女子ダブルス	谷崎 華恋・番場 豊	3位	
[水泳]			
200mバタフライ	廣瀬 仁一	3位	
<u>第32回南丹市春季記録会</u>			
男子800m	田中 健大	2位	
男子1500m	岡 高志	3位	
男子5000m	岡 健太郎	1位	
	前川 寛太	2位	
男子110mH	宇野 潤一	1位	
男子砲丸投	前田 基稀	2位	
男子円盤投	藤本 到真	1位	
<u>第59回舞鶴市選手権兼ナホトカ通信大会</u>			
男子800m	田中 健大	1位	
	川本 孝太郎	3位	
男子1500m	岡 高志	1位	
男子5000m	岡 健太郎	1位	
	前川 寛太	2位	
女子800m	木本 麗香	2位	
<u>南丹陸協秋季強化記録会</u>			
男子5000m	前川 寛太	2位	
男子110mH	宇野 潤一	2位	
男子円盤投	近藤 辰亮	3位	
<u>第69回舞鶴市駅伝競争大会</u>			
男子一般の部	舞鶴高専A	3位	
	(前川、岡(高)、牧野、田中、岡(健)、谷口)		
男子高校生の部	舞鶴高専B	3位	
	(山西、川本、木村、久木元、小松、藤木)		
男子一般の部	クレインRC	2位	
	(3区 大谷 明寛)		
女子一般の部	舞鶴走ろう会	3位	
	(木本 麗香 (区間2位))		
<u>第38回 近畿地区高等専門学校駅伝競走大会</u>			
男子の部	舞鶴A	1位	
	田中(区間2位)、岡(健)(区間1位)、牧野(区間2位)、谷口、藤木、岡(高)、前川		
<u>平成27年度 両丹高等学校柔道個人選手権</u>			
男子 無段の部	川端 遼	2位	
男子 無段の部	磯部 奈津希	3位	
男子 無段の部	林 幹之	3位	
<u>平成27年度京都府高等学校柔道選手権大会</u>			
<u>両丹予選</u>			
男子団体		4位	
男子個人60kg級	磯部 奈津希	3位	
男子個人66kg級	川端 遼	2位	
男子個人73kg級	松尾 英治	3位	
<u>第22回京都府北部ソフトテニスブロック大会</u>			
B級男子	仲井大樹 橋本尚頭	2位	
<u>第4回舞 My チャレンジオープン大会(バドミントン)</u>			
男子個人複合戦	野山 綸太郎・横道 圭人	2位	
女子個人複合戦	中川 瑞穂・村尾 瞳	2位	
<u>第36回近畿地区高等専門学校空手道親善試合</u>			
団体組手		2位	
<u>第25回舞鶴市空手道選手権大会</u>			
個人の部 男子	小山 拓人	1位	
個人の部 男子	藤本 到馬	3位	
<u>第20回近畿高等学校スポーツライミング大会</u>			
<u>京都府予選</u>			
男子個人戦	上田 貫太	1位	

第 20 回近畿高等学校スポーツライミング大会

男子個人戦 上田 貫太 3 位

《文化系》

Honda エコマイレッジ 2015 第 29 回鈴鹿大会

ニューチャレンジクラス 1 位

第 3 級アマチュア無線技士国家試験合格

富田将志 浦優輝 山本謙太 二宮大輔

第 28 回アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2015 近畿地区大会

A チーム 技術賞

特別賞(東京エレクトロン株式会社)

B チーム 特別賞(株式会社安川電機)

第 12 回全国高等専門学校デザインコンペティション

空間部門審査員特別賞

「Bicycle Station ―自転車がつなぐ地域の未来―」リーダー竹内 正彦

構造部門審査員特別賞

「バケモノの弧」リーダー本田 拓也

課外活動に対する教員の活動状況

齋藤 福栄

近畿地区高等専門学校体育連盟，理事及び監事，（2015.4～2016.3）

荒川 吉孝

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会，理事，（2015.4～2016.3）

吉永 進一

近畿地区英語プレゼンテーションコンテスト実行委員，（2015.4～2015.12）

小野 伸一郎

近畿地区高等専門学校体育連盟，競技種目（陸上競技）専門委員，（2015.4～2016.3）

小松 幸恵

嵯峨御流舞鶴司所，幹事，（2015.4～2016.3）

上杉 智子

舞鶴市吹奏楽連盟，理事，（2015.4～2016.3）

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会，理事，（2015.4～2016.3）

奥村 昌司

舞鶴市吹奏楽連盟，理事，（2015.4～2016.3）

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会，理事，（2015.4～2016.3）

西山 等

舞鶴市吹奏楽連盟，理事，（2015.4～2016.3）

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会，理事，（2015.4～2016.3）

山田耕一郎

平成27年度京都府高等学校体育連盟両丹支部バスケットボール部，役員，（2015.4.1～2016.3.31）

第46回全国高校選抜優勝大会京都府予選，役員，（2015.11.6～2015.11.8）

第26回近畿高等学校バスケットボール新人大会，役員，（2016.2.19～2016.2.21）

片山 英昭

全国高等専門学校プログラミングコンテスト委員会，ブロック委員，（2015.4～2016.3）

船木 英岳

舞鶴市テニス協会，理事，（2015.4～2016.3）

芦澤 恵太

京都府高等学校野球連盟，理事，（2015.4～2016.3）

井上 泰仁

高専プログラミングコンテスト委員会，専門委員，（2015.4～2016.3）

玉田 和也

全国高等専門学校デザインコンペティション実行委員会, 専門部会専門委員, (2015. 4～2016. 3)

徳永 泰伸

舞鶴市吹奏楽連盟, 理事, (2015. 4～2016. 3)

近畿地区高専吹奏楽部合同演奏会理事会, 理事, (2015. 4～2016. 3)

研 究 活 動

研究業績	1 1 2
校長	1 1 2
人文科学部門	1 1 3
自然科学部門	1 1 6
機械工学科	1 1 7
電気情報工学科	1 2 2
電子制御工学科	1 2 6
建設システム工学科	1 3 0
教育研究支援センター	1 3 5
学位取得状況	1 3 7
研究成果発表状況	1 3 7
外部研究費受入	1 3 8
科学研究費補助金	1 3 8
受託研究，共同研究	1 3 9
寄附金	1 4 0
学協会委員及び学会・研究会等の開催協力	1 4 2
教職員の活動状況	1 4 4

(注) 研究成果発表の分類については，以下のとおりとする。

1. 著書
2. 解説
3. 査読付論文
4. 国際会議
5. 学会発表
6. 特許
7. その他

校 長

齋藤 福栄

その他

効果的・効率的な学習環境を目指して 国際会議「Form Follows Learning」からの報告, 一般社団法人
文教施設協会 季刊文教施設, 60 号, pp65-68, (2015.11.30), 齋藤福栄

インクルーシブ教育システム構築に向けた学校施設に関する基礎的調査研究(報告書), 国立教育政策
研究所, 平成 26-27 プロジェクト研究報告書, (2016.3), 齋藤福栄, 磯山武司 他 15 名

人文科学部門

荒川 吉孝

その他

Sin and Providence in *The Winter's Tale*, 舞鶴工業高等専門学校紀要, No. 51, pp.43-54, (2016.3), 荒川吉孝

吉永 進一

著書

仏教国際ネットワークの源流, 三人社, pp.3-14, pp.63-109, pp.155-191, 全 232 頁 (2015.06) 吉永進一・中西直樹

国際会議

What's "new": The Creation and Impact of the Journal, New Buddhism (Shin Bukkyō), Published 1900-191, Conference "When Modernity Hits Hard: Redefining Buddhism in Meiji-Taisho-Early Shōwa Japan" 2015.04.17 主催カリフォルニア大バークレー校, 会場 Jodo Shinshu Center

Hypnotism enchanted: Kuwabara Toshiro and the beginning of Japanese "metaphysical" healing in Meiji Japan, Symposium "The Invention of Hypnotism and Yoga: America, Japan, Russia, and Beyond" 2015.04.20 カリフォルニア大学サンタバーバラ校

How the "Experience" was Experienced: The Debate over "Religious Experience" during Meiji 20s, Panel "The Buddha, the Dharma and Me: The Rise of the Individual in Modern Buddhism. Representations and Inventions", IAHR(国際宗教史学会) 2014.08.24 ドイツ, エアフルト大学

Discussant, Panel "Healing Practices and Modern Esoteric Currents between Japan and the U.S.", IAHR (国際宗教史学会) 2015.08.25, ドイツ, エアフルト大学

Mahayana lodge reconsidered, International Conference "Theosophy across boundaries" 2015.09.26, ドイツ, ハイデルベルグ大学

Taireidō: the Hub of Japanese Mind-Cure Healers in Taisho Era, International Workshop (ヤニス・ガイタニデス代読), International Workshop "Modernization, and Spiritual, Mental and Physical Practices: From Yoga to Reiki" 2015.12.13, 京都, 京都大学人文科学研究所

学会発表

神智学ネットワークと仏教—鈴木ピアトリス蔵書から見えるもの—, 2015.09.05, 日本宗教学会, 東京, 創価大学

その他

松ヶ岡文庫未整理資料について, 公益財団法人松ヶ岡文庫研究年報, 29 号, 61-81 頁, 2015 年, 吉永進一

近代日本における修養と身体文化, 2015.06.06, 発表, ミニシンポジウム「アジアの宗教における修養

の諸相」, 東京, 国際基督教大学

鈴木大拙夫妻の大乗ロジ再考, 2015.08.18, 発表, 研究会「神智学研究サマーセミナー」, 京都, 京都大学人文科学研究所

コメント, 2015.10.17, 「日本宗教史像の再構築」第12回研究会 ワークショップ「聖なるものとその複製」京都, 京都大学人文科学研究所

畑 恵里子

査読付論文

読む: 三島由紀夫原作, 行定勲監督 『春の雪』がもたらす『小倉百人一首』の効果, 日本文学, Vol.64-8, No.746, pp.70-74, (2015.8), 畑恵里子

その他

糸井文庫の浦島伝説と天女伝説, 舞鶴工業高等専門学校第40回情報科学センター講演会, 講師, 舞鶴工業高等専門学校, 舞鶴市, (2015.12.8)

糸井文庫から見える丹後伝説の享受史, 舞鶴工業高等専門学校紀要, No.51, (2016.3), 畑恵里子

児玉 圭司

著書

法学概論, 慶應義塾大学出版会, pp.111-146, (2015.4), 霞信彦, 原禎嗣, 神野潔, 児玉圭司, 三田奈穂, 高田久実

戦時体制と法学者 1931~1952, 国際書院, pp.317-329, (2016.3), 小野博司, 出口雄一, 松本尚子 他 18名

教養としての憲法入門, 弘文堂, pp.69-85, (2016.3), 神野潔 他 11名

学会発表

「人足寄場」をめぐる言説空間, 日本近代法史研究会第39回, (2015.8.1), 児玉圭司

丹後田辺藩における赦とその周辺—田辺藩裁判資料を用いて—, 法史学研究会第176回例会, (2016.1.29), 児玉圭司

その他

丹後田辺藩における赦の特色(二)—文化年間に生じた変化を中心として—, 舞鶴地方史研究, No.46, pp.3-12, (2015.4), 児玉圭司

明治期の監獄教誨と, これに関わった人々, 人権のひろば, No.106, pp.20-23, (2015.11), 児玉圭司

家庭学校の創設にいたる留岡幸助の軌跡, 人権のひろば, No.108, pp.18-21, (2016.3), 児玉圭司

松井 信義

査読付論文

関係詞いろいろ — *The Catcher in the Rye* から, 現代英語談話会論集, 第 11 号, pp.51-68, (2016.3), 松井信義

学会発表

文法の破格はどこまで許容されるのか? — *lie* と *lay* を巡って, 第 78 回現代英語談話会, 京都大学芝蘭会館, (2015.6), 松井信義

Simile について — *The Catcher in the Rye* を例に, 第 79 回現代英語談話会, 京都大学芝蘭会館, (2015.9), 松井信義

The Catcher in the Rye の Mr. Antolini は本当に *pervert* だったのか? — その言語表現から探る, 第 80 回現代英語談話会, 京都大学百周年時計台記念館, (2015.12), 松井信義

自然科学部門

上杉 智子

学会発表

物理チャレンジ 2015 報告 II : 第 2 チャレンジ理論問題, 日本物理学会 2015 年秋季大会, (2015.9.19), 荒船次郎, 伊東敏雄, 上杉智子, 植田毅, 桂井誠, 川村清, 佐貫平二, 杉山忠男, 鈴木亨, 竹中達二, 東辻浩夫, 波田野彰, 福田恵美子, 松澤通生, 三間園興, 北原和夫, 近藤泰洋

奥村 昌司

著書

LIBRARY 工学基礎&高専 TEXT 応用数学, 理数工学社, 全 303 頁, (2015.10), 監修者: 河東泰之, 編著者: 佐々木良勝, 鈴木香織, 竹縄知之, 執筆者: 奥村昌司, 他 10 名

LIBRARY 工学基礎&高専 TEXT 応用数学問題集, 理数工学社, 全 175 頁, (2015.10), 監修者: 河東泰之, 編著者: 佐々木良勝, 鈴木香織, 竹縄知之, 執筆者: 奥村昌司, 他 10 名

機械工学科

生水 雅之

学会発表

Ni+Zn めっきを施したステンレス鋼 SUS403 の回転曲げ疲労強度,日本機械学会関西学生会学生員卒業研究発表講演会講演前刷集, 2_9, (2016.3.10), 牧野太一, 上野美光, 生水雅之

超微細粒 DP 鋼の薄板曲げ疲労特性に関する研究,日本機械学会関西学生会学生員卒業研究発表講演会講演前刷集, 6_12, (2016.3.10), 山本雄大, 生水雅之

その他

超微細粒組織を有する二相鋼の創製とその疲労強度に関する研究, No.51, pp.1-5, 舞鶴高専紀要, (2016.3), 生水雅之

めっき処理されたセルフタッピンねじ表層部の特性に関する研究, (2016.2.26), 日東精工株式会社/舞鶴高専共同研究成果発表会, 牧野太一, 生水雅之.

西山 等

その他

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2015 報告,舞鶴高専情報科学センター年報, No.44, pp.51-54,(2016.3), 三好勝久, 新宮朋史, 迫田光太郎, 菅沼友樹, 森田健太, 福田京平, 西山等, 町田秀和

谷川 博哉

査読付論文

Thermal convection inside an oscillating cube analysed with proper orthogonal decomposition, Mechanical Engineering Journal, Vol. 2, No. 2, Paper No.15-00018, (2015.4), Keisuke TATUMOTO, Masaki NOBUHARA, Hirochika TANIGAWA, Katsuya HIRATA

On g-jitter effects on three-dimensional laminar thermal convection in low gravity, Mechanical Engineering Journal, Vol. 2, No. 5, Paper No.15-00268, (2015.10), Katsuya HIRATA, Keisuke TATUMOTO, Masaki NOBUHARA, Hirochika TANIGAWA

国際会議

PIV Measurement and Numerical Analysis of Diverse Flows between Co-Rotating Disks in Casing, The 13th Asian International Conference on Fluid Machinery, Paper No.AICFM13-020, (2015.9), Shouhei Tsugawa, Masato Arimitsu, Tsuyoshi Maeda, Takashi Watanabe, Hirochika Tanigawa, Katsuya Hirata

Analysis of Thermal Convection inside an Oscillating Cube using Proper Orthogonal Decomposition, 12th International Conference on Flow Dynamics, OS12-6, (2015.10), M. Nobuhara, K. Tatsumoto, H. Tanigawa, K. Hirata

Field Observation and Flow Analysis of a Flying Pipe, 12th International Conference on Flow Dynamics, OS12-10, (2015.10), T. Nakai, Y. Kida, T. Inoue, K. Hirata, H. Tanigawa

学会発表

ケーシング内の二円板間の流れの PIV 計測と数値解析, ターボ機械協会第 73 回総会講演会, (2015.5), 津川昇平, 有光政人, 前田毅, 谷川博哉, 渡辺崇, 平田勝哉

振動する立方体内熱対流の固有直交分解, 第 5 2 回日本伝熱シンポジウム, 講演番号 J114, (2015.6), 延原 正起, 立元 恵祐, 谷川 博哉, 平田 勝哉

実験と数値解析を用いた流れの可視化による単純なフルイディック発振器の発振機構, 可視化情報全国講演会 (京都 2015), 講演番号 A116, (2015.10), 梅村 一樹, 太田 裕之, 井上 達哉, 谷川 博哉, 平田 勝哉

基本的翼型の低レイノルズ数での空力特性と流れの可視化, 可視化情報全国講演会 (京都 2015), 講演番号 A114, (2015.10), 近藤 彰吾, 大西 一希, 谷川 博哉, 平田 勝哉

飛行パイプの屋外観測と流れ解析, 第 9 3 期日本機械学会流体工学門講演会, 講演番号 1402, (2015.11), 中井俊宏, 貴田洋輔, 谷川博哉, 井上達哉, 平田勝哉

100-1000 程度のレイノルズ数での翼形状について, 第 2 9 回数値流体力学シンポジウム, 講演番号 C06-4, (2015.12), 大西 一希, 近藤 彰吾, 谷川博哉, 平田 勝哉

基本的な三次元物体の付加質量と付加減衰の高速解法と実験, 日本機械学会関西支部 第 91 期定時総会講演会, 講演番号 504, (2016.3), 大西玄, 田中隆太, 下原秀基, 谷川博哉, 舟木治郎, 平田勝哉

その他

振動する立方体容器内の熱対流の固有直交分解, 同志社大学ハリス理化学研究報告 第 5 6 巻 第 2 号, pp. 80-94, (2015.7), 平田勝哉, 立元恵祐, 延原正起, 谷川博哉

単純なフルイディック発振器の渦度と流れ関数を用いた数値解析, 同志社大学ハリス理化学研究報告 第 5 6 巻 第 3 号, pp. 8-22, (2015.10), 平田勝哉, 矢吹直樹, 脇坂裕寿, 井上達哉, 梅村一樹, 谷川博哉

風レンズ風車における新たな集風体の実験的研究, 舞鶴工業高等専門学校紀要 第 51 号, pp.7-11, (2016.3), 谷川博哉, 岩越悠造, 菊田樹

豊田 香

その他

逆円錐台まわりの膜沸騰熱伝達の実験, 舞鶴工業高等専門学校紀要第 51 号, pp.13-17, (2016.3), 豊田 香

山田 耕一郎

その他

ねじの疲労試験, 日東精工株式会社研究開発課研究報告会, (2016.2.26) 樋口基紀, 山田耕一郎, 上野

美光

これまでの研究紹介 ―破壊，加工現象への粒子シミュレーション適用例―，兵庫県立大学シミュレーション工学研究科 第2回研究交流会，(2016.3.30) 山田耕一郎

小林 洋平

学会発表

学校設備を目的とした抗力型風車の研究，日本機械学会 第20回動力・エネルギー技術シンポジウム講演論文集，(2015.6.27) 大谷周平、小林洋平。

野毛 宏文

査読付論文

An investigation into the relationship between the formation of thermal cracked components and PM reduction during diesel combustion using water emulsified fuel, Journal of Thermal Science and Technology, The Japan Society of Mechanical Engineers, Hirofumi Noge, Yoshiyuki Kidoguchi, Wira Jazair Yahya, Yoko Imai, Kazuo Tajima, Vol.10, No.2, (2015), pp.1-11.

Durability studies of single cylinder diesel engine running on emulsion fuel, A.K. Hasannuddin, J.Y. Wira, S. Sarah, M.I. Ahmad, S.A. Aizam, M.A.B. Aiman, S. Watanabe, H. Noge, M.A. Azrin, Energy 94 (2016) 557-568.

国際会議

Determination of Characteristics for Real-Time Water Emulsion Fuel Supply System (RTES) Concept, Ahmad Muhsin Ithnin, Wira Jazair Yahya, Ahmad Muhsin Ithnin, Hirofumi Noge, Tsuyoshi Koga, Design Engineering in The Context of Asia, Asian Design Engineering Workshop, 2015 Hong Kong, pp.119-124.

学会発表

パーム酸油を燃焼用燃料として有効利用するための基礎研究，日本機械学会 関西学生会平成27年度学生員卒業研究発表講演会，7P14，(2016.3)，近藤圭浩，野毛宏文

廃エンジンオイルの再利用を目的としたバーナ設計製作ならびに燃焼特性に関する研究，日本機械学会 関西学生会平成27年度学生員卒業研究発表講演会，8P25，(2016.3)，善積亮太，式田一貴，野毛宏文

室巻 孝郎

査読付論文

分散型LED照明システムの照度パターン制御実験，設計工学，Vol. 51, No. 2, pp. 118-126, (2016.2)，室巻孝郎，南裕樹，徳永泰伸

国際会議

Experimental Evaluation of Transfer Support Effect of Wheelchair with Seat Face Lifting Mechanism, Proceedings of the 12th International Conference on Ubiquitous Healthcare (u-Healthcare2015), P2-16, pp.131, (2015.12), Atsushi Suda, Takuya Seto, Rishu Tanaka, Takao

Muromaki, and Yuki Kagawa

学会発表

画像処理技術を利用する荷物搬送システムの開発, 第59回システム制御情報学会研究発表講演会(SCI'15), 145-1, (2015.5), 小畑智輝, 多田幸生, 室巻孝郎

分散型ロボティック照明の配光モデルに関する一考察, 照明学会第48回全国大会, 1001, (2015.8), 室巻孝郎, 徳永泰伸, 南裕樹

メカトロニクス教材の開発ークレーンゲーム機の製作を通じてー, 日本設計工学会 2015 年度関西支部研究発表講演会, A24, pp. 23-24, (2015.11), 松本光, 須田敦, 辻優希, 室巻孝郎

移乗補助機能付き車いすの負担軽減に関する実験的評価, 日本設計工学会 2015 年度関西支部研究発表講演会, A33, pp. 29-30, (2015.11), 瀬戸拓也, 須田敦, 田中吏修, 室巻孝郎, 香川有希

ロボティック照明システムの照射角度制御, 第16回システムインテグレーション部門講演会(SI2015), 1C4-1, (2015.12), 南裕樹, 室巻孝郎, 徳永泰伸

ロボティック照明システムの配光パターン制御実験, 日本機械学会 関西支部第91期定時総会講演会, 408, (2016.3), 室巻孝郎, 南裕樹, 徳永泰伸

その他

自動荷物搬送システムにおける荷物受け渡しシステムの開発, 舞鶴工業高等専門学校紀要第51号, pp. 19-25, (2016.3), 室巻孝郎, 小畑智輝, 鈴木結子, 森田暁人, 多田幸生

須田 敦

解説

設計工学(須田)研究室, 公益社団法人日本設計工学会誌設計工学, Vol.51, No.2, pp.104, (2016.02), 須田敦.

国際会議

Experimental Evaluation of Transfer Support Effect of Wheelchair with Seat Face Lifting Mechanism, Proceedings of the 12th International Conference on Ubiquitous Healthcare (u-Healthcare2015), P2-16, pp.131, (2015.12), Atsushi Suda, Takuya Seto, Rishu Tanaka, Takao Muromaki, and Yuki Kagawa.

Modeling and Simulation of a Simple Cart with Low-Impact Casters, Proceedings of The 3rd International conference on Control, Mechatronics and Automation (ICCMA 2015), BC014, (2015.12), Masaharu Tagami, Kiyoshi Ioi and Atsushi Suda.

学会発表

メカトロニクス教材の開発ークレーンゲーム機の製作を通じてー, 公益社団法人日本設計工学会 2015 年度関西支部研究発表講演会, A24, pp.23-24, (2015.11), 松本光, 須田敦, 辻優希, 室巻孝郎.

移乗補助機能付き車いすの負担軽減に関する実験的評価, 公益社団法人日本設計工学会 2015 年度関西支部研究発表講演会, A33, pp.29-30, (2015.11), 瀬戸拓也, 須田敦, 田中吏修, 室巻孝郎, 香川有希.

その他

モノづくり企業との産学連携の実例紹介，平成 27 年度近畿地区 7 高専産学官マッチングフェア，7，(2015.09.18)，須田敦.

モノづくり企業との産学連携の実例紹介，舞鶴高専地域テクノアカデミア企業見学会・講演会，2，(2015.10)，須田敦.

電気情報工学科

新池 一弘

査読付論文

A Method Based on a Genetic Algorithm for Classroom Seating Arrangements, SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration, Accept Date 2015-02-02, Kazuhiro Shin-Ike and Hitoshi IIMA

国際会議

Genetic Algorithms for Student Grouping Problems, Proceedings of IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics, pp.2902-2907, Oct. 9-12, 2015, Hitoshi IIMA, Kazuhiro Shin-Ike.

学会発表

反転授業教材の開発と実践, 第40回教育システム情報学会全国大会講演会論文集, PP.143-144, 2015年9月1日～3日, 新池一弘

平地 克也

解説

新・回路レベルの EMC 設計：電力変換装置の EMI 対策技術 ソフトスイッチングの基礎, 月刊 EMC, No.330, pp.116-123, (2015.10), 平地克也

学会発表

LLC 型ソフトスイッチング方式の動作解析, パワーエレクトロニクス学会誌, Vol.40, p.220, (2015.4), 浦山大, 平地克也

フルブリッジ型双方向 DC/DC コンバータの新しい制御方式の研究, パワーエレクトロニクス学会誌, Vol.40, p.187, (2015.4), 小森耕太, 平地克也

LLC コンバータのソフトスイッチング成立条件について, パワーエレクトロニクス学会定例研究会, JIPE-41-03, (2015.4), 浦山大, 平地克也

フルブリッジ型双方向 DC/DC コンバータのサージ電圧抑制方法, 電気学会家電民生研究会, HCA-15-019, pp.43-48, 2015.5, 小森耕太, 平地克也

フルブリッジ型双方向 DC/DC コンバータの 2 次側短絡によるサージ電圧抑制, パワーエレクトロニクス学会定例研究会, JIPE-41-20, 2015.10, 小森耕太, 平地克也

金山 光一

学会発表

舞鶴市内避難場所指定地間のデジタル簡易無線通信実験, 近畿地区 7 高専連携シンポジウム, No.10, (2016.1), 兼田佳典, 富田将志, 金山光一

片山 英昭**国際会議**

Education of Practical Engineering Skills aiming for Solving Real Problems related to Local Area, Proc. Of the IEEE International Conference on Teaching, Assessment, and Learning for Engineering 2015, pp.138-143, (2015.12), Hideaki Katayama, Tomoki Takezawa, Yutaka Tange.

Collection and Transmission System of Radiation Information With a Portable Radiation Detector, Proc. Of The 4th IIAE International Conference on Industrial Application Engineering 2016, pp. 89-94, (2016.3), Takanori Nagatani, Hideaki Katayama and Shigeyasu Nakagawa.

学会発表

歩行者用信号機の発光部の縦横比を用いた発光色の認識, 日本高専学会第 21 回年会講演会論文集, p.212, (2015.8), 森健太郎, 片山英昭

小規模農家向け農場観測制御システムの開発, 第 21 回高専シンポジウム講演要旨集, Pb-060, (2016.1), 辰野渉, 片山英昭

竹澤 智樹**国際会議**

Education of Practical Engineering Skills aiming for Solving Real Problems related to Local Area, IEEE International Conference on Teaching, Assessment and Learning for Engineering 2015, Page 138-143, (2015.12), Hideaki Katayama, Tomoki Takezawa, Yutaka Tange

ADHESION OF OXIDE LAYER TO METAL-DOPED ALUMINUM HYDRIDE SURFACE: DENSITY FUNCTIONAL CALCULATIONS, The 3rd International Conference of Global Network for Innovative Technology 2016, 3rd IGNITE-2016 : Advanced Materials for Innovative Technologies, Page 41, OR21, (2016.1), Tomoki Takezawa, Junichi Itoi, Takashi Kannan

船木 英岳**学会発表**

AR 技術を用いた視覚的指示を取り入れたソフトウェアの開発, 教育システム情報学会第 40 回全国大会, pp. 67-68, (2015.9), 船木英岳, 大中優輝, 古林達哉, 木下博美, 丹下裕

高専と特別支援学校の地域連携による技術教育, 平成 27 年度工学教育研究講演会講演論文集, pp. 582-583, (2015.9), 丹下裕, 船木英岳, 木下博美, 福井繁雄, 古林達哉, 金森克浩

内海 淳志**学会発表**

再生可能エネルギー教育のための太陽電池教材の検討, 日本高専学会第 21 回年会講演論文集, pp. 143-144, (2015.8), 藤田智常, 多田彬史, 内海淳志

地域連携における LED イルミネーション事業の実施, 日本高専学会第 21 回年会講演論文集, pp. 217-218, (2015.8), 内海淳志, 古林達哉, 芦澤恵太, 中川重康

学生実験用ショットキーバリアダイオードの試作, 第 21 回高専シンポジウム in 香川 講演要旨集 Pb-008, (2016.1), 多田彬史, 藤田智常, 内海淳志

シリコン太陽電池教材の開発, 第 63 回応用物理学会春季学術講演会予稿集, 21a-P2-13, (2016.3), 藤田智常, 多田彬史, 内海淳志

芦澤 恵太

学会発表

直流成分に限定された DHCT を用いた画像圧縮, 第 43 回数値解析シンポジウム(2015.6), 原田卓弥, 河内涼, 芦澤恵太

その他

ブロック変換に基づく画像非可逆圧縮におけるウェーブレット変換, RIMS 共同研究「ウェーブレット解析と信号処理」(60 分講演), 京大数理解析研究所 (2015.11.10)

丹下 裕

国際会議

Education of Practical Engineering Skills aiming for Solving Real Problems related to Local Area, IEEE International Conference on Teaching, Assessment and Learning for Engineering 2015, pp. 138-143, H. Katayama, T. Takezawa, Y.Tange

Development of the Obstacle Detection System Combining Orientation Sensor of Smartphone and Distance Sensor, 37th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, pp.6696-6699, (2015.8), Y.Tange, S. Takeno, J. Hori

学会発表

空洞共振器を用いた温熱治療装置の可能性, 日本ハイパーサーミア学会第 32 回大会, p.78, (2015.9), 丹下裕, 金井靖, 折田政寛, 岡本芳晴, 中村誠司

高専と特別支援学校の地域連携による技術教育, 平成 27 年度工学教育研究講演会講演論文集, pp. 582-583, (2015.9), 丹下裕, 舩木英岳, 木下博美, 福井繁雄, 古林達哉, 金森克浩

AR 技術を用いた視覚的指示を取り入れたソフトウェアの開発, 教育システム情報学会第 40 回全国大会, pp. 67-68, (2015.9), 舩木英岳, 大中優輝, 古林達哉, 木下博美, 丹下裕

視覚障害者の雇用拡大を目指した就労支援ツールの開発, 第 24 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会, p.64, (2015.6), 丹下裕, 吉元裕真

井上 泰仁

国際会議

Development of the Programming Contest Competition Section "Reach a Zenith of Stone Paving", the 18th International PSE (Problem Solving Environment) Workshop, (2015.9), Takayuki

Teramoto, Koji Obokata, Yosinobu Matsuno, Hiroaki Goto, Yasuhito Inoue, Kazuhiko Nagao and Shigeo Kawata

その他

Blackboard Learn+の利用方法, 舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報, No.44, pp. 55-58, (2016.3), 井上泰仁

Office365 の利用方法, 舞鶴工業高等専門学校情報科学センター年報, No.44, pp. 59-60, (2016.3), 井上泰仁

電子制御工学科

金森 満

国際会議

Finite-gain L2 Stability for Position/Force Control of Robot Manipulators with Constraint Uncertainties, Proceedings of the 20th International Conference on Methods and Models in Automation & Robotics, pp.1104, (2015. 8), Mitsuru Kanamori and Keigo Iwagami.

野間 正泰

学会発表

ジャーナル軸受内キャビティ流れとテラー・クエット流れの相互干渉, トライボロジー会議 2015 春 姫路予稿集, pp.592~593, (2015.5), 郷橋友之, 野間正泰

奥村 幸彦

解説

触媒担持によるバイオマスチャーの低温迅速ガス化, スマートプロセス学会誌, 5 巻, 2 号, P.108-115, (2016.3), 奥村 幸彦

査読付論文

バイオマスガス燃料使用の噴流拡散火炎に対するコンサーブド・スカラ・アプローチモデルの適用性に関する一検討, スマートプロセス学会誌, 5 巻, 2 号, pp.116-121, (2016.3), 奥村 幸彦

国際会議

A high-yield method for producing functional coal tar for use in advanced applications”, The 10th Asia Pacific Conference on Sustainable Energy & Environmental Technologies (University of Seoul, Korea), Presentation No. APCSEET-36, Peer reviewed proceedings [USB], pp.59-62, (2015.7), Yukihiro Okumura

Effect of metal support on gasification behavior of grass bio-char, The 10th Asia Pacific Conference on Sustainable Energy & Environmental Technologies (University of Seoul, Korea), Presentation No. APCSEET-43, Peer reviewed proceedings [USB], pp.63-66, (2015.7), Yukihiro Okumura, Toshiaki Hanaoka

学会発表

微粉炭コークスの層状燃焼場における PM 生成, 第 24 回日本エネルギー学会大会講演論文集, No.1-2-1, pp.8-9, (2015.8), 奥村 幸彦, 朝日 貴哉, 國本 祐介

触媒含浸断面診断によるバイオマスチャーのガス化速度向上機構の一考察, 第 24 回日本エネルギー学会大会講演論文集, No.3-2-1, pp.72-73, (2015.8), 奥村 幸彦, 中川 堯, 花岡 寿明

微粉炭コークスの層状燃焼場における PM 生成とその抑制法, 第 52 回石炭科学会議論文集 (日本エネルギー学会), No.27, pp.54-55, (2015.10), 奥村 幸彦

詳細化学反応の燃焼計算に向けたバイオマスからの一次揮発タール成分の分析, 第 53 回燃焼シンポジウム講演論文集 (日本燃焼学会), 講演番号 No.B231, pp.230-231, (2015.11), 奥村 幸彦

微粉コークス燃焼からの PM_{2.5} 生成とその抑制法 ―焼結鉍製造に伴う PM 生成―, 第 53 回燃焼シンポジウム講演論文集 (日本燃焼学会), 講演番号 No.E211, pp.298-299, (2015.11), 奥村 幸彦, 朝日 貴哉

川田 昌克

著書

MATLAB/Simulink と実機で学ぶ制御工学 ―PID 制御から現代制御まで― (韓国語翻訳版), 教保文庫 (Kyobo Book Centre POD service), 全 300 頁, (2015.11), 川田昌克著, Woo-Jin Choi 訳

解説

LEGO MINDSTORMS を利用した回転型倒立振子の開発 (韓国語翻訳版), 自動化技術 (Automation Systems), Vol.31, No.8, pp.63-67 (2015.8), 川田昌克

学会発表

非線形性を考慮した 2 軸ヘリコプタのモデリングと実機実験による検証, 第 59 回システム制御情報学会研究発表講演会, 224-1 (2015.5), 吉川友真, 川田昌克

差分進化に基づくアクロバットの振り上げ安定化制御, 第 58 回自動制御連合講演会, 1J2-3 (2015.11), 青谷拓海, 川田昌克

清原 修二

査読付論文

Fabrication of Diamond-Like Carbon Emitter Patterns by Room-Temperature Curing Nanoimprint Lithography With PDMS Molds Using Polysiloxane, MRS Advances, Vol.1, pp.1075-1080, (2016.1), S. Kiyohara, S. Yoshida, I. Ishikawa, T. Harigai, H. Takikawa, M. Watanabe, Y. Sugiyama, Y. Omata, Y. Kurashima

Fabrication of Diamond-Like Carbon Microgears by Room-Temperature Curing Nanoimprint Lithography Using Ladder-Type Hydrogen Silsesquioxane, MRS Advances, Vol.1, pp.1119-1124, (2016.2), S. Kiyohara, Y. Shimizu, I. Ishikawa, T. Harigai, H. Takikawa, M. Watanabe, Y. Sugiyama, Y. Omata, Y. Kurashima

国際会議

Enhanced Power Efficiency of Inverted Organic Light Emitting Diode using Photoconductive Layer, The 5th International Symposium on Organic and Inorganic Electronic Materials and Related Nanotechnologies, p.60 (2015.6), Ippei Ishikawa, Takuya Matsumoto and Shuji Kiyohara

FABRICATION OF DIAMOND-LIKE CARBON-BASED MICRO/NANO DEVICE USING ROOM-TEMPERATURE NANOIMPRINT BY INDUSTRY-UNIVERSITY COLLABORATIVE RESEARCH, The 9th International Symposium on Advances in Technology Education, pp.548-551. (2015.9), Shuji Kiyohara, Ippei Ishikawa, Yuto Shimizu, Shogo Yoshida, Toru Harigai, Hirofumi Takikawa, Masahiko Watanabe, Yoshinari Sugiyama, Yukiko Omata and Yuichi Kurashima

学会発表

凹形状ドット PDMS モールド室温硬化ナノインプリントによる DLC エミッタパターンの形成, 2015 年度精密工学会関西地方定期学術講演会講演論文集, pp.70-71. (2015.6), 吉田捷吾, 清原修二, 石川一平, 針谷達, 滝川浩史, 渡邊雅彦, 杉山嘉也, 小俣有紀子, 倉島優一

ポリジメチルシロキサンを転写材料として用いた室温硬化ナノインプリントによる DLC ピットパターンの形成, 2015 年度精密工学会関西地方定期学術講演会講演論文集, pp.72-73. (2015.6), 清水友人, 清原修二, 石川一平, 針谷達, 滝川浩史, 渡邊雅彦, 杉山嘉也, 小俣有紀子, 倉島優一

その他

ダイヤモンドライクカーボン膜の特性評価と応用開発, 平成 27 年度分高専連携教育研究プロジェクト進捗状況報告会, p.65. (2015.12) 清原修二, 石川一平, 小谷裕太, 清水友人, 吉田捷吾, 針谷達, 滝川浩史, 渡邊雅彦, 杉山嘉也

THE 高専@SEMICON Japan 2015 出展報告, SEAJ Journal, No.152, pp.46-50. (2016.1), 清原修二

伊藤 稔**その他**

Firefly Algorithm の性能評価, 舞鶴工業高等専門学校紀要, No.51, pp.27-30.(2016.3), 伊藤稔

石川 一平**査読付論文**

Fabrication of Diamond-Like Carbon Emitter Patterns by Room-Temperature Curing Nanoimprint Lithography With PDMS Molds Using Polysiloxane, MRS Advances, Vol.1, pp.1075-1080, (2016.1), S. Kiyohara, S. Yoshida, I. Ishikawa, T. Harigai, H. Takikawa, M. Watanabe, Y. Sugiyama, Y. Omata, Y. Kurashima

Fabrication of Diamond-Like Carbon Microgears by Room-Temperature Curing Nanoimprint Lithography Using Ladder-Type Hydrogen Silsesquioxane, MRS Advances, Vol.1, pp.1119-1124, (2016.2), S. Kiyohara, Y. Shimizu, I. Ishikawa, T. Harigai, H. Takikawa, M. Watanabe, Y. Sugiyama, Y. Omata, Y. Kurashima

国際会議

Enhanced Power Efficiency of Inverted Organic Light Emitting Diode using Photoconductive Layer, The 5th International Symposium on Organic and Inorganic Electronic Materials and Related Nanotechnologies, p.60 (2015.6), Ippei Ishikawa, Takuya Matsumoto and Shuji Kiyohara

FABRICATION OF DIAMOND-LIKE CARBON-BASED MICRO/NANO DEVICE USING ROOM-TEMPERATURE NANOIMPRINT BY INDUSTRY-UNIVERSITY COLLABORATIVE RESEARCH, The 9th International Symposium on Advances in Technology Education, pp.548-551. (2015.9), Shuji Kiyohara, Ippei Ishikawa, Yuto Shimizu, Shogo Yoshida, Toru Harigai, Hirofumi Takikawa, Masahiko Watanabe, Yoshinari Sugiyama, Yukiko Omata and Yuichi Kurashima

学会発表

凹形状ドット PDMS モールド室温硬化ナノインプリントによる DLC エミッタパターンの形成, 2015

年度精密工学会関西地方定期学術講演会講演論文集, pp.70-71. (2015.6), 吉田捷吾, 清原修二, 石川一平, 針谷達, 滝川浩史, 渡邊雅彦, 杉山嘉也, 小俣有紀子, 倉島優一

ポリジメチルシロキサンを転写材料として用いた室温硬化ナノインプリントによる DLC ピットパターンの形成, 2015 年度精密工学会関西地方定期学術講演会講演論文集, pp.72-73. (2015.6), 清水友人, 清原修二, 石川一平, 針谷達, 滝川浩史, 渡邊雅彦, 杉山嘉也, 小俣有紀子, 倉島優一

その他

ダイヤモンドライクカーボン膜の特性評価と応用開発, 平成 27 年度分高専連携教育研究プロジェクト進捗状況報告会, p.65. (2015.12) 清原修二, 石川一平, 小谷裕太, 清水友人, 吉田捷吾, 針谷達, 滝川浩史, 渡邊雅彦, 杉山嘉也

高木 太郎

査読付論文

Adaptive Output Feedback based Output Tracking Control for a Time-Delay System with a PFC, Asian Journal of Control, Vol.17, No.4, pp.1148-1162, (2015.7), Ikuro Mizumoto, Taro Takagi

Performance-Driven Adaptive Output Feedback Control with Direct Design of PFC, Journal of Robotics and Mechatronics, Vol.27, No.5, pp.461-468, (2015.10), Taro Takagi, Ikuro Mizumoto, Junpei Tsunematsu

Adaptive output feedback Control with adaptive PFC and its stability analysis, ICIC Express Letters, Part B: Applications, Vol.6, No.12, pp.3189-3195, (2015.12), Taro Takagi and Ikuro Mizumoto

国際会議

Stable Adaptive Predictive Control System Design via Adaptive Output Predictor for Multi-rate Sampled Systems, Preprints of the 9th IFAC Symposium on Advanced Control of Chemical Processes, pp.1040-1045, (2015.6), Ikuro Mizumoto, Masataka Ikejiri, Taro Takagi

Adaptive output feedback control with adaptive PFC and its stability analysis, Proc. of ICICIC2015, pp. 241, (2015.8), Taro Takagi, Ikuro Mizumoto

Output Tracking Control of Discrete-Time Nonlinear Systems by Output Feedback Passivity Based Adaptive PID, Proc. of 54th IEEE Conference on Decision and Control, pp.6954-6959, (2015.12), Ikuro Mizumoto, Taro Takagi

学会発表

適応 PFC を用いた適応出力フィードバック制御, 電気学会研究会資料 CT2015(85-94), pp.25-28, (2015.8), 高木太郎, 水本郁朗

建設システム工学科

高谷 富也

査読付論文

高精度傾斜センサを用いた振動測定装置の試作, 土木学会論文集 A1 (構造・地震工学), Vol.71, No.4, pp. I_995-I_1003, (2015.9), 西川隼人, 高谷富也, 釣健孝, 福井繁雄, 宮島昌克

Seismic Collapsing Behaviour of Three-story Wooden House under Strong Earthquake Ground Motion, Journal of Civil Engineering and Construction (ISSN: 2051-7769, eISSN: 2051-7777), (2015.12), Tomiya Takatani and Hayato Nishikawa

Seismic Collapsing Process Analysis of One-story Thatched Roof Wooden Structure under Strong Earthquake Ground Motion, Journal of Civil Engineering and Construction (ISSN: 2051-7769, eISSN: 2051-7777), (2015.12), Tomiya Takatani and Hayato Nishikawa

国際会議

Seismic Damage Prediction of Wooden House Using Predominant Period of Ground, Proceedings of the 2015 World Congress on Advances in Structural Engineering and Mechanics (ASEM15), Incheon, Korea, (2015.8), Hayato Nishikawa and Tomiya Takatani

Seismic Retrofit Performance of One-story Wooden Structure Using 3-D Collapsing Analysis, Proceedings of the 2015 World Congress on Advances in Structural Engineering and Mechanics (ASEM15), Incheon, Korea, (2015.8), Tomiya Takatani and Hayato Nishikawa

Seismic Collapsing Analysis of One-story Wooden Kindergarten Structure against Strong Earthquake Ground Motion, Proceedings of the 8th International Conference in Structural Engineering and Construction (ISEC-8), pp.313-318, Sydney, Australia, (2015.11), Tomiya Takatani and Hayato Nishikawa

Estimation of Predominant Period of Ground Surface Layer Using the Inverse Distance Weighting Method, Proceedings of the 8th International Conference in Structural Engineering and Construction (ISEC-8), pp.537-542, Sydney, Australia, (2015.11), Hayato Nishikawa and Tomiya Takatani

Seismic Collapsing Behaviour of One-story Wooden Structure with Thatched Roof under Strong Earthquake Ground Motion, Proceedings of the Second International Conference on Performance-based and Life-cycle Structural Engineering (PLSE 2015), pp.348-357, Brisbane, Australia, (2015.12), Tomiya Takatani and Hayato Nishikawa

その他

起振器を用いた木造古民家住宅の耐震性評価について, 舞鶴高専紀要, 第 51 号, pp. 31-41, (2016.3), 高谷富也, 西川隼人, 西村良平

景観形成地区における木造住宅群の火災延焼シミュレーションについて, 舞鶴高専情報科学センター年報, 第 44 号, pp. 1-21, (2016.3), 村中 大樹, 高谷 富也

茅葺屋根を有する木造古民家の地震時倒壊解析について, 舞鶴高専情報科学センター年報, 第 44 号, pp. 23-42, (2016.3), 平野竜一朗, 高谷 富也

三輪 浩

国際会議

Flow resistance and bed-form deformation in uniform and non-uniform sediment beds with dunes, Workshop on Modeling Mixed-Sediment River Morphodynamics, Delft University of Technology, (2015.5), Hiroshi Miwa and Atsuyuki Daido

Research on the dynamic state of river-mouth bar under flood conditions in the Yuragawa River, E-Proceedings of the 36th IAHR World Congress, IAHR, (2015.6), Takaharu Ochi, Keiichi Kanda, Hiroshi Miwa and Fuminori Nakamura

Effects of fine sand on incipient motion of coarse gravel in a gravel-bed river, The 8th International Gravel Bed Rivers Workshop (GBR8), (2015.9), Hiroshi Miwa and Gary Parker

学会発表

由良川河口砂州の動態観測とトレンチによる砂州の侵食促進効果, 平成 27 年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集(CD-ROM), II-36, (2015.5), 林 京介, 三輪 浩, 越智尊晴, 田中達也, 神田佳一

トレンチ掘削による河口砂州の侵食促進効果に関する研究, 第 70 回土木学会年次学術講演会講演概要集 II (CD-ROM), pp. 113-114, (2015.9), 越智尊晴, 田中達也, 林 京介, 神田佳一, 三輪 浩

洪水による由良川河口砂州の変形とその制御, 第 21 回高専シンポジウム講演要旨集, C-03, (2016.1), 越智尊晴, 神田佳一, 三輪 浩, 川口はな

その他

2014 年 8 月豪雨による京都水害調査報告(由良川沿川, 福知山), 土木学会水工学委員会, 兵庫・京都・岐阜 水害・土砂災害調査 最終報告書, (2015.7), 三輪 浩, 神田佳一, 竹林洋史

洪水時における由良川河口砂州の動態制御に関する研究, 第 48 回(平成 27 年度)研究発表会論集, (一社)建設コンサルタンツ協会近畿支部, pp. 247-248, (2015.9), 越智尊晴, 神田佳一, 三輪 浩

洪水による由良川河口砂州の変形特性とその制御に関する研究, 産学官技術フォーラム'15 講演論文集, 神戸高専地域協働研究センター, pp. 17-18, (2015.11), 越智尊晴, 神田佳一, 三輪 浩, 川口はな

玉田 和也

学会発表

PC 舟形橋梁の振動計測と静たわみ実橋実験, 土木学会第 70 回年次学術講演会, I-347, pp. 693-694, 玉田和也, 北山明生, 楠村幸正

はす川橋の遠隔モニタリングに向けた研究, 土木学会第 70 回年次学術講演会, I-044, pp. 87-88, 井尻和秀, 玉田和也, 宮下剛, 森山守, 石川裕一, 有馬直秀

飛川橋の損傷付与実験～橋の健全度診断に向けて～, 土木学会第 70 回年次学術講演会, I-043, pp. 85-86, 仮谷允昌, 玉田和也, 宮下剛

尾上 亮介

学会発表

古民家改修における平面計画の分類に関する研究, 第 21 回高専シンポジウム in 香川, (2016.1), 柳澤大樹, 尾上亮介

その他

「商店街巡礼」, 舞鶴市民新聞連載 (2010.1～), 尾上亮介

舞鶴市子供支援施設あそびあむ, 近代建築 Vol. 69 2015.10, 尾上亮介 (尾上研究室)

加登 文学

査読付論文

断層の種類, 及び, 地震動の放射特性とモールの応力円, 地盤工学ジャーナル, Vol. 10(2015), No. 4, pp. 611-621, 2015.12., 森尾敏, 加登文学, 藤井照久

学会発表

防災教育のための小型斜面崩壊装置の製作, 第 21 回高専シンポジウム in 香川講演要旨集, Pa-135, (2016.1.), 齋藤翔馬, 加登文学

徳永 泰伸

査読付論文

分散型 LED 照明システムの照度パターン制御実験, 設計工学, Vol. 51, No. 2, pp. 118-126, (2016.2), 室巻孝郎, 南裕樹, 徳永泰伸

学会発表

分散型ロボティック照明の配光モデルに関する一考察, 照明学会第 48 回全国大会, 1001, (2015.8), 室巻孝郎, 徳永泰伸, 南裕樹

モノラル再生時における映像が船舶航行音の評価に与える影響, 電気関係学会東北支部連合大会, 2H14, (2015.8), 細野優, 武藤憲司, 徳永泰伸

ホール客席部における視覚情報と予想される響きの長さの関係, 日本建築学会 2015 年度大会, pp. 259-260, (2015.9), 奥家大智, 徳永泰伸, 寺島貴根

室内の視聴覚刺激に対する主観印象と違和感の影響について その 1, 日本建築学会 2015 年度大会, pp. 91-92, (2015.9), 川合正浩, 石川あゆみ, 徳永泰伸, 寺島貴根

室内の視聴覚刺激に対する主観印象と違和感の影響について その 2, 日本建築学会 2015 年度大会, pp. 93-94, (2015.9), 石川あゆみ, 川合正浩, 徳永泰伸, 寺島貴根

映像と音の提示順による船舶通過音の主観評価の差, 日本音響学会秋季研究発表会, 2-P-18, pp. 721-722, (2015.9), 細野優, 武藤憲司, 徳永泰伸

ホール客席部における視覚情報が聴感印象に及ぼす影響, 日本音響学会建築音響研究会資料, AA2015-50, (2015.12), 徳永泰伸, 奥家大智, 寺島貴根

ロボティック照明システムの照射角度制御, 第16回システムインテグレーション部門講演会(SI2015), 1C4-1, (2015.12), 南裕樹, 室巻孝郎, 徳永泰伸

ロボティック照明システムの配光パターン制御実験, 日本機械学会 関西支部第91期定時総会講演会, 408, (2016.3), 室巻孝郎, 南裕樹, 徳永泰伸

ステレオ再生時における映像が船舶航行騒音の評価に与える影響, 日本音響学会春季研究発表会, 2-Q-18, pp.499-500, (2016.3), 細野優, 武藤憲司, 徳永泰伸

ステレオ視聴時に刺激提示順が船舶騒音の主観評価に与える影響, 電子情報通信学会総合大会, A-5-11, p67, (2016.3), 細野優, 武藤憲司, 徳永泰伸

渡部 昌弘

査読付論文

伝統木造建築の繊維系結束構法の構法的分類, 木質構造研究会機関誌 Journal of Timber Engineering, 128, Vol. 28, No.6, pp.184-193, (2015.12), 渡部昌弘, 藤田香織

学会発表

近畿地方の近代組積造建築物の振動性状に関する研究, 2015年度日本建築学会大会(関東)学術講演会学術講演梗概集 2015(構造II), pp.901-902, (2015.9), 西山由, 渡部昌弘

毛利 聡

査読付論文

Visualization of Injection Behavior During Crack Repair in Concrete Structures, International Conference on the Regeneration and Conservation of Concrete Structures, R1-22, pp.1-10 (CD-ROM), (2015.6), Satoshi Mohri, Taka-aki Ohkubo

ひび割れ補修材の注入性状に及ぼす施工要因の検討, コンクリート工学年次論文集, Vol.37, No.1, pp.1525-1530, (2015.7), 毛利聡, 大久保孝昭

外壁複合改修構工法における既存躯体貫通ひび割れ部のアンカーピンによる部分補修の効果, 日本建築学会技術報告集, 第21巻, 第49号, pp.907-912, (2015.10), 堀田和弘, 大久保孝昭, 毛利聡, 李亮, 横田裕司

粘着型防水紙の活用による木造ラスモルタルの外壁の品質向上の検討, 日本建築学会構造系論文集, 第81巻, 第721号, pp.415-423, (2016.3), 毛利聡, 大久保孝昭, 李亮, 高橋芳徳, 根元央希, 流田靖博

学会発表

左官モルタルの接着一体性評価試験における試験体長さの影響の評価，日本建築学会大会学術講演梗概集，pp.809-810，(2015.9)，毛利聡，小林光佑，大久保孝昭，寺本篤史

教育研究支援センター

福井 繁雄

その他

公開講座を通じた舞鶴高専技術職員による科学教育, 平成 27 年度日本工学教育協会年次大会, (2015.9.2), 福井繁雄, 畑亮次, 石井貴弘, 西川隼人, 西村良平, 釣健孝

能勢 嘉朗

その他

シングルボードコンピュータを利用した情報科学センター運用環境改善の一例 -サーバーラームの温度監視-, 平成 27 年度西日本地域高等専門学校技術職員特別研修会発表概要集, pp.33-34, (2015.8), 能勢嘉朗

機器運用・セキュリティ部門報告, 舞鶴高専情報科学センター年報, No.44, pp.67-68, (2016.3), 伊藤稔, 能勢嘉朗

平成 27 年度国立高等専門学校機構情報担当者研修会参加報告, 舞鶴高専情報科学センター年報, No.44, pp.69-70, (2016.3), 能勢嘉朗, 野間正泰, 片山英昭

平成 27 年度近畿地区高等専門学校情報処理教育連絡協議会報告, 舞鶴高専情報科学センター年報, No.44, pp.71-72, (2016.3), 能勢嘉朗, 野間正泰

西川 隼人

査読付論文

高精度傾斜センサを用いた振動測定装置の試作, 土木学会論文集 A1 (構造・地震工学), Vol.71, No.4, pp.I_995-I_1003, (2015.9), 西川隼人, 高谷富也, 釣健孝, 福井繁雄, 宮島昌克

合成したサイト増幅特性による地盤増幅度評価式の検討, 日本地震工学会論文集, 第 15 巻, 7 号(特集号), pp.7_180-7_193, (2015.12), 西川隼人, 宮島昌克

学会発表

地震動 H/V スペクトル比を逆算して地盤の諸定数を同定する方法に関する基礎的検討, 2015 年度日本建築学会大会学術講演梗概集, pp.59-60, (2015.9), 安井譲, 西川隼人, 前田寿朗

鳥取県内の地震観測点におけるサイト特性の評価, 物理探査学会第 133 回学術講演会講演論文集, pp.77-80, (2015.9), 西川隼人, 野口竜也, 香川敬生, 吉見和

鳥取県内の地震観測点における地盤構造の推定, 物理探査学会第 133 回学術講演会講演論文集, pp.81-84, (2015.9), 野口竜也, 西川隼人, 香川敬生, 吉田昌平

鳥取県内の地震観測点における地盤構造の把握とサイト特性の評価, 第 35 回土木学会地震工学研究発表会, 講演番号 B13-797, (2015.10), 野口竜也, 西川隼人, 吉田昌平, 香川敬生

西村 良平**その他**

起振器を用いた木造古民家住宅の耐震性評価について,舞鶴高専紀要,第 51 号,pp.31-41 ,(2016.3),高谷富也, 西川隼人, 西村良平

平成 27 年度教育研究支援センター公開講座「レーザーで加工!!オリジナルの ペン立て付きブックスタンドを作ろう」,舞鶴高専情報科学センター年報,第 44 号,pp.61-64,(2016.3),西村良平, 櫻井一樹, 植田邦明, 石井貴弘, 北代浩次, 能勢嘉朗, 榊田勲, 西川隼人, 畑亮次, 福井繁雄

古林 達哉**学会発表**

Arduino による新たな高次アクティブラーニング型工学実験, 第 40 回教育システム情報学会全国大会論文集, pp.351-352, (2015.9), 古林達哉, 中川重康

オープンデータを活用した地域連携 AED マップの開発, 情報処理学会第 78 回全国大会論文集, pp. 449-450, (2016.3), 古林達哉, 吉元裕真, 竹村祐二, 辰野渉

学位取得状況

学位	校長	人文	自然	機械	電気	制御	建設	計
博士		4	7	1 1	1 1	1 0	9	5 2
修士		6	2				1	9
学士	1	1	1					3
合計	1	1 1	1 0	1 1	1 1	1 0	1 0	6 4

研究成果発表状況

区 分	著 書	解 説	査読論文	国際会議	学会発表	特 許	その他	計
校 長							2	2
人文科学部門	4		2	6	6		1 0	2 8
自然科学部門	2				1			3
機 械 工 学 科		1	5	7	2 0		1 2	4 5
電気情報工学科		1	1	9	2 0		3	3 4
電子制御工学科	1	2	8	1 0	1 2		4	3 7
建設システム工学科			1 0	8	2 0		8	4 6
教育研究支援センター			2		6		7	1 5
合 計	7	4	2 8	4 0	8 5	0	4 6	2 1 0

外部研究費受入

科学研究費補助金 (前年度からの繰越分を除く)

研究 種目等	研究課題名	氏名	配分額 (千円)
基盤研究 (C)	近現代日本の民間精神療法に関する宗教史的考究 身体と社会の観点から	吉永 進一 (人文科学部門)	780
基盤研究 (C)	ダム下流の礫床河川への置き土供給による河床上昇と流 路変動に関する研究(延長)	三輪 浩 (建設システム工学科)	—
基盤研究 (C)	「NIRS による脳機能測定」を異分野の共通課題とする高 等専門学校の分野横断的教育	竹澤 智樹 (電気情報工学科)	130
基盤研究 (C)	石炭燃焼に伴う微量有害金属の PM2.5 への濃縮・凝縮 機構の解明	奥村 幸彦 (電子制御工学科)	650
挑戦的 萌芽研究	教育を考えた短時間で測定可能な放射線可視化プラス チック教材の開発と指導書作成	石川 一平 (電子制御工学科)	650
挑戦的 萌芽研究	分散型ロボティック照明システムの構築	室巻 孝郎 (機械工学科)	1,430
基盤研究 (C)	学習到達度への影響を含む物理的学習環境の評価手法 に関する研究	齋藤 福栄 (校長)	1,300
基盤研究 (C)	難解な制御工学を実体験により学び直すことができる実 験教材の開発	川田 昌克 (電子制御工学科)	2,080
基盤研究 (C)	特別支援学校教員の技術力向上のために高専の実践教 育を取り入れた教育システムの構築	船木 英岳 (電気情報工学科)	3,120
基盤研究 (C)	障害物情報を配信する電子マップと連動した視覚障害者 の歩行を支援する超音波白杖	丹下 裕 (電気情報工学科)	2,600
若手研究 (B)	再生可能エネルギー教育のためのシリコン太陽電池教材 の開発と実践	内海 淳志 (電気情報工学科)	1,300
奨励研究	オープンデータを活用した地域連携 AED マップの開発	古林 達哉 (教育研究支援センター)	500
特別研究員 奨励費	越境する霊性と身体一行から見る宗教の近代化と国際化 の歴史記述	栗田 英彦	1,560
計	7件		16,100

受託研究

研 究 題 目	対応者氏名	相手先	受入額 (千円)
橋梁メンテナンスに関する学習到達度確認試験問題及び技術レベル判定基準に関する調査	玉田 和也 (建設システム工学科)	文部科学省	6,393
廃棄物・炭素繊維を利用した高性能建材の品質向上	尾上 亮介 (建設システム工学科)	株式会社 DIY STYLE (舞鶴市)	275
東地区商店街の空き店舗及び空地活用の調査・研究	尾上 亮介 (建設システム工学科)	舞鶴市	1,080
橋梁長寿命化修繕計画実施における課題の検討及び調査研究	玉田 和也 (建設システム工学科)	舞鶴市	432
舞鶴市イルミネーション設置事業(東舞鶴駅周辺)に関する研究	中川 重康 (電気情報工学科)	舞鶴市	1,483
「前島子育て環境デザインプラン」に関する研究委託	尾上 亮介 (建設システム工学科)	舞鶴市	750
京都府北部地域におけるインフラマネジメントとインフラ管理人材の育成に関する研究	加登 文学 (建設システム工学科)	国土交通省	1,999
健康への無関心層をターゲットにした健康ポイント制度による主体的な健康づくり実践事業	小野 伸一郎 (自然科学部門)	京都府	1,143
計		8 件	13,555

共同研究

研 究 題 目	対応者氏名	相手先	受入額 (千円)
高周波スイッチング DC-DC コンバータの回路技術の開発	平地 克也 (電気情報工学科)	株式会社豊田自動織機 (愛知県大府市)	330
MEMS 加速度計による橋梁の変位計測及びレーザードップラー変位計との比較	玉田 和也 (建設システム工学科)	日本航空電子工業 株式会社 (東京都昭島市)	500
低炭素リサイクル燃料 (Low Carbon Recycle Fuel) の研究と装置の開発	野毛 宏文 (機械工学科)	京都プラント工業 株式会社 (京都府綾部市)	1,200
磁場印加燃料の性状変化と燃焼特性の評価	野毛 宏文 (機械工学科)	ECO-STAR (大阪府門真市)	100
ダイヤモンドライクカーボン膜の特性評価と応用開発	清原 修二 (電子制御工学科)	豊橋技術科学大学 (愛知県豊橋市)	140
カーボンナノ材料を用いたエネルギーデバイスの開発	石川 一平 (電子制御工学科)	豊橋技術科学大学 (愛知県豊橋市)	50
橋梁の維持管理に向けたモニタリング手法と補修・補強工法に関わる研究	玉田 和也 (建設システム工学科)	長岡技術科学大学 (新潟県長岡市)	100
ガスバーナ駆動パルス MHD 加速に適したプラズマ生成及び速度計測方法の検討	石川 一平 (電子制御工学科)	長岡技術科学大学 (新潟県長岡市)	30
計		8件	2,450

寄付金（本校創立50周年記念事業に係るものを除く）

件 名	受入額 (千円)	研究担当者
西田工業助成金 (西田工業株式会社)	60	玉田 和也 (建設システム工学科)
内外エンジニアリング助成金 (内外エンジニアリング株式会社)	90	玉田 和也 (建設システム工学科)
iMec 寄附金 (鶴見建設株式会社)	300	玉田 和也 (建設システム工学科)
iMec 寄附金 (関西工事測量株式会社)	60	玉田 和也 (建設システム工学科)
iMec 寄附金 (金下建設株式会社 3件)	210	玉田 和也 (建設システム工学科)
iMec 寄附金 (大日コンサルタント株式会社)	240	玉田 和也 (建設システム工学科)
iMec 寄附金 (株式会社アズクリエイト)	10	玉田 和也 (建設システム工学科)
iMec 寄附金 (株式会社ワカサコンサル)	60	玉田 和也 (建設システム工学科)
iMec 寄附金 (株式会社ソーシンプランニング)	30	玉田 和也 (建設システム工学科)
iMec 寄附金 (株式会社総進建設工業)	30	玉田 和也 (建設システム工学科)
教育研究等奨励助成金 (舞鶴工業高等専門学校後援会 2件)	3,000	教 職 員
日新電機助成金 (日新電機株式会社)	50	平地 克也 (電気情報工学科)
iMec 寄附金 (一般社団法人兵庫県測量設計業協会)	600	玉田 和也 (建設システム工学科)
iMec 寄附金 (株式会社山本設計)	30	玉田 和也 (建設システム工学科)
iMec 寄附金 (株式会社豊原工業)	90	玉田 和也 (建設システム工学科)
橋梁調査会助成金 (一般財団法人橋梁調査会)	1,500	玉田 和也 (建設システム工学科)
近畿建設協会助成金 (一般財団法人近畿建設協会)	1,000	玉田 和也 (建設システム工学科)
iMec 寄附金 (阿南電機株式会社)	120	玉田 和也 (建設システム工学科)
矢崎総業助成金 (矢崎総業株式会社)	300	平地 克也 (電気情報工学科)
iMec 寄附金 (日本ミクニヤ株式会社大阪支店)	90	玉田 和也 (建設システム工学科)
iMec 寄附金 (株式会社エコクリーン)	60	玉田 和也 (建設システム工学科)
iMec 寄附金 (株式会社仁木総合建設)	60	玉田 和也 (建設システム工学科)

iMec 寄附金 (鶴見建設株式会社)	60	玉田 和也 (建設システム工学科)
iMec 寄附金 (株式会社エイテック関西支社)	30	玉田 和也 (建設システム工学科)
堀場製作所助成金 (株式会社堀場製作所)	300	清原 修二 (電子制御工学科)
iMec 寄附金 (株式会社ユーズ)	150	玉田 和也 (建設システム工学科)
国土技術研究センター寄附金 (一般財団法人国土技術研究センター)	2,000	玉田 和也 (建設システム工学科)
計30件	10,530	

学協会委員及び学会・研究会等の開催協力

校長

齋藤 福栄	国立教育政策研究所インクルーシブ教育システム構築に向けた学校施設に関する基礎的調査研究, 協力者, (2015.4～2016.3)
	国立教育政策研究所, フェロー, (2015.4～2016.3)
	関西工学教育協会, 評議員, (2015.4～2016.3)

人文科学部門

垂谷 茂弘	日本宗教学会, 評議員, (2015.4～2016.3)
吉永 進一	日本宗教学会理事, (2015.4～2016.3)
	宗教哲学会理事, (2015.4～2016.3)
	日本近代仏教史研究会運営委員
	Japanese Religions (NCC 研究所) 編集長, (2015.4～2016.3)
	International Workshop “Modernization, and Spiritual, Mental and Physical Practices: From Yoga to Reiki”, 企画組織, 2015.12.12 13, 京都大学人文科学研究所
畑 恵里子	特定非営利活動法人日本語検定委員会, 作問委員, (2007.12～)
	全国大学国語国文学会, 委員, (2013.6～)
	日本文学協会, 委員, (2015.12～)
松井 信義	(財) 日本英語検定協会実用英語技能検定面接委員, (京都光華女子大学 2015.7.5, 京都光華女子大学 2015.11.8)

自然科学部門

上杉 智子	特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会, 物理チャレンジ実行委員会 理論問題部会, 委員, (2015.4～2016.3)
-------	--

機械工学科

篠原 正浩	先端材料技術協会 (SAMPE Japan) コンポジット委員会, 事務局, (2015 年度)
	日本材料学会複合材料部門委員会, 委員, (2015 年度)
	第 7 回自動車用途コンポジットシンポジウム実行委員, (2015.11.13)
	関西工学教育協会高専部会, 幹事, (2015 年度)
	近畿地区 7 高専連携シンポジウム 災害時に役立つ乗り物コンテスト審査員, (2016.1.17)
小林 洋平	第 20 回動力・エネルギー技術シンポジウム E 220 再生可能エネルギー, 座長, 日本機械学会, 東北大学, (2015.6.27)
野毛 宏文	Associate Member, Vehicle System Engineering, Malaysia-Japan International Institute of Technology, Universiti Teknologi Malaysia International Campus, (2012.4～present)
	Journal of the Energy Institute, reviewer
須田 敦	公益社団法人日本設計工学会 2015 年度関西支部研究発表講演会 Session A4, 座長, (2015.11.14).

電気情報工学科

平地 克也	電子情報通信学会ソサイエティ論文誌編集委員会査読委員, (2014.6~2016.3)
	電気学会, 論文委員会 (D 1 グループ) 委員, (2009.12~2016.3)
	パワーエレクトロニクス学会, 査読委員, (2012.6~2016.3)
	電気学会エネルギー利用の高度化に対応する最新の高周波電力変換技術調査専門委員会, 委員, (2015.5~2016.3)
	電気学会関西支部, 協議員, (2015.4~2016.3)
井上 泰仁	北陸先端科学大学院大学, 客員連携准教授及び教育連携アドバイザー, (2015.4~2016.3)

電子制御工学科

金森 満	Char of Regular Session A7L-B, Robotics III, of the 20th International Conference on Methods and Models in Automation & Robotics, (2015. 8. 25)
	関西工学教育協会高専部会幹事 (2015. 4. 1~2015. 3. 31)
	日本工学教育協会「工学教育」編集・出版委員会委員
野間 正泰	日本トライボロジー学会・”超”を目指す軸受技術研究会, 幹事, (2015.4.1~2016.3.31)
	日本トライボロジー学会・教育講習委員会, 委員, (2015.7.1~2016.5.31)
	日本トライボロジー学会・編集出版委員会, 委員, (2015.7.1~2016.5.31)
	日本トライボロジー学会・トライボロジー会議 2015 春 姫路実行委員会, 委員 (2013.10.30~2015.5.31)
	関西潤滑懇談会, 理事, (2015.4.1~2016.3.31)
奥村 幸彦	座長, 第 24 回日本エネルギー学会大会 (北海道コンベンションセンター), [セッション 1-4 : 反応、物性], (2015.8.4)
	座長, 第 52 回石炭科学会議 (日本エネルギー学会, 伊勢市), セッション名: 重質油・バイオマス・コプロセッシング(4)、灰・微量元素(2), (2015.10.29)
	座長, 第 53 回燃焼シンポジウム (日本燃焼学会, つくば国際会議場), セッション: [C31] 燃焼排出物 II (2015.11.18)
	American Chemical Society, Registered member of publication assistance for Energy & Fuels, (2014.4-).
高木 太郎	電気学会, データに基づく性能指向型制御システム調査専門委員会, 委員(2014.11.26~2016.3.31)
	座長, 電気学会制御研究会, テーマ「制御性能評価」(2015.8.1)

建設システム工学科

三輪 浩	土木学会水工学論文集査読委員, (2015)
	土木学会水工学委員会 兵庫・京都・岐阜 水害・土砂災害調査団団員, (2014.8.21~2015.7.31)
	土木学会西部支部主催第 8 回土砂災害に関するシンポジウム実行委員会委員, (2015.12.9~)
	土木学会西部支部主催第 8 回土砂災害に関するシンポジウム論文集編集委員会委員, (2015.12.9~)
	土木学会水工学論文奨励賞審査委員(2016.2.5~2016.3.31)
玉田 和也	土木学会平成 27 年度全国大会第 70 回年次学術講演会, 座長 (I-1: 橋梁一般 (測定 (1))), 2015.9.18
尾上 亮介	第 21 回高専シンポジウム in 香川, B-06-10 建築・土木, 座長, (2016.1)
渡部 昌弘	日本建築学会建築社会システム委員会固定資産評価小委員会, 家屋評価システム研究 WG, (2015.4.1~2016.3.31)

教育研究支援センター

西川 隼人	日本地震工学会論文集編集委員, (2015.6.1～)
	日本地震工学会論文集査読委員, (2015)

教 職 員 の 活 動 状 況

受 賞

電子制御工学科	准教授	清原 修二	2015 年度精密工学会関西地方定期学術講演会, ベストポスタープレゼンテーション賞, 吉田捷吾, 清原修二, 石川一平, 針谷達, 滝川浩史, 渡邊雅彦, 杉山嘉也, 小俣有紀子, 倉島優一, (2015.6.23)
			THE 高専@SEMICON Japan 2015, プレゼン大会優勝, 清原修二, 清水友人, 吉田捷吾, (2015.12.16-18)
電子制御工学科	准教授	石川 一平	2015 年度精密工学会関西地方定期学術講演会, ベストポスタープレゼンテーション賞, 吉田捷吾, 清原修二, 石川一平, 針谷達, 滝川浩史, 渡邊雅彦, 杉山嘉也, 小俣有紀子, 倉島優一, (2015.6.23)
電子制御工学科	助教	高木 太郎	平成 27 年電子・情報・システム部門 技術委員会奨励賞, (一社) 電気学会 電子・情報・システム部門, (2016.3.4)
建設システム工学科	教授	玉田 和也	国立高等専門学校教員顕彰分野別優秀賞, 一般部門 教育・研究を通じた社会貢献分野
建設システム工学科	助教	毛利 聡	第 37 回コンクリート工学講演会年次論文奨励賞, 日本コンクリート工学会, (2015.7.16)
教育研究支援センター	技術職員	古林 達哉	金沢市長奨励賞, 石川県金沢市, (2015.12.5)

地域・社会活動

地域・社会業績	1 4 6
公開講座	1 4 6
出前授業	1 4 9
産学連携事業	1 5 1
学外講演，講習，展示	1 5 3
地域共同テクノセンター技術相談	1 5 8
地域委員	1 6 1

地 域 ・ 社 会 業 績

公開講座

講 座 名	講 師 名	開講期日	開講時間	受 講 対象者	募集 人数	受講 者数
社会基盤メンテナンス教育センター iMec 講習会	玉田 和也 嶋田 知子 宮本美奈子	月 1～2 回 程度	(1 日目) 13:00～ 17:00 (2 日目) 9:00～16:00	地方自治体 に所属する 技術職員及 び民間企業 技術者	各 8 名 (最大 10 名)	122 名
【COC 事業】 たのしく学べるモノづくり公開講座 パイプで錯視独楽を回そう!!	新池 一弘	2015.5.23	11:00～ 16:00	小学校高学 年～中学生	20 名	12 名
【COC 事業】 たのしく学べるモノづくり公開講座 LED オブジェを作ろう!!	新池 一弘	2015.6.27	11:00～ 16:00	小学校高学 年～中学生	20 名	10 名
【COC 事業】 光であそぼう	上杉 智子 内海 淳志 石川 一平 金山 光一 加登 文学	2015.6.27 2015.7.4 2015.7.11 2015.7.18	18:00～ 21:00	小 中 学 生 及 び 一 般 市民	随時	337 名
まちをつくろう	尾上 亮介	2015.7.4 2015.7.11	16:00～ 22:00	小 中 学 生 及 び 一 般 市民	随時	150 名
商店街をつくろう	尾上 亮介	2015.7.18	16:00～ 22:00	小 中 学 生 及 び 一 般 市民	随時	30 名
橋のしくみを知ろう 2 コンクリートのひみつ	玉田 和也 西村 良平 宮本美奈子	2015.7.25	13:00～ 16:00	小学校 5 年生・6 年生	10 名	5 名
リニアモーターの仕組みを知ろ う	福井 繁雄 北代 浩次 石井 貴弘 植田 邦明 榊田 勲 櫻井 一樹 西村 良平 畑 亮次 能勢 嘉朗 古林 達哉 西川 隼人	2015.7.26	13:30～ 15:30	小学 3～6 年生	20 名	18 名
光と色の不思議を体感してみよ う 「夏休み LED 教室」	内海 淳志 福井 繁雄	2015.8.18	9:00～ 11:30	小学生	20 名	18 名

パワーエレクトロニクス公開講座 DC/DC コンバータの基礎から応用まで	平地 克也	2015.8.22	14:00～ 17:00	企業技術者	25 名	25 名
つくってみよう！移動ロボット ～スカラベ巣に急げ大作戦～ (小学生の部・第1回)	石川 一平 仲川 力 川田 昌克 高木 太郎 畑 亮次	2015.8.23	10:00～ 16:00	小学3年生以上	20 名	20 名
つくってみよう！移動ロボット ～ボトル輸送作戦！～ (中学生の部・第1回)	伊藤 稔 野間 正泰 奥村 幸彦 清原 修二	2015.8.23	10:00～ 15:00	中学生	20 名	20 名
考えて動かそう！きみにもできる ロボットづくり	室巻 孝郎 須田 敦	2015.9.5	10:00～ 15:00	小中学生	10 名	10 名
3D-CAD を使ってみよう！パソコンで 3D モデル組立て	須田 敦 室巻 孝郎	2015.9.6	10:00～ 15:00	中学生	10 名	10 名
【COC 事業】 たのしく学べるモノづくり公開講座 永久独楽の製作	新池 一弘	2015.9.12	11:00～ 16:00	小学校高学年～中学生	20 名	20 名
【COC 事業】 ナノテクノロジー公開講座	清原 修二 内海 淳志 石川 一平 小林 洋平	2015.9.20 2015.9.21	13:30～ 16:00	小中学生	各 10 名	17 名
本校学生の作品を用いた情報通信 技術の体験と説明	井上 泰仁	2015.10.24 2015.10.25	10:00～ 17:00	赤れんがフェスタ in 舞鶴来場者	随時	多数
【COC 事業】 防災について学ぼう	金山 光一 加登 文学	2015.10.31	9:00～ 16:00	小中学生及び一般市民	随時	116 名
【COC 事業】 たのしく学べるモノづくり公開講座 電気で動く模型自動車の製作	新池 一弘	2015.10.31	11:00～ 16:00	小学校高学年～中学生	20 名	18 名
つくってみよう！移動ロボット ～スカラベ巣に急げ大作戦～ (小学生の部・第2回)	石川 一平 高木 太郎 野間 正泰 清原 修二 畑 亮次	2015.10.31	9:00～ 15:30	小学3年生以上	20 名	18 名
つくってみよう！移動ロボット ～ボトル輸送作戦！～ (中学生の部・第2回)	石川 一平 高木 太郎 奥村 幸彦 町田 秀和 伊藤 稔	2015.11.1	9:00～ 15:30	中学生	20 名	16 名
【COC 事業】 光で遊ぼう	上杉 智子 内海 淳志	2015.11.1	9:00～ 16:00	小中学生及び一般市民	随時	169 名
MDF 材でネームプレートを作ろう	山田耕一郎 生水 雅之	2015.11.7	10:00～ 16:30	小学生～高校生	随時	200 名

【COC 事業】 第2回ナノテクノロジー公開講座	清原 修二 内海 淳志 石川 一平 小林 洋平	2015.11.14 2015.11.15	13:30～ 15:30	小学 3 年 生～中 学 生	各 10 名	8 名
【COC 事業】 防災について学ぼう（中丹絆フェスタ）	上杉 智子 加登 文学	2015.11.15	9:00～ 17:00	小中学生及 び一般市民	随時	184 名
パーソナル 3D プリンターの基 礎	豊田 香 須田 敦	2015.11.28	13:30～ 16:30	舞鶴工業集 積協議会	10～ 15 名	8 名
レーザーで加工！！オリジナル のペン立て付きブックスタンド を作ろう	西村 良平 福井 繁雄 北代 浩次 石井 貴弘 植田 邦明 梶田 勲 櫻井 一樹 畑 亮次 能勢 嘉朗 古林 達哉 西川 隼人	2015.12.5	13:30～ 16:00	小学校 5,6 年 生、中学生	10 名	9 名
【COC 事業】 ラジコンロボット学習とクリス マスリースの製作	新池 一弘	2015.12.12	12:00～ 17:00	小中学生	20 名	20 名
聖夜を彩る雪だるまイルミネー ション	金山 光一 片山 英昭 丹下 裕 福井 繁雄 森内 基隆	2015.12.12	13:00～ 16:00	小学校 4 年 ～ 中学生	20 名	28 名
【COC 事業】 楽しく学べるモノづくり公開講 座 クリスマスリースの製作	新池 一弘	2015.12.23	11:00～ 16:00	小学校高学 年～中学生	20 名	10 名
【COC 事業】 楽しく学べるモノづくり公開講 座 ペットボトル掃除機をつくろう	新池 一弘	2016.1.23	11:00～ 16:00	小学校高学 年～中学生	20 名	18 名
MDF 材でネームプレートを作 ってみよう	山田耕一郎 生水 雅之	2016.2.7	10:00～ 16:00	小学生～高 校生	随時	70 名
振り子で LED を点灯させてみ よう	須田 敦 室巻 孝郎	2016.2.7	10:00～ 16:00	小学生～高 校生	随時	90 名
【COC 事業】 楽しく学べるモノづくり公開講 座 センサーライトの製作	新池 一弘	2016.2.27	11:00～ 16:00	小学校高学 年～中学生	20 名	10 名
パワーエレクトロニクス公開講 座 DC/DC コンバータの 3 つの回路 方式について	平地 克也	2016.3.12	14:00～ 17:00	企業技術者	25 名	28 名

【COC 事業】 楽しく学べるモノづくり公開講座 プログラムで車を動かそう!!	新池 一弘	2016.3.26	11:00～ 16:00	小学校高学年～中学生	20 名	16 名
---	-------	-----------	-----------------	------------	------	------

出前授業

授 業 名	講 師 名	実施期日	実施学校名	学年
パワーエレクトロニクスの基礎	平地 克也	2015.5.12	日新電機株式会社	2015 年度新入社員
発電と放射線を学ぼう	石川 一平	2015.5.17	綾部市吉美小学校	4 年生、保護者
南公民館いきいきセミナー 「呼吸筋ストレッチで若返り」	小野伸一郎 中川 重康	2015.5.21	舞鶴市南公民館	いきいきセミナー参加者
ミニ工作機械を使った切削加工の実演・演習と説明	生水 雅之 山田耕一郎	2015.6.12	草津市立高穂中学校	3 年生
倒立振子ロボットの自動制御	川田 昌克	2015.6.12	草津市立高穂中学校	3 年生
ロボットの公開および実演	西山 等	2015.6.28	舞鶴市立志楽小学校	志楽地域の保育園児・幼稚園児、小学生、中学生、区民等
iPad タッチャーと握りスイッチの製作	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次 古林 達哉	2015.8.3	京都府立舞鶴支援学校	舞鶴支援学校教職員
引っ張りスイッチの製作	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次 古林 達哉	2015.8.6	京都府立宇治支援学校	京都府立特別支援学校研究会に参加の教職員
iPad タッチャーと握りスイッチの製作	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次	2015.8.21	京都府立舞鶴支援学校	舞鶴支援学校教職員
町並みの水彩塗り絵	尾上 亮介	2015.8.25	舞鶴市立三笠小学校区 地域放課後児童クラブ	児童及び指導員

城南会館いきいきセミナー 「呼吸筋ストレッチワークショップ」	小野伸一郎 中川 重康	2015.8.26	舞鶴市城南会館	いきいきセミナー参加者
東公民館いきいきセミナー 「呼吸筋ストレッチで老化予防」	小野伸一郎	2015.9.3	舞鶴市東コミュニティーセンター	いきいきセミナー参加者
加佐公民館いきいきセミナー 「呼吸筋ストレッチで若返り」	小野伸一郎	2015.9.17	舞鶴市加佐公民館	いきいきセミナー参加者
大浦会館いきいきセミナー 「呼吸筋ストレッチで若返り」	小野伸一郎 中川 重康	2015.9.25	舞鶴市大浦会館	いきいきセミナー参加者
若狭湾フェスティバル	小林 洋平	2015.10.3 2015.10.4	若狭湾青少年自然の家	フェスティバル参加者
マーブリングをしてみよう	野間 正泰	2015.10.14	舞鶴市立三笠小学校	1,2 年生
理科クラブ出前授業	新池 一弘	2015.10.27 2015.11.24 2016.1.19	舞鶴市立朝来小学校	4～6 年生
科学クラブ「電気工作」	新池 一弘	2015.10.30 2015.11.13	舞鶴市立倉梯小学校	4～6 年生
電気であかりをつけよう	新池 一弘	2015.11.20	舞鶴市立岡田小学校	3 年生
かがく体験 in 若狭湾 わくわくプログラミング教室	井上 泰仁	2015.11.22	若狭湾青少年自然の家	イベント参加者
福祉フェスタ in まいづる	丹下 裕 福井 繁雄	2015.11.22	舞鶴赤れんがパーク	福祉フェスタ in まいづる参加者
京都市立桂中学出前授業	生水 雅之 四蔵 茂雄	2015.11.25	京都市立桂中学校	2 年生
キッズ☆バリアフリーフェスティバル しちゃった in まいづる	金山 光一 丹下 裕	2015.11.28	舞鶴市商工観光センター	フェスティバル参加者
身のまわりの空気の流れを見てみよう！ 水の流れをマーブリングしてみよう！	野間 正泰	2015.11.28	舞鶴市立朝来小学校	4～6 年生
社会基盤メンテナンス教育センター 道路橋のメンテナンスに関する講義と実習	玉田 和也	2015.12.12	京都市立伏見工業高等学校	システム工学科 2 年生
iPad mini の活用について	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次	2016.1.5	京都府立舞鶴支援学校	支援学校教員

住まいの設計	尾上 亮介 加登 文学 徳永 泰伸 毛利 聡 西村 良平	2016.1.29 2016.2.2 2016.2.4	白糸中学校	2年生
iPad mini の活用と引っ張り スイッチの製作	船木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次	2016.3.28	京都府立舞鶴支援学校	支援学校教員

産学連携事業

連携事業名称	連携先	実施期間	指導者
専攻科エンジニアリングデザイン演習	株式会社堀場製作所 株式会社日進製作所 加美電機株式会社	2015.10 ~2016.1	篠原 正 豊田 香 新池 一弘 船木 英岳 野間 正泰 奥村 幸彦
製品開発に応用できる「機械加工」に関する質保障推進のための教育コーディネーターを活用した技術指導向上プログラムの実施	株式会社日進製作所	2015.10, 2016.1	生水 雅之
製品開発に応用できる「設計製図」質保障推進のための教育コーディネーターを活用した教育プログラムの実践	株式会社積進	2015.10	豊田 香
教育コーディネーターを活用した「工作, 材料, 機械設計」の質的保障の推進とそれらの各種ねじの加工, 表面改質への応用	日東精工株式会社	2015.4~ 2016.3	山田耕一郎 生水 雅之
機械設計開発のための最新の電気電子材料の適用事例の学習	株式会社村田製作所	2015.11.13	野毛 宏文
企業と共同の製品開発の過程で学生の実装力を養う	一志株式会社	2015.4~ 2016.3	小林 洋平

地域企業との連携による地域を担う機械技術者の育成	オムロン株式会社綾部工場	2015.10～ 2016.1	豊田 香 山田 耕一郎 生水 雅之
メンテナンス工学	神鋼検査サービス株式会社 検査プロジェクト部検査プロジェクト室	2016.1.17, 3.3,3.23	玉田和也

学外講演, 講習, 展示

人文科学部門

吉永 進一	「治せば分かる一霊術家たちの不思議な世界」, 講演 (栗田英彦、吉永進一) 京都大学人文科学研究所, 京都市 (2015.06.26)
	体を癒す心, 心を癒す体ー近代日本の民間精神療法ー, シンポジスト, 京都文教大学臨床心理学部主催シンポジウム「心と魂の深みを探る」, キャンパスプラザ京都、京都市 (2015.06.28)
畑 恵里子	神話や風土記の丹後天女, 郷土史講座, 全 5 回, 第 5 回, 講師, 舞鶴市, 舞鶴市西公民館, (2015.10.16)
牧野 雅司	講演「日朝友好の架け橋ー朝鮮通信使と牧野氏ー」, 第 25 回郷土史講座, 舞鶴市, (2015.9.25)
	講演「近世日本海沿岸地域の異文化コミュニケーション」, 第 53 回両丹地方史研究者発表大会, 京丹後市, (2015.12.13)

自然科学部門

小野伸一郎	地域陸上競技大会の運営, 舞鶴市中学校総体 (2015.6.6), 舞鶴市小学校大会 (2015.8.22), 舞鶴市中学校新人大会 (2015.9.26), 舞鶴市選手権大会 (2015.9.26)
	COC 事業・出前授業「呼吸筋ストレッチと老化防止」, 舞鶴市南公民館生き生きセミナー, 50 名, 舞鶴市, (2015.5.21)
	COC 事業・出前授業「呼吸筋ストレッチと老化防止」, 舞鶴市城南会館生き生きセミナー, 40 名, 舞鶴市, (2015.8.26)
	COC 事業・出前授業「呼吸筋ストレッチと老化防止」, 舞鶴市東公民館生き生きセミナー, 50 名, 舞鶴市, (2015.9.3)
	COC 事業・出前授業「呼吸筋ストレッチと老化防止」, 舞鶴市加佐公民館生き生きセミナー, 130 名, 舞鶴市, (2015.9.17)
	COC 事業・出前授業「呼吸筋ストレッチと老化防止」, 舞鶴市大浦公民館生き生きセミナー, 50 名, 舞鶴市, (2015.9.25)
	高齢者における呼吸ストレッチの活用, 講師, 社会福祉法人 市原寮, (2016.3.8)
上杉 智子	公開講座「光であそぼう」, 講師, はまっこ夜の市, 商店街ラボ「よろず」, 舞鶴市, (2015.6.27, 7.18)
	公開講座「光であそぼう」, 講師, 高専祭, 舞鶴高専 B403 室, 舞鶴市, (2015.11.1)
	公開講座「防災について学ぼう」, 講師, 中丹絆フェスタ, 赤れんがパーク内赤れんが倉庫 4 号棟 2 階, 舞鶴市, (2015.11.15)

機械工学科

生水 雅之	出前授業「ミニ工作機械を使った切削加工の実演・実習と説明」, 滋賀県草津市立高穂中学校, (2015.6.12)
	出前授業「ミニフライス盤を用いた MDF 材の加工の説明と実習」, 京都市立桂中学校, (2015.11.25)
	第 20 回青少年のための科学の祭典 京都大会「MDF 材ネームプレートを作ってみよう」, 京都市, (2015.11.7)
	第 10 回科博連サイエンス・フェスティバル「MDF 材ネームプレートを作ってみよう」, 京都市, (2016.2.7)
西山 等	ロボット展示, 高専のロボットたちがやってくる 2015, 志楽ダイヤモンド協議会, 舞鶴市, (2015.6.28)

篠原 正浩	高分子系複合材料の成形と成形品の評価, 京都産業 21 平成 27 年度技術シーズ交流会, 綾部市, (2015.6.25) 京都市, (2015.2.8)
豊田 香	地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 京都の産業・文化芸術拠点形成と K16 プロジェクト 2015 フォーラム, 共同研究報告 (2016.2.26)
小林 洋平	空気抵抗の少ない遠投用の浮子と鰻も釣れるルアーを作ろう, 若狭湾フェスティバル, 若狭青少年自然の家, (2015.10.3)
	新エネルギーと省エネルギーの基本原則から考えるエネルギーの将来(依頼講演), 京都産業 21 セミナー, 北部産業技術支援センター・綾部, (2015.10.7)
	公開講座「ナノテクノロジー」, 講師, 舞鶴高専地域共同テクノセンター, 舞鶴市, (2015.11.15)
山田耕一郎	第 20 回青少年のための科学の祭典 京都大会, 京エコロジーセンター, (2015.11.7), 山田耕一郎, 生水雅之
	第 10 回科博連サイエンス・フェスティバル, 京都市青少年科学センター, (2016.2.7) 山田耕一郎, 生水雅之, 室巻孝郎, 須田敦
室巻 孝郎	公開講座「考えて動かそう! きみにもできるロボットづくり」, 舞鶴高専機械工学科, 舞鶴高専大会議室, (2015.09.05)
	公開講座「3D-CAD を使ってみよう! パソコンで 3D モデル組立て」, 舞鶴高専機械工学科, 舞鶴高専 CAD 実習室, (2015.09.06)
	パネル展示, 平成 27 年度近畿地区 7 高専産学官マッチングフェア, 東大阪市, (2015.9.18)
	公開講座「第 10 回科博連サイエンス・フェスティバル, 振り子で LED を点灯させてみよう・MDF 材ネームプレートを作ってみよう」, 京都市青少年科学センター, 京都市, (2016.2.7)
須田 敦	公開講座「考えて動かそう! きみにもできるロボットづくり」, 舞鶴高専機械工学科, 舞鶴高専大会議室, (2015.09.05)
	公開講座「3D-CAD を使ってみよう! パソコンで 3D モデル組立て」, 舞鶴高専機械工学科, 舞鶴高専 CAD 実習室, (2015.09.06)
	公開講座「パーソナル 3D プリンターの基礎」, 舞鶴高専機械工学科, 舞鶴高専中会議室, (2015.11.28)
	公開講座「振り子で LED を点灯させてみよう」, 科博連サイエンスフェスティバル, 京都市青少年科学センター, (2016.02.07)

電気情報工学科

新池 一弘	公開講座, たのしく学べるモノづくり公開講座その 1 「錯視独楽の製作」, 京都市内の小・中学生 20 名, 創学社 102 教室, (2015. 5. 23), 新池一弘
	公開講座, たのしく学べるモノづくり公開講座その 2 「LED 光のオブジェ製作」, 京都市内の小・中学生 20 名, 創学社 102 教室, (2015. 6. 27), 新池一弘
	公開講座, たのしく学べるモノづくり公開講座その 3 「永久独楽の製作」, 京都市内の小・中学生 20 名, 創学社 102 教室, (2015. 9. 12), 新池一弘
	公開講座, たのしく学べるモノづくり公開講座その 4 「発電・蓄電装置の製作」, 京都市内の小・中学生 20 名, 創学社 102 教室, (2015. 10. 31), 新池一弘
	公開講座, たのしく学べるモノづくり公開講座その 5 「クリスマスリースの製作」, 京都市内の小・中学生 20 名, 創学社 102 教室, (2015. 12. 23), 新池一弘
	公開講座, たのしく学べるモノづくり公開講座その 6 「ペットボトル掃除機の製作」, 京都市内の小・中学生 20 名, 創学社 102 教室, (2016. 1. 23), 新池一弘
	出前授業, ペットボトル掃除機の製作その 1, 舞鶴市立朝来小学校理科クラブ 23 名, 舞鶴市, (2015. 10. 27), 新池一弘

新池 一弘	出前授業，ペットボトル掃除機の製作その1，舞鶴市立倉梯小学校科学クラブ 25 名，舞鶴市，(2015. 10. 30)，新池一弘
	出前授業，ペットボトル掃除機の製作その2，舞鶴市立倉梯小学校科学クラブ 25 名，舞鶴市，(2015. 11. 13)，新池一弘
	出前授業，第3学年「電気であかりをつけよう」，舞鶴市立岡田小学校3年生 13 名，舞鶴市，(2015. 11. 20)，新池一弘
	出前授業，ペットボトル掃除機の製作その2，舞鶴市立朝来小学校理科クラブ 23 名，舞鶴市，(2015. 11. 24)，新池一弘
	公開講座，ラジコンロボット学習とクリスマスリースの製作，京都市内の小・中学生 20 名，京都工芸繊維大学 6 号館 1 階 6012 講義室，(2015. 12. 12)，新池一弘，本校学生 5 名
平地 克也	第2回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座，講師，メルパルク京都，(2015.8.22)
	第3回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座，講師，メルパルク京都，(2016.3.12)
金山 光一	公開講座「光のワークショップ「光であそぼう」」，夜の市，商店街ラボ「よろず」，舞鶴市，(2015.7.11)
	公開講座「舞鶴市内避難場所指定地間のデジタル簡易無線通信実験」，高専祭，舞鶴高専 B403 室，舞鶴市，(2015.10.31)
船木 英岳	iPad タッチャーと握りスイッチの製作，出前授業，京都府立舞鶴支援学校，舞鶴市，(2015.8.3)
	引っ張りスイッチの製作，出前授業，京都府立宇治支援学校，宇治市，(2015.8.6)
	iPad タッチャーと握りスイッチの製作，出前授業，京都府立舞鶴支援学校，舞鶴市，(2015.8.21)
内海 淳志	公開講座「光であそぼう」，商店街ラボ「よろず」，舞鶴市，(2015.6.27)
	公開講座「夏休み LED 教室」，舞鶴市大浦会館，舞鶴市，(2015.8.18)
	公開講座「第1回ナノテクデー」，舞鶴高専地域共同テクノセンター，舞鶴市，(2015.9.20～21)
	公開講座「光であそぼう」，舞鶴高専，舞鶴市，(2015.11.1)
	公開講座「第2回ナノテクデー」，舞鶴高専地域共同テクノセンター，舞鶴市，(2015.11.14)
	舞鶴市イルミネーション事業，東舞鶴駅，舞鶴市，(2015.12.1～2016.2.29)
丹下 裕	iPad mini の活用，出前授業，京都府立舞鶴支援学校，舞鶴市，(2015.1.5)
	高専の授業における取り組み紹介，展示，キッズ☆バリアフリーフェスティバルしちゃった in まいづる，舞鶴市商工観光センター，舞鶴市，(2015.11)
	高専の授業における取り組みの紹介，展示，福祉フェスタ in まいづる，舞鶴赤レンガパーク 5 号館，舞鶴市，(2015.11)
	iPad タッチャーと握りスイッチの製作，出前授業，京都府立舞鶴支援学校，舞鶴市，(2014.8.21)
	引っ張りスイッチの製作，出前授業，京都府立宇治支援学校，宇治市，(2015.8.6)
	iPad タッチャーと握りスイッチの製作，出前授業，京都府立舞鶴支援学校，舞鶴市，(2015.8.3)
井上 泰仁	公開講座，かがく体験 in 若狭湾，小浜市，(2015.11.22)

電子制御工学科

野間 正泰	COC 事業・出前授業「水の流れをマーブリングしてみよう！」，「自動車のまわりの流れを見てみよう！」，舞鶴市立三笠小学校，1 年生 29 名，2 年生 29 名，舞鶴市，(2015.10.14)
-------	---

野間 正泰	COC 事業・出前授業「水の流れをマーブリングしてみよう!」, 「自動車のまわりの流れを見てみよう!」, 舞鶴市立朝来小学校, 4~6 年生 13 名, 舞鶴市, (2015.11.28)
川田 昌克	制御実験で学ぶ PID 制御の基礎とモデルベース設計による制御性能向上のポイント, 講師, 日本テクノセンター, 大阪市, (2015.06.26)
	LEGO MINDSTORMS を利用した制御工学教育の実践, 講師, 平成 27 年度制御工学教育研究集会, 神戸市, (2015.11.15)
清原 修二	公開講座「ナノテクノロジー」, 講師, 舞鶴高専地域共同テクノセンター, 舞鶴市, (2015.9.20)
	公開講座「ナノテクノロジー」, 講師, 舞鶴高専地域共同テクノセンター, 舞鶴市, (2015.9.20)
	ポスターおよび研究装置展示, パネラー, THE 高専@SEMICON Japan 2015, 東京ビックサイト, 東京都江東区, (2015.12.16-18)
	公開講座「ナノテクノロジー」報告, 講演者, 舞鶴市の地方創生総合戦略と舞鶴高専の取組, 舞鶴赤れんがパーク, 舞鶴市, (2016.2.26)
石川 一平	出前授業「発電と放射線を学ぼう」, 講師, 綾部市立吉美小学校, 綾部市, (2015.5.17)
	公開講座「光であそぼう」, はまっこ夜の市, 商店街ラボ「よろず」, 舞鶴市, (2015.7.4)
	公開講座「ナノテクノロジー」, 舞鶴高専地域共同テクノセンター, 舞鶴市, (2015.9.21)
	公開講座「ナノテクノロジー」, 舞鶴高専地域共同テクノセンター, 舞鶴市, (2015.11.14)
	出前授業「教職員のための放射線教育実践セミナー」, アドバイザー, 宮津市立栗田中学校, 宮津市, (2015.11.17)
高木 太郎	出力フィードバック制御手法の安定性に関する研究, ポスター展示, 近畿地区 7 高専産学官マッチングフェア(2015.9.18)

建設システム工学科

高谷 富也	土木技術力向上講座ー現場技術者のためのトンネル工学ー, 水嶋 CG 安全衛生協力会, 舞鶴市(2015.9.5)
	耐震建具の開発に関する実験報告会, 兵庫県豊岡市(2015.5.28)
玉田 和也	京都府北部・橋りょう維持管理研修会, 講師, 京都府及び 8 市町, 第 1 回舞鶴市(2015.5.21), 第 2 回綾部市(2015.6.25), 第 3 回舞鶴市(2015.7.30), 第 4 回綾部市(2015.8.26), 第 5 回綾部市(2015.9.29), 第 6 回綾部市(2015.10.29), 第 7 回綾部市(2011.11.27), 第 8 回京都市(2015.12.17), 第 9 回舞鶴市(2015.1.21)
	地方自治体の技術者向け学び直し講座, 京都府, 第 1 回(2015.6.25)~第 4 回(2016.1.21)
	インフラのメンテナンスと長寿命化, 講演者, 平成 27 年度管内建設業者研修, 京都府中丹広域振興局, 綾部市, (2015.9.2)
	iMec 講習会, 講師, 4.15, 5.9, 5.13, 6.13, 6.18, 7.11, 7.16, 8.22, 9.10, 10.15, 10.24, 11.7, 11.19, 12.7, 1.7, 1.9, 2.4 合計 17 回
尾上 亮介	公開講座「まちをつくろう 1・2」よろず 商店街・まちづくり研究所, 舞鶴市 (2015.7)
	出前授業「商店街をつくろう」, 三笠小学校学童, 舞鶴市 (2015.8)
	出前授業「住宅プランニング」, 講師, 白糸中学校、舞鶴市 (2016.1)
	展示「商店街のゲストハウス」, よろず 商店街・まちづくり研究所, 舞鶴市 (2016.2)
	宮津文化的景観フォーラム, パネラー, 宮津市 (2016.1)
	宮津景観シンポジウム, パネラー, 宮津市 (2016.3)
加登 文学	展示「尾上ゼミ展」, よろず 商店街・まちづくり研究所, 舞鶴市 (2016.3)
	出前授業「住宅プランニング」, 舞鶴市立白糸中学校, 舞鶴市, (2015. 1.29, 2.2, 2.4)
徳永 泰伸	出前授業「住宅プランニング」, 舞鶴市立白糸中学校, 舞鶴市, (2015. 1.29, 2.2, 2.4)

教育研究支援センター

古林 達哉	オープンデータを活用した地域連携AEDマップ，パネラー，近畿地区7高専 産学官 マッチングフェア，東大阪市，(2015.9.18)
-------	--

地域共同テクノセンター技術相談

	相 談 内 容	対応教員	備 考
1	竹屋町文書（舞鶴市指定文化財）の解説について質問されたため、いくつかの字句の解釈を行った。	牧野	○
2	丹後郷土資料館で整理中の加藤長助文書に関連して明治期の米穀流通について質問されたので、概要を説明した。	牧野	○
3	近世流通史、特に海運についての現在の研究動向について尋ねられたため、研究の概要・到達点と参考文献を紹介した。	牧野	○
4	糸崎の「佛舞をテレビ企画する為の相談」	村上	○
5	介護補助機器の1つである起き上がり補助イスの開発を共同で行っている。	室巻	○
6	ねじの疲労試験，ねじ頭部鍛造条件に関する相談。	山田	○
7	各種鍛造条件に関する相談。	山田	○
8	ねじの疲労試験，ねじ頭部鍛造条件に関する相談。	山田	○
9	共同研究の打ち合わせ	小林	○
1 0	めっき処理されたねじ表層部の機械特性（硬さ，ヤング率等）の評価	生水	○
1 1	金属ガラスねじの遅れ破壊特性の評価	生水	○
1 2	溶接部に複数のき裂を有する構造部材の安全性評価	生水	○
1 3	小水力発電の地域での展開可能性について	西山	○
1 4	下水汚泥と竹チップ混合物の発酵現象とその応用について	西山	○
1 5	小水力発電の地域での展開可能性について	西山	○
1 6	工場内自動搬送システムに関する相談。	須田	○
1 7	農作物の収穫に関する相談。	須田	○
1 8	立ち上がり補助車いすに関する相談。	須田	○
1 9	上記相談の進捗報告	須田	○
2 0	農作物の収穫に関する相談。	須田	○
2 1	小中学生向けのモノづくり教材の研究開発	新池	○
2 2	DAB 方式 DC/DC コンバータのスイッチ素子の駆動方法。	平地	○
2 3	舞鶴高専との協力関係構築依頼	平地	○
2 4	DC/DC コンバータに関して 3 項目の質問	平地	○
2 5	平地研究室技術メモの一部を社内教育資料に使いたいが OK か？	平地	○
2 6	状態平均化法について	平地	○
2 7	3 相 PWM コンバータの動作について	平地	○
2 8	BH 曲線の測定方法、および ZCS の定義	平地	○
2 9	舞鶴高専との情報交換実施検討依頼	平地	○
3 0	位相シフトフルブリッジ DD コンの動作の詳細	平地	○
3 1	FMEA のための実験方法	平地	○
3 2	ハーフブリッジ形 DAB 方式の動作について	平地	○
3 3	舞鶴高専との協力関係構築依頼	平地	○
3 4	起立補助イスの開発に関する打ち合わせをした。	室巻・須田	○

35	鍛造シミュレーションに関する技術相談に対応した。	山田	○
36	自動荷物運搬システムの開発に関する打ち合わせをした。	室巻	○
37	ねじの疲労試験を依頼された。	山田	○
38	3D プリンターの活用法について。	豊田	○
39	メカトロニクス教材についての打ち合わせ	室巻・須田	○
40	メカトロニクス教材についての打ち合わせ	室巻・須田	○
41	3D プリンターの活用法について。セミナー開催要望。	豊田	○
42	A l F e の特性に関する共同研究打ち合わせ	小林	○
43	農作物の収穫に関しての技術相談	室巻・須田	○
44	農作物の収穫に関しての技術相談	室巻・須田	○
45	農作物の収穫に関しての技術相談	室巻・須田	○
46	開発中の風車に関する技術相談を受けた	小林	○
47	プリン体の蛍光ラベル化について	野毛	○
48	A l F e の特性に関する研究の技術相談を受けた	小林	○
49	能動制振キャスターについての打ち合わせ	須田	○
50	各種めっき膜の機械的特性に関する打合せ	生水	○
51	農作物の収穫に関しての技術相談	室巻・須田	○
52	農作物の収穫に関しての技術相談	室巻・須田	○
53	自動荷物運搬システムの開発に関する打ち合わせをした。	室巻	○
54	3D プリンターセミナー開催および質問受付	豊田・須田	○
55	起立補助イスの開発に関する打ち合わせをした。	室巻・須田	○
56	疲労試験片の作製とめっき処理に関する情報交換と今後の研究打合せを行った。	生水	○
57	プッシュプル型 DD コンの波形の不明点、磁束密度の計算方法、など。	平地	○
58	1つの回路で単相／三相切替可能なインバータについて。	平地	○
59	古い織機を使用しており、電子部品のメンテナンスなどに問題があり、織機の改善について協力してほしい。	平地	○
60	地絡事故の合理的な検出方法。	平地	○
61	双方向 DD コンの出力電圧制御の方法など。	平地	○
62	パワエレの教育システム構築について情報交換したい。	平地	○
63	パワエレの講演と情報交換の依頼。	平地	○
64	ハーフブリッジ形 PFC コンバータの電流経路の不明点の質問。	平地	○
65	鳥獣被害に苦慮しているので有害鳥獣撃退方法で何かアイディアがあればいただきたい。	校長	○
66	インバータの制御方法。	平地	○
67	地場産業で使用されている自動織機のセンサシステムの高度化について、技術相談に対応した。	金山	○
68	圧電駆動デバイス開発に関する相談に対応した。	金山	○
69	舞鶴市鳥獣被害防止計画に関する相談	新池	○
70	ガラス状炭素の再研磨について	清原	○
71	ガラス状炭素の再研磨について	清原	○
72	市内の史跡（中世の山城跡）の保存・活用についての相談	牧野	○
73	地元の文学・文化に関する教育・普及活動についての相談	畑	○
74	Smart Wellness City 構築に関する意見交換をした。	小野	○
75	産学公連携によるプラットホーム事業の展開に関する相	小野	○

	談を受けた。		
7 6	健康ポイント制度導入に関する相談を受けた。	小野	○
7 7	健康と食に関する事業について相談を受けた。	小野	○
7 8	Smart Wellness City 構築に関する意見交換をした。	小野	○
7 9	市民健康増進のためのまちづくり。ウォーキングコース検討の相談。	尾上	○
8 0	商店街活性化に関する相談。地方創生プロジェクトについて。	尾上	○
8 1	次世代赤レンガの活用について	尾上	○
8 2	畳づくりの機械メンテナンス・利用し続けるための相談	尾上	○
8 3	水質分析について	四蔵	○
8 4	小規模吊橋の維持管理についての相談	玉田	○
8 5	加速度計による橋梁の変位計測についての相談	玉田	○
8 6	固有振動数を用いた橋梁の健全性評価についてのヒアリング	玉田	○

備考：○印……本校で対応した相談

■印……他の機関に紹介した相談

地 域 委 員

校長

齋藤 福栄	舞鶴市青少年問題協議会, 委員, (2015.9～2017.8)
	舞鶴市公共交通ネットワーク会議, 委員, (2015.10～2019.10)
	舞鶴市みらい戦略推進会議, 委員, (2015.7～2020.3)

人文科学部門

荒川 吉孝	中部日本海高専国際化推進委員会, 委員長, (2015.4～2016.3)
垂谷 茂弘	国立病院機構舞鶴医療センター・倫理審査委員会, 委員, (2015.4～2016.3)
畑 恵里子	舞鶴市教育委員会, 舞鶴市文化財保護委員, (2016.1～)
児玉 圭司	舞鶴市情報公開・個人情報保護審査会, 委員, (2010.6～2016.5 (予定))
	舞鶴市情報公開・個人情報保護審議会, 委員, (2013.1～2017.1 (予定))
	国立病院機構舞鶴医療センター・倫理委員会, 委員, (2015.5～2016.3)
	「舞鶴市元気なまちづくり事業費補助金」対象事業採択に係る有識者会議, 委員, (2015.10)

機械工学科

西山 等	きのくにロボットフェスティバル 2015, 全日本小・中学生ロボット選手権・きのくに高校生ロボットコンテスト, 特別賞審査員, 和歌山県他, 御坊市, (2015.12.20)
	舞鶴工業高等専門学校同窓会, 理事, (2015.4～2016.3)
小林 洋平	社会実装プロジェクト, 実行委員, (2015.4～2016.3)
	廃炉創造ロボコン, 実行委員, (2015.12～2016.3)

電気情報工学科

中川 重康	舞鶴市公共工事事故調査委員会, 委員, (2015.4～2017.3)
	舞鶴こども発明クラブ, 指導員, (2015.7～2016.2)
片山 英昭	おおい町, 学校 ICT 活用アドバイザー, (2015.7～2016.3)

電子制御工学科

奥村 幸彦	舞鶴工業高等専門学校同窓会, 理事長, (2014.9～)
-------	-------------------------------

建設システム工学科

高谷 富也	ACMブレース研究会, 幹事会員, (2015.4～2016.3)
	舞鶴市公共工事事故対策会議, 委員長, (2015.4～2016.3)
	畜産クラスター計画委員会, 委員, (2015.7～2016.3)
四蔵 茂雄	舞鶴市新たな都市計画制度検討会委員, (2015.8～)
	舞鶴市水道事業審議会委員, (2015.7～)
玉田 和也	舞鶴市入札監視委員会, 委員, (2014.4～2016.3)
	舞鶴市地域公共交通会議, 委員, (2015.3～2016.3)
	府民公募型安心・安全整備事業審査委員会(中丹広域振興局), 座長, (2015.8～2016.3)
	国土交通省近畿地方整備局, 橋梁ドクター, (2015.4～2016.3)
尾上 亮介	舞鶴市都市計画審議会, 委員, (2010.4～)
	宮津市都市計画審議会, 会長, (2010.4～)
	宮津市景観審議会, 委員, 会長職務代理, (2008.11～)

尾上 亮介	宮津市文化的景観検討委員会, 委員,(2008.11～)
	綾部市都市計画審議会, 会長,(2013.4～)
	福知山都市計画審議会, 委員,(2013.10～)
	福知山景観審議会, 委員,(2013.12～)
	宮津市景観デザイン委員会, 委員長,(2014.7～)
	与謝野町都市計画審議会, 委員長,(2015.3～)

教育研究支援センター

能勢 嘉朗	福井県おおい町教育委員会, 学校 ICT 活用アドバイザー,(2015.7～)
古林 達哉	福井県おおい町教育委員会, 学校 ICT 活用アドバイザー,(2015.7～)

報 道 記 事

報道記事一覧	1 6 4
--------------	-------

報道記事一覧

見 出 し	掲載紙(誌)	掲 載 年 月 日
全国大会出場者を紹介 2015 ぐんま冬国体イベント事業フリースタイル スキー競技会 (2/22～24 群馬県) JOC ジュニアオリンピックカップ2015 全日本ジュ ニアスキー選手権大会 (3/28～29 新潟県) 石井太旺 (舞鶴高専2年)	広報まいづる	平成27年 4月 1日 (水)
舞鶴高専創立記念式典 50年礎に新たな発展を 学生やOB、教職員ら1000人が祝う	舞鶴市民新聞	平成27年 5月 1日 (金)
北部発 こんなので作ってます (株)DIY STYLE「災害用断熱シート」 (舞鶴高専と開発)	京 都 新 聞	平成27年 6月 5日 (金)
【催 し】 公開講座「つくってみよう！移動ロボット 小学生 の部」8/23 組み立て、10/31 競技会	舞鶴市民新聞	平成27年 6月19日 (金)
草刈りしてきれいに 住民や高専生ら100人 松尾寺駅舎を一斉清掃	舞鶴市民新聞	平成27年 6月23日 (火)
【催 し】 高専のロボットたちがやってくる2015 6/28 志楽小学校体育館	舞鶴市民新聞	平成27年 6月26日 (金)
商店街巡礼54 期間限定、京都「大原ふれあい朝市」 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成27年 6月26日 (金)
【まちかど】 舞鶴工業高等専門学校・商店街ラボ「光であそぼう」 6/27 八島商店街ラボ「よろず」	京 都 新 聞	平成27年 6月 6日 (金)
東舞鶴の商店街 今夜から縁日 18日まで毎土曜日 (舞鶴高専による光をテーマにした子ども対象の工 作ほか)	京 都 新 聞	平成27年 6月27日 (土)
高専ロボ 児童わくわく 舞鶴・志楽小 操作体験	京 都 新 聞	平成27年 6月29日 (月)
ロボットやってきた 舞鶴の小学校に高専の10台	朝 日 新 聞	平成27年 6月29日 (月)
はまっこ夜の市 7月18日まで毎週土曜に 東地区商店街で (舞鶴高専生らによる光のワークショップとまちづ くりワークショップなど)	舞鶴市民新聞	平成27年 6月30日 (火)
【催 し】 高専公開講座「つくってみよう！移動ロボット 中 学生の部」8/23 組み立て、10/31 競技会	舞鶴市民新聞	平成27年 6月30日 (火)
光でお絵かき 楽しい 舞鶴高専がワークショップ	京 都 新 聞	平成27年 7月 3日 (金)

見 出 し	掲載紙(誌)	掲 載 年 月 日
第 97 回全国高校野球選手権大会 11 日から京都大会開幕 互いに声掛け合う 舞鶴高専 2 年生主体のチーム	舞鶴市民新聞	平成 2 7 年 7 月 7 日 (火)
高専デザコン部 竹と花、商店街飾る 市民に披露 11、18 日も展示	舞鶴市民新聞	平成 2 7 年 7 月 1 0 日 (金)
東西商店街で夏恒例夜の市 (舞鶴高専の「商店街をデザインしよう」など)	舞鶴市民新聞	平成 2 7 年 7 月 4 日 (金)
全国高校野球京都大会第 4 日 舞鶴高専 太鼓の音 選手鼓舞	京 都 新 聞	平成 2 7 年 7 月 1 5 日 (水)
私費で学ぶ高専留学生を支援 舞鶴東ロータリークラブが初の取り組み グエンさんへ米山記念奨学金	舞鶴市民新聞	平成 2 7 年 7 月 1 7 日 (金)
平成 2 7 年 盛夏―暑中見舞号― 舞鶴高専オープンキャンパス開催 中学生大歓迎	舞鶴市民新聞	平成 2 7 年 7 月 1 7 日 (金)
パーク専門の高校生ガイド誕生 観光客に倉庫群の歴史を紹介 (養成講座に舞鶴高専からも申し込み)	舞鶴市民新聞	平成 2 7 年 7 月 1 7 日 (金)
課題調べてアイデア発表 舞鶴高専、学生たち地域貢献へ	舞鶴市民新聞	平成 2 7 年 7 月 2 4 日 (金)
舞鶴 子育て施設愛称「あそびあむ」に (夏季特別企画に舞鶴高専学生らがボランティアで協力)	京 都 新 聞	平成 2 7 年 7 月 2 9 日 (水)
商店街巡礼 55 道の駅「舞鶴港とれとれセンター」 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成 2 7 年 7 月 3 1 日 (金)
商店街巡礼 56 銀座商店街第一号「戸越銀座商店街」 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成 2 7 年 8 月 2 8 日 (金)
府北部橋梁メンテナンス推進協議会 新たな教育プログラム開発 (舞鶴高専社会基盤メンテナンス教育センターが中心に)	舞鶴市民新聞	平成 2 7 年 9 月 8 日 (火)
赤れんがパーク学生ガイド誕生 養成講座修了者 16 人 (舞鶴高専の学生ら)	京 都 新 聞	平成 2 7 年 9 月 8 日 (火)
商店街巡礼 57 甲州街道の第一宿場「下高井戸商店街」 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成 2 7 年 9 月 2 5 日 (金)
舞鶴高専(専攻科 2 年) 蔭山さん 英会話カルタをアプリに	舞鶴市民新聞	平成 2 7 年 1 0 月 2 7 日 (火)
英会話かるた アプリで遊んで 舞鶴の塾経営者手掛け 高専生が開発 図鑑機能も搭載	京 都 新 聞	平成 2 7 年 1 0 月 2 7 日 (火)
「高専祭」にぎやかに 舞鶴 体験型の展示物並ぶ	京 都 新 聞	平成 2 7 年 1 1 月 1 日 (日)

全国大会出場者を紹介 全国高等専門学校プログラミングコンテスト (10/11~12 長野県) 辻優希、治居直哉、藤村匡弘 (舞鶴高専 5 年)	広報まいづる	平成 27 年 11 月 1 日 (日)
道の駅 自転車地域つなぐ 舞鶴高専全国コンペに出場 (舞鶴高専デザコン部)	舞鶴市民新聞	平成 27 年 11 月 13 日 (金)
舞鶴・神崎地区 休耕農地 ラッキョウ栽培で再生を 3 年計画 加工・販売にも意欲 (舞鶴高専学生も草刈り)	京 都 新 聞	平成 27 年 11 月 15 日 (日)
“オブジェ電飾” 輝け 東舞鶴駅北口、高専生が設置 (12 月) 1 日点灯へ	京 都 新 聞	平成 27 年 11 月 25 日 (水)
商店街巡礼 59 700 年の歴史を持つ京都東寺「弘法市」 様々な商品展示方法の店が一堂に集まる 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成 27 年 11 月 27 日 (金)
【催 し】 第 40 回情報科学センター講演会 12/8	舞鶴市民新聞	平成 27 年 11 月 27 日 (金)
叙勲、全国大会等出場者を紹介 全国高等専門学校デザインコンペティション 2015in 紀の国わかやま 松浦隼人 (舞鶴高専 4 年) 竹内志穂子、竹内正彦、横山ゆい (3 年) 齋藤タクヤ、谷口竜一、村上龍紀 (1 年)	広報まいづる	平成 27 年 12 月 1 日 (火)
【催 し】 JR 東・西舞鶴駅前のイルミネーション ~2/29 JR 東舞鶴駅北・南口…舞鶴高専の学生が製作などを担当	広報まいづる	平成 27 年 12 月 1 日 (火)
東駅北側に LED オブジェ 高専生が設置 2 月まで点灯	舞鶴市民新聞	平成 27 年 12 月 1 日 (火)
東・西舞鶴駅前 光に包まれて 地元学生制作	京 都 新 聞	平成 27 年 12 月 2 日 (水)
冬 ぱっと咲いた (JR 東舞鶴駅前広場のイルミネーション)	読 売 新 聞	平成 27 年 12 月 3 日 (木)
【まちかど】 舞鶴工業高等専門学校・情報科学センター講演会 12/8	京 都 新 聞	平成 27 年 12 月 3 日 (木)
子供の生活 福祉機器で支援 バリアフリーフェス 保護者ら企画 舞鶴高専学生も開発、出品	舞鶴市民新聞	平成 27 年 12 月 4 日 (金)
神内君、高峰君 ロボット全国大会へ (全日本小中学生ロボット選手権 2015 の小学生部門に、舞鶴高専の公開講座受講生が出場)	舞鶴市民新聞	平成 27 年 12 月 18 日 (金)

見 出 し	掲載紙(誌)	掲 載 年 月 日
ロボ選手権へ意欲 (全日本小中学生ロボット選手権 2015 小学生部門 に高峰君、神内君が出場)	京 都 新 聞	平成 27 年 12 月 19 日 (土)
冬の舞鶴 お出迎え 街に輝く 学生イルミ	広報まいづる	平成 28 年 1 月 1 日 (金)
平成 28 年新春特別号 「謹賀新年」 国立舞鶴工業高等専門学校	舞鶴市民新聞	平成 28 年 1 月 1 日 (金)
全国大会がんばります 西高生と高専生 将棋、英語	舞鶴市民新聞	平成 28 年 1 月 22 日 (金)
舞鶴高専特別選抜 志願者 106 人 倍率 1.7 倍	舞鶴市民新聞	平成 28 年 1 月 22 日 (金)
商店街巡礼 60 大阪梅田の地下商店街「大阪第 1~4 ビル地下 街」 戦後のヤミ市からの歴史を持つ商店街 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成 28 年 1 月 29 日 (金)
全国大会出場者を紹介 全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテ スト (1 月 23~24 日、東京都) 藤井希帆 (舞鶴高専 3 年)	広報まいづる	平成 28 年 2 月 1 日 (月)
舞鶴活性化案 高専生プレゼン 護衛艦型のホテルなど提案	京 都 新 聞	平成 28 年 2 月 5 日 (金)
一般入試は 1.7 倍 舞鶴高専志願状況	京 都 新 聞	平成 28 年 2 月 7 日 (日)
魅力活かしたまちづくりを 舞鶴高専プレゼン大会 自然、食など盛り込み 5 年間過ごした地域に貢献	舞鶴市民新聞	平成 28 年 2 月 12 日 (金)
倍率 1.7 倍 高専志願者 166 人 学力選抜試験	舞鶴市民新聞	平成 28 年 2 月 12 日 (金)
舞鶴の空き店舗・空き地活用 高専生アイデア発表	朝 日 新 聞	平成 28 年 2 月 17 日 (水)
【催 し】 京都の産業・文化芸術拠点形成と K16 プロジェク ト 2015 フォーラム 2/26	舞鶴市民新聞	平成 28 年 2 月 19 日 (金)
商店街に賑わいを 集合住宅など高専生研究発表	舞鶴市民新聞	平成 28 年 2 月 23 日 (火)
商店街巡礼 61 京都の地下商店街「ゼスト御池」 京都の「町中地下商店街」を目指して 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成 28 年 2 月 26 日 (金)
耐火壁設置効果シミュレーション 舞鶴高専教授ら	神戸新聞 NEXT	平成 28 年 2 月 27 日 (土)
親子ら遊具色塗り「完成楽しみ」舞鶴 舞鶴高専建設システム工学科尾上研究室	京 都 新 聞	平成 28 年 2 月 29 日 (月)

舞鶴高専生、地域課題解決へ 道の駅デザイン、子どもと遊具作り… 技術者の視点でアイデア	京 都 新 聞	平成28年 3月 6日 (日)
道の駅に自転車集え 人と人の交流空間を提案 全国デザコン 舞鶴高専入賞	毎 日 新 聞	平成28年 3月 7日 (月)
北部の備えは進んだか 大震災5年 家屋倒壊・火災に危機感を 「古い街並み対策必要」「人材育成に課題」 舞鶴高専教授に聞く	京 都 新 聞	平成28年 3月11日 (金)
高専生 全国デザコン3位 自転車で道の駅と地域つなげ	舞鶴市民新聞	平成28年 3月18日 (金)
商店街巡礼 62 旧街道の結節点「中央商店街」城下町の風情を残す町並と街路 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成28年 3月25日 (金)

編集後記

今年も無事に舞鶴高専年報を発行できるとなりました。

昭和40年4月に創立された本校は、平成27年4月に創立50周年を迎えました。平成27年は戦後70周年であり、海外引き上げ70周年にもあたります。この節目の年に、舞鶴引揚記念館の資料『舞鶴への生還 1945－1956 シベリア抑留等日本人の本国への引き揚げの記録』が、ユネスコの世界記憶遺産として選ばれました。

また、平成27年6月には改正公職選挙法が成立し、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。平成28年夏の参院選から、本校の学生の多くもこの改正で新たに選挙権をもち、約半数が投票できることになりました。

舞鶴高専を取り巻く社会情勢や国際情勢は激動の様相を見せていますが、過去の記憶や記録は、その先行きを照らす灯明となります。

舞鶴高専の1年を記録したこの年報も、そうした記録の一つとして読んでいただけたらと期待します。

(S.O)

舞鶴高専年報－2015年度の教育・研究活動－(第13号)

平成28年10月31日 発行

発行 舞鶴工業高等専門学校広報委員会

〒625－8511

舞鶴市字白屋234番地

TEL 0773－62－5600

FAX 0773－62－5558

編集 舞鶴工業高等専門学校

広報委員会「年報」WG

座長 奥村 昌司

委員 船木 英岳

印刷 株式会社 モ ト キ

Annual Report 2015

*Education and Research Activities
National Institute of Technology, Maizuru College*



National Institute of Technology, Maizuru College

NO.13 April 2016